

平成28年4月11日発行

B i o T e c h T O K A I ―メールマガジン 第136号―

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

*****《もくじ》*****

- 1. 平成28年度地域産学連携支援委託事業
- ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー
- (平成28年6月23日)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 現地見学会(平成28年4月21日)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆科学研究費助成事業(科学研究費補助金) (独・日本学術振興会)
- ☆研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)ステージ2 シーズ育成タイプ (JST)
- ☆研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Aタイプ (JST)
- ☆研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Bタイプ (JST)
- ☆大学発新産業創出プログラム(START) プロジェクト支援型 (JST)
- ☆大学発新産業創出プログラム(START)
- 技術シーズ選抜育成プロジェクト IoT 分野プロジェクト支援型 (JST)
- ☆産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (JST)
- ☆先端計測分析技術・機器開発プログラム 最先端研究基盤領域 (JST)
- ☆新エネルギーベンチャー技術革新事業 (JST)
- ☆中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 (NEDO)
- ☆植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発 (NEDO)
- ☆民間の競争的研究資金を13件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介(2件)

◆1◆ 平成28年度地域産学連携支援委託事業

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー (予報)

【開催日時】平成28年6月23日(木)

【開催場所】ウインクあいち 1301会議室 (名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

通常総会 14:30~15:30

- 議題 1) 第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告
2) 第2号議案 平成28年度事業計画・収支予算
3) 第3号議案 役員（理事・監事）の選出
4) その他

第1回セミナー 15:45～16:45

講演タイトル未定（知財戦略と技術移転に関する内容）

講師 名古屋大学 学術・産学官連携推進本部

知財・技術移転グループ 教授 鬼頭 雅 氏

情報交流会 17:00～18:30 参加費 3,000円（予定）

場所 上記の1301会議室

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会（CRN） 現地見学会

中部異業種間リサイクルネットワーク協議会は、現地見学会を下記の通り行います。

【開催日時】平成28年4月21日（木）

集合場所 名古屋駅太閤口 噴水前 8時（時間厳守）

【行き先】NPO法人活エネルギーアカデミー 高山市木の駅

【スケジュール内】

8:10 名古屋駅出発

11:20 高山市内 昼食 飛騨高山美術館にて

<http://www.htm-museum.co.jp>

当地にて地域通貨1,000円をお使いいただきます（バス内で販売予定）

12:30 高山市木の駅 到着 （高山市赤保木町295 090-3582-2283）

12:30～13:30

ロケットストーブ発電MoMo（スターリングエンジン搭載）説明と実演

百瀬機械設計株式会社 代表取締役 百瀬 豊 氏

13:30～14:30

NPO法人活エネルギーアカデミーの活動について

理事長 山崎 昌彦 氏

<https://www.facebook.com/enepo.takayama/timeline>

<http://digital.asahi.com/articles/ASHDH52DIHDH0HGB00R.html?rm=437>

14:30～15:00 質疑応答

15:00 高山出発

18:00 名古屋駅 到着

18:20 懇親会 素材屋 松岡ビル店

【参加費】会員 2,000円 ビジター 4,000円 (バス代、昼食代を含む)
懇親会 参加費 3,000円

【申込み】下記の事項を下記メールアドレス宛にお送り下さい。

・CRN 先進企業現地見学会 参加します

・会社名 ・氏名 ・懇親会 参加 不参加

E-mail: t.esaki0417@nifty.com 江崎 忠男様宛て

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究活動スタート支援

(独・日本学術振興会)

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/22_startup_support/koubo.html

【分野等】「研究活動スタート支援」は、我が国の研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰した研究者等が行う研究をサポートするものであり、これらの研究者の当座のスタート支援に資することが期待されます。前年秋の公募時期に応募できなかった研究者が一人で行う研究計画であって、その研究活動のスタートを支援することにより、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画を支援します。

【公募期間】平成28年3月1日～5月9日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ2：シーズ育成タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28stage2-1.html>

【分野等】大学等のシーズの実用性検証フェーズにおいて、中核技術の構築を目指した産学共同研究開発を支援する。

【公募期間】平成28年3月1日～5月10日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ3：NexTEP-A タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextstep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年4月1日～7月29日

.....
☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージ3：NexTEP-B タイプ （JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextstep-b-1.html>

分野等：大学等の研究成果に基づく実用性が検証されているシーズのうち、研究開発型企業の比較的小さな規模の実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年3月7日～6月10日

.....
☆大学発新産業創出プログラム（START） プロジェクト支援型 （JST）

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざす研究開発プロジェクトを JST が支援する。

公募期間：平成28年3月9日～6月20日

.....
☆大学発新産業創出プログラム（START） 技術シーズ選抜育成プロジェクト [IoT 分野] （JST）

<http://www.jst.go.jp/start/iot/jigyo/index.html>

分野：若手研究者の技術シーズを発掘し、選抜、育成することで、START の事業プロモーターへの提案につなげることを目的とする。具体的には、事業プロモーターに技術シーズの独創性や優位性を示すための試作品を製作する。

公募期間：平成28年3月14日～5月30日

.....
☆産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム （JST）

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>

分野等：産業界との協力の下、大学等が知的資産を総動員し、新たな基幹産業の育成に向けた「技術・システム革新シナリオ」の作成と、それに基づく非競争領域としての産学共同研究を通して、基礎研究や人材育成における産学パートナーシップを拡大し、我が国のオープンイノベーションを加速する。

公募期間：平成28年3月25日～6月6日

.....
☆先端計測分析技術・機器開発プログラム 平成28年度 最先端研究基盤領域 （JST）

<http://www.jst.go.jp/sentan/koubo/index.html>

分野等：最先端の研究開発やものづくり現場での計測・分析ニーズに応える、創造的独創的な先端計測分析技術・機器及びその周辺システムの開発を推進する。

公募期間：平成28年4月1日～5月12日

.....
☆新エネルギーベンチャー技術革新事業 （NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100100.html

分野等：

- 1) 太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー分野。
- 2) 再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募期間：平成28年3月11日～5月11日

.....
☆中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100103.html

分野等：中堅・中小・ベンチャー企業及び組合等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等及び組合等が保有する技術を橋渡し、研究機能の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、自社の技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを促進する。

公募期間：平成28年3月22日～5月10日

.....
☆植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発 (NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100107.html

分野等：

- 研究開発項目① 植物の生産性制御に係る共通基盤技術開発
- 研究開発項目② 植物による高機能品生産技術開発
- 研究開発項目③ 高生産性微生物創製に資する情報解析システムの開発

公募期間：平成28年3月25日～5月10日

.....
『民間の競争的研究資金』

☆株式会社大垣共立銀行：「第3回 OKBアグリビジネス助成金」

趣旨：将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う農業高校、実用化の高い研究を行う研究者及びアグリビジネスに係る実用化の高い商品・サービスの開発ニーズを持つ事業者に対して研究費用を助成することで、地域のアグリビジネスの成長・発展に寄与することとしています。

対象者：農業高校部門、研究者部門、事業者部門に分けて募集が行われます。

＜農業高校部門＞

将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の農業高校（農林高校を含む）。1農業高校で複数申請が可能です（担当教員による申請）。

＜研究者部門＞

大垣共立銀行「アグリビジネスサポートデスク」連携学術機関（注1）に所属し、実用化の高いアグリビジネスに関する研究を行う研究者（1研究者で複数申請が可能です。研究者の単独申請）。

注1) 名古屋大学、岐阜大学、中部大学、長浜バイオ大学の4大学

<事業者部門>

岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の大学（短大を含む）及び公設試験研究機関とアグリビジネスに係る共同研究もしくは受託研究を行う岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の中小事業者及び NPO 法人の方（1 事業者で複数申請が可能です。事業者、研究者との共同申請）。

募集要項：http://www.okb.co.jp/company/agribusiness_guideline.html

助成総額：3 部門合わせて総額 3 0 0 万円

助成率上限：農業高校部門と研究者部門は研究経費の 1 0 0 %、事業者部門は研究経費の 8 0 %。採択件数目安として、それぞれ、数件、2 件程度、2 件程度。

公募締切日：平成 2 8 年 5 月 1 3 日（金）提出は郵送のみ、当日消印有効

問い合わせ先：〒 503-0887 岐阜県大垣市郭町 3 丁目 98 番地

大垣共立銀行支店部情報渉外課「アグリビジネスサポートデスク」

担当：小川、築瀬 電話 0 5 8 4 - 7 4 - 2 1 9 6

E-mail: bizmatch@okb.co.jp

.....
☆公益財団法人新技術開発財団：「第 9 7 回（平成 2 8 年度第 1 次）新技術開発助成」

<http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html>

分野等：基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的にした開発試作

公募期間：平成 2 8 年 4 月 1 日～4 月 2 0 日

.....
☆公益信託ミキモト海洋生態研究助成基金：「平成 2 8 年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/2.htm>

分野等：

潮間帯から浅海にわたる海域を対象とした

1. 生物に関する調査・研究
2. 生物の生息環境に関する調査・研究
3. 生態の保全のあり方に関する調査・研究

公募締切日：平成 2 8 年 5 月 6 日

.....
☆公益信託四方（しかた）記念地球環境保全研究助成基金：「平成 2 8 年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/3.htm>

分野等：

下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査をともなう独立した研究。

1. 熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究
2. 絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究

3. 人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究
公募締切日：平成28年5月6日

☆公益信託増進会自然環境保全研究活動助成基金：「平成28年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/4.htm>

分野等：絶滅のおそれのある小動物の保護・増殖に関する調査・研究、及び絶滅のおそれのある小動物の保護に係る生息環境保全及び環境復元・回復に関する調査・研究

公募締切日：平成28年5月6日

☆一般財団法人バイオインダストリー協会：「2016年度発酵と代謝研究奨励賞」

http://www.jba.or.jp/pc/activities/research_encouragement/info/002050.html

分野等：バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーに関連する自然科学分野で、発酵をはじめとする応用微生物学分野の研究において優れた実績を上げ、大きな貢献が期待される若手研究者

公募期間：平成28年1月18日～5月9日

☆一般財団法人バイオインダストリー協会：

「2016年度化学・生物素材研究開発奨励賞」

http://www.jba.or.jp/pc/activities/research_encouragement/info/002049.html

分野等：バイオテクノロジーまたはライフサイエンスに関連する化学またはバイオの素材に関する分野で、基礎・応用研究および利用技術開発に携わる有望な若手研究者

公募期間：平成28年1月18日～5月9日

☆公益信託富士フイルム・グリーンファンド：「2016年度 FGF 助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/1.htm>

分野等：身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究 等

公募締切日：平成28年5月9日

☆公益財団法人伊藤記念財団：「平成28年度助成」

<http://www.itokinen-zaidan.or.jp/>

分野等：食肉に関する研究又は調査（製造加工、食品価値、家畜生産、飼料、疾病、食肉・食肉製品の流通など）

公募期限：平成28年5月11日

☆公益信託乾太助記念動物科学研究助成基金：「平成28年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/5.htm>

分野等：A) 哺乳類の保護・増殖に関する研究、B) 鳥類の保護・増殖に関する研究

公募締切日：平成28年5月11日

☆三菱UFJ技術育成財団：「平成28年度研究開発助成金」

<http://www.mutech.or.jp/whatsnew/index.html>

分野等：技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として2年以内に事業化が可能なもの

公募期間：平成28年4月1日～5月31日

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

水稲関係：気候変動がわが国の米生産に及ぼす影響の予測

温暖化により現在よりも3℃以上高温となった場合、わが国の米生産は、北日本を除き、減収すると予測されます。適応策をとらない場合に、全国的に米の品質リスクは増加し、九州地方を中心に一等米比率が低下すると予測されます。これら成果は、平成27年8月に決定された「農林水産省気候変動適応計画」及び平成27年11月に閣議決定された「気候変動への適応計画」において、水稲の将来予測される影響として明記されています。

元国立研究開発法人農業環境技術研究所 平成27年度主要成果集：

http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/result/result32/result32_09.pdf

農業環境関係：環境保全型農業の取り組み効果を示す農業に有用な生物多様性指標

化学合成農薬や化学肥料などの過度な使用による環境への負荷を軽減した環境保全型農業が各地で取り組まれています。その効果をよく示し、しかも、分かりやすく、調査しやすい指標生物と、それらを調査する簡便な方法や、調査結果から農法の効果を客観的に評

価する方法が開発され、マニュアル化されました。この方法で調査すると、慣行農業に比べて、環境保全型農業（有機農業および減農薬）では指標生物の個体数が多いことが示されます。三重県御浜町の尾呂志地区で、環境保全型農業に取り組んでいる農家グループでは、マニュアルに基づいて生物調査を行った結果、総合評価のランクが A となったので、それを示すシールをお米に貼って販売し、好評を得ています。このように、単なるイメージではなく、科学的根拠に基づいた客観的評価を示すことによって、地域ブランドとしての信頼性を増すことができます。

元国立研究開発法人農業環境技術研究所平成 27 年度主要成果集：

http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/result/result32/result32_16.pdf

.....

編集後記

4 月も半ばになり、東海地域の桜の花見時期は、平野部では終わりましたが、中山間部では、これからの所もあります。本年 3 月末に 6 年半ぶりに災害から復旧した JR 名松線の終点の伊勢奥津駅から数 km のところにある山桜の名所「三多気の桜」（三重県津市美杉町）、JR 高山本線の飛騨一ノ宮駅からすぐの国の天然記念物で樹齢千年を越すエドヒガンザクラ「臥龍桜」（岐阜県高山市一之宮町）などは、そろそろ見頃です。桜をこよなく愛した西行法師、本居宣長、平安貴族の和歌は有名ですが、最近では桜を題材にした若者の音楽もあり、日本は桜の文化も花盛りと言えます。

ところで、最近読んだ本に、P.F.ドラッガーの「エッセンシャル版 イノベーションと企業家精神」（2015 年 12 月日本語版発行）があります。著者は、米国の経営思想家でマネジメントの概念と手法を体系化したことで有名ですが、70 歳を超えても旺盛な著述活動が続け、本書は 76 歳の時に刊行されました。豊富な知識と経験によって、イノベーションはいかなる機会の下で生まれるのか、企業家は企業家精神を発揮して会社を発展させるイノベーションを行うために、いかなる戦略を採るべきかを体系的に述べています。最近、ハイテク技術をリードしてきたシャープ（株）の経営が悪化して台湾企業に買収される事態となりましたが、本書を読みながら企業家精神と企業経営のあり方に思いを馳せました。これから企業経営に関わろうとする方にとって、本書は企業を発展させ傾けさせないようするための示唆に富んでおり、また、若い方、定年間近の方には、自ら起業することを仮想して読まれると、面白さが一層増すと思います。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL & FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

無料です。

【開催日時】 平成28年6月23日（木） 14：30～16：45

（受付時間：14：00～）

【開催場所】 ウィンクあいち 1301特別会議室

（名古屋市中村区名駅4丁目4－38）

JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【通常総会】 14：30～15：30

議題 1）第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2）第2号議案 平成28年度事業計画・収支予算

3）第3号議案 役員（理事・監事）の選出

4）その他

【第1回セミナー】 15：45～16：45

講演：「名古屋大学における知的財産の技術移転」

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部教授 鬼頭雅弘 氏

【第1回セミナー案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/28-1-semina-160623.pdf>

【情報交流会】 17：00～18：30

場所 ウィンクあいち 1301特別会議室 （講演会場と同じ）

参加費 情報交流会のみ有料で 3,500円

【参加申込み】 下記 URL から申込み用紙を開き、所定の項目をご記入のうえ、ファックス又は、電子メールで6月16日（木）までに下記までご送付下さい。

<http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28FirstSeminar.pdf>

【申込先、お問い合わせ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会事務局
事務局長 大石一史

TEL&FAX: 052-789-4586 E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育協力研究センター気付

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会（CRN）総会・記念講演会等

【開催日時】 平成28年5月26日（木）

【開催場所】 総会と記念講演会 名古屋国際センタービル 5階 第1会議室

地下鉄 国際センター駅下車 TEL:052-581-567

交流会

キャッスルプラザ名古屋 地下1階 ヒストロ・ド・ファントメール

【総会】 13:30～14:50 第1号議案～第6号議案、その他

【記念講演会】 15:00～16:40

「混沌の世界で日本はいかに生き抜くか？」

愛知淑徳大学教授 真田幸光 氏

【交流会】 17:00～19:00

キャッスルプラザ名古屋 地下1階 ビストロ・ドファンドール

【会費】 会員 記念講演会・交流会 共に無料、但し、交流会2人目から1人5000円

ビジター 講演会1000円 交流会 5000円

【申込み】 下記の事項をご記入の上、下記メールアドレス宛にお送り下さい。

・総会への出の有無、記念講演会への参加の有無、交流会への参加の有無

・会社名 ・氏名

E-mail: t.esaki0417@nifty.com 江崎 忠男様宛て

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度輸出種苗病害検査手法実用化促進委託事業 (農林水産省)

http://www.maff.go.jp/aupply/itaku/160426_1.html

分野等：重要な種子伝染性病害について輸出相手国等に通用する国際的な検査手法を確立して、広く周知することにより、国内で検査が実施できる環境の整備に資する。

公募期間：平成28年4月26日～5月23日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ3：NexTEP-A タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年4月1日～7月29日

- (2)環境・エネルギー・資源や食料などに関わる課題
 - (3)都市や地方の創生に関わる諸課題
 - (4)国民の安全・安心に関わる諸課題（災害の復旧・復興を含む）
 - (5)社会的弱者の支援・健全なこども・青少年の育成に関わる課題
- などを重視する。

公募期間：平成28年4月12日～6月16日

.....

☆戦略的創造研究推進事業（CREST）（第1期）」（JST）

<http://senryaku.jst.go.jp/teian.html>

分野等：環境変動に対する植物の頑健性の解明と応用に向けた基盤技術の創出等

公募期間：平成28年4月13日～6月8日

.....

☆戦略的創造研究推進事業（さきがけ）（第1期）」（JST）

<http://senryaku.jst.go.jp/teian.html>

分野等：

- (1)フィールドにおける植物の生命現象の制御に向けた次世代基盤技術の創出
- (2)情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創等

公募期間：平成28年4月13日～6月1日

.....

☆研究開発型ベンチャー支援事業／シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100107.html

分野等：シード期の研究開発ベンチャーが必要とする研究開発及び事業化に必要な資金、並びに活動を、VC等とNEDOが協調して支援する。

公募期間：平成28年4月15日～5月27日

.....

☆戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2016/160415SenryakuKoubo.htm>

分野等：1. デザイン開発に係る技術、2. 情報処理に係る技術、3. 精密加工に係る技術、4. 製造環境に係る技術、5. 接合・実装に係る技術、6. 立体造形に係る技術、7. 表面処理に係る技術、8. 機械制御に係る技術、9. 複合・新機能材料に係る技術、10. 材料製造プロセスに係る技術、11. バイオに係る技術、12. 測定計測に係る技術

公募期間：平成28年4月15日～6月9日

.....

☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェ

クト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
『民間の競争的研究資金』

☆公益財団法人 科学技術交流財団：「育成試験事業」

分野等：大学、研究機関が保有する研究シーズの実用化を目指したテーマ

委託費：1件当たり190万円程度

採択予定件数：2件程度

研究期間：委託契約日～平成20年2月28日

対象者：提案主体は愛知県内に事業所を有する中堅・中小企業

募集期間：平成28年4月14日～5月20日（金）

募集概要：<http://www.astf.or.jp/project/suishin/ikusei/cat90/bosyu.html>

応募方法：事前に必ず科学技術コーディネーターに連絡し、所定の申請書類を科学技術交流財団理事長に提出する。

提出・問合せ先：（公財）科学技術交流財団 科学技術コーディネーター 田尻耕治

電話：0561-76-8325 E-mail：tajiri@astf.oro.jp

.....
☆株式会社 大垣共立銀行：「第3回 OKBアグリビジネス助成金」

趣旨：将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う農業高校、実用化の高い研究を行う研究者及びアグリビジネスに係る実用化の高い商品・サービスの開発ニーズを持つ事業者に対して研究費用を助成することで、地域のアグリビジネスの成長・発展に寄与する。

対象者：農業高校部門、研究者部門、事業者部門に分けて募集が行われます。

＜農業高校部門＞

将来のアグリビジネスの担い手を育成するために特徴的な取組・研究を行う、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の農業高校（農林高校を含む）。1農業高校で複数申請が可

能です（担当教員による申請）。

＜研究者部門＞

大垣共立銀行「アグリビジネスサポートデスク」連携学術機関（注１）に所属し、実用化の高いアグリビジネスに関する研究を行う研究者（１研究者で複数申請が可能です。研究者の単独申請）。

注１）名古屋大学、岐阜大学、中部大学、長浜バイオ大学の４大学

＜事業者部門＞

岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の大学（短大を含む）及び公設試験研究機関とアグリビジネスに係る共同研究もしくは受託研究を行う岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県内の中小事業者及び NPO 法人の方（１事業者で複数申請が可能です。事業者、研究者との共同申請）。

募集要項：http://www.okb.co.jp/company/agribusiness_guideline.html

助成総額：３部門合わせて総額３００万円

助成率上限：農業高校部門と研究者部門は研究経費の１００％、事業者部門は研究経費の８０％。採択件数目安として、それぞれ、数件、２件程度、２件程度。

公募締切日：平成２８年５月１３日（金）、提出は郵送のみ、当日消印有効

問い合わせ先：〒５０３-０８８７ 岐阜県大垣市郭町３丁目 ９８ 番地

大垣共立銀行支店部情報渉外課「アグリビジネスサポートデスク」

担当：小川、築瀬 電話０５８４－７４－２１９６

E-mail: bizmatch@okb.co.jp

☆三菱UFJ 技術育成財団：「平成２８年度研究開発助成金」

<http://www.mutech.or.jp/whatsnew/index.html>

分野等：技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として２年以内に事業化が可能なもの

公募期間：平成２８年４月１日～５月３１日

☆公益財団法人住友財団：「基礎科学研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：理学（数学、物理学、化学、生物学）の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの（それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む）。

公募期間：平成２８年４月１５日～６月３０日

☆公益財団法人住友財団：「環境研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：

一般研究：環境に関する研究

課題研究：喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

☆公益財団法人井上科学振興財団：「井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募締切日：平成28年7月29日

☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：

「平成28年度ホクト生物科学振興財団助成先公募」

<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募期間：平成28年8月31日

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

水稲関係：平坦部向け飼料用米専用品種を選定しました

岐阜県農業技術センターは、家畜に与える輸入飼料の代替品として、水田で作付される飼料用米を安定的に多収するために、地域に適応する品種の選定と、目標収量を得るための窒素施肥水準を明らかにしました。

研究成果として、平坦地向きの品種として収量性の点から、中生品種「北陸１９３号」と「もちだわら」を有望としました。また、目標粗粍収量を 900 kg / 10 アールとすると、窒素施肥量は 12 kg / 10 アール必要となることを明らかにしました。但し、「もちだわら」では若干収量が下回りました。

岐阜県農業技術センターホームページ：<http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

.....

園芸関係（野菜）：共同育種で開発された種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」

イチゴの繁殖は、従来はランナーから小苗を切り離して株を増やす「栄養繁殖」によって行われてきました。三重県農業研究所は、香川県、千葉県と農研機構九州沖縄農業研究センターとの共同育種によって、種子で繁殖させる全く新しいタイプの品種を開発し、品種名「よつぼし」として品種登録出願（平成 26 年 1 月 10 日、第 28844 号）を行いました。

種子繁殖型品種は、増殖効率が非常に高く、病害虫に感染していない苗が容易に得られ、従来品種よりずっと省力的な育苗が可能となるなど、イチゴ生産に変革をもたらすニュータイプのイチゴ品種として期待されています。

三重県農業研究所ホームページ：

三重農研成果情報：<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000399716.pdf>

種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」の種子生産許諾申請の受付開始：

<http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/88787000001.htm>

.....

園芸関係（花き）：極めて良い日持ち性を有する画期的なスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農 1 号」を開発

愛知県農業総合試験場は、農研機構花き研究所と共同で、日持ち性が極めて良いピンク色のスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農 1 号」を開発しました。この品種は、日持ち日数が一般的な品種の 3 倍程度と極めて長く、需要が多いピンク色の花色であるなどの特性を持っています。2015 年 6 月 10 日に品種登録されました。

愛知県記者発表：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/0000083675.html>

.....

編集後記

新緑が映え、爽やかな薫風の吹く5月の大型連休が終わりましたが、心身ともにリフレッシュされたことと思います。一歩郊外に出ますと田植えが進みつつあり、日本の原風景が蘇ってきますが、さらに、中山間地に入ると田畑に獣害防止の柵が張りめぐらされ、厳しい現実が見られます。目を世界に転ずると、米国では大統領予備選挙が真っ最中で、その趨勢が次第に明らかになりつつありますが、場合によっては、日本にも大きな影響が及ぶことが考えられ、TPPが米国で批准されるのかなど、目が離せません。更に、今月末には、主要国首脳会議（サミット）が三重県の志摩市の賢島のホテルで開催され、世界の喫緊の課題について話し合われますが、どのような共同声明が発せられるのか注目されます。

先月からの大きな出来事としては、地震が少ない地域と言われた熊本県を中心として震度7の激震が2回も起こり、余震が1000回を超える大災害が起こったことです。亡くなられた方が50人を超え痛ましい限りです。ご冥福をお祈り致します。今回の地震は、大活断層である中央構造線に沿って起こっており、この活断層は東海地域では、愛知県三河地域、三重県伊勢・松阪地域等を通っており、南海トラフとともに、今後の活動の活発化が心配されるところです。

ところで、最近読んだ本に、黒川清著「イノベーション思考法」（2008年 PHP 新書発行）があります。著者は、米国で長く医学研究者として研究教育に携わりながら、米国におけるイノベーションを見聞し、「外からの目」で日本企業のビジネス風土や体質に目を向け問題点を指摘しています。イノベーションの原理を提唱したヨーゼフ・シュンペーターの「企業や社会は、成長し、成熟するにつれて保守的になる。そして、これを中から壊していこうとする人達が出てこない限り、いつかは必ず朽ち果てる。したがって、組織が健康的に継続するためには、『創造的破壊』が欠かせない。」を引用しながら、グローバル化の中で勝ち抜くには、失敗を隠して失敗を重ねるな、「出る杭」となることを恐れるな、成功体験にとらわれるな、人材ではなく「企業家精神」を持った人財を育てよ等々、日本社会でイノベーションを起こすのに必要なことを述べています。先月号で紹介した、ドラッカーのイノベーション論とは異なる点、あるいは共通点があって面白いと思います。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail: bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

平成28年6月10日発行

B i o T e c h T O K A I ―メールマガジン 第138号―

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

*****《もくじ》*****

- 1. 平成28年度地域産学連携支援委託事業
- ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー
- (平成28年6月23日)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆名城大学公開講座「大豆の恵み～美味しさと健康を考える～」
- (平成28年6月11日)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Aタイプ (JST)
- ☆大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト支援型 (JST)
- ☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム (JST)
- ☆研究開発成果実装支援プログラム (JST)
- ☆平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (プロジェクト委託型) (NEDO)
- ☆平成28年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 (2次公募)
- (環境省)
- ☆平成28年度戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE) (総務省)
- ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
- ☆民間の競争的研究資金を26件掲載
- ☆研究開発関連以外の資金を3件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介 (3件)

◆ 1 ◆ 平成28年度地域産学連携支援委託事業

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会は、平成28年度総会と第1回セミナーを下記の通り開催します。第1回セミナー及び情報交流会につきましては、会員以外の一般参加ができます。なお、会員以外の方の総会の傍聴は自由です。第1回セミナーの参加費は無料です。

【開催日時】 平成28年6月23日 (木) 14:30～16:45

(受付時間:14:00～)

【開催場所】 ウィンクあいち 1301 特別会議室

(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

JR 名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図: <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【通常総会】 14:30～15:30

議題 1) 第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2) 第2号議案 平成28年度事業計画・収支予算

3) 第3号議案 役員(理事・監事)の選出

4) その他

【第1回セミナー】 15:45～16:45

講演:「名古屋大学における知的財産と技術移転」

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部教授 鬼頭雅弘 氏

【第1回セミナー案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/28-1-semina-160623.pdf>

【情報交流会】 17:00～18:30

場所 ウィンクあいち 1301 特別会議室 (講演会場と同じ)

参加費 情報交流会のみ有料で 3,500円

【参加申込み】 下記 URL から申込み用紙を開き、所定の項目をご記入のうえ、ファックス又は、電子メールで6月16日(木)までに下記までご送付下さい。

<http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28FirstSeminar.pdf>

【申込先、お問い合わせ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会事務局
事務局長 大石一史

TEL&FAX: 052-789-4586 E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育協力研究センター 気付

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆名城大学公開講座「大豆の恵み～美味しさと健康を考える～」

【開催日時】 平成28年6月11日(土) 14:00～16:30

【開催場所】 名城大学天白キャンパス 共通講義棟東H304

(名古屋市天白区塩釜口1-501)

地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車 1番出口(右) 徒歩約4分

(大学構内には駐車場がありません)

【講師】 (1) 京都と共に時を刻む ―伝統産業の継承―

千丸屋京湯葉株式会社 越智朋子 氏

(2) 豆乳および発酵豆乳の新たな可能性

マルサンアイ株式会社 江草信太郎 氏

【参加】 無料、定員 300 人、事前申込み不要。

【受講対象者】 一般市民、大学院生、大学生、高校生、小中学生、当該専門家

【お問い合わせ先】 名城大学 学術研究支援センター（総合研究所）

電話 052-838-2034 ファックス 052-833-7200

E-mail souken@ccmails.meijo-u.ac.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成 28 年度競争的研究資金等について

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージ 3：NexTEP-A タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成 28 年 4 月 1 日～7 月 29 日

☆大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型 (JST)

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざす研究開発プロジェクトを JST が支援する。

公募期間：平成 28 年 3 月 9 日～6 月 20 日

☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム (JST)

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：「未来を共創するサービス研究開発」の可能性調査

公募期間：平成 28 年 4 月 28 日～7 月 13 日

☆研究開発成果実装支援プログラム (JST 社会技術研究開発センター)

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：多くの人々が解決を望む社会問題の解決に向けて、研究開発成果の実装に取り組む活動を支援し、その対象領域としては

- (1)人口減少と高齢化が更に進行することによって生ずる課題
 - (2)環境・エネルギー・資源や食料などに関わる課題
 - (3)都市や地方の創生に関わる諸課題
 - (4)国民の安全・安心に関わる諸課題（災害の復旧・復興を含む）
 - (5)社会的弱者の支援・健全なこども・青少年の育成に関わる課題
- などを重視する。

公募期間：平成28年4月12日～6月16日

.....
☆平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業（プロジェクト委託型）（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100108.html

分野等：

- テーマ1 IoT、AI等を活用した「超スマート社会」の実現のための技術
- テーマ2 エネルギー、資源及び食料の安定的な確保又は地球規模問題への対応技術
- テーマ3 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能で安全・安心な社会の実現のための技術
- テーマ4 国家戦略上重要なフロンティア開拓に資する技術

公募期間：平成28年5月2日～6月30日

.....
☆平成28年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（2次公募）（環境省）

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/28_a34/index.html

分野等：

- 1. 交通低炭素化技術開発分野
- 2. 建築物等低炭素化技術開発分野
- 3. 再生可能エネルギー・自立分散型エネルギー低炭素化技術開発分野
- 4. バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野

公募期間：平成28年5月23日～6月21日

.....
☆平成28年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（総務省）

独創的な人向け特別枠『異能vation』プログラム」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000170.html

分野等：ICT分野において破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外でアンビシャスなICT研究開発課題に挑戦する人を支援する。

公募期間：平成28年5月20日～6月27日

.....
☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept：概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
『民間の競争的研究資金』

☆公益財団法人ロッテ財団：「研究助成事業 奨励研究助成」

<http://www.lotte-isf.or.jp/promotion1.html>

分野等：(1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術、(2)食品のマーケティング、(3)食文化、(4)嗜好性、(5)栄養、(6)食品安全・衛生、(7)上記(1)から(6)の複合領域

公募期間：平成28年4月1日～6月27日

.....
☆公益財団法人住友財団：「基礎科学研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：理学（数学、物理学、化学、生物学）の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの（それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む）。

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

.....
☆公益財団法人住友財団：「環境研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：

一般研究：環境に関する研究

課題研究：喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

☆積水化学工業株式会社：「2016年度自然に学ぶものづくり研究助成」

http://www.sekisui.co.jp/news/2016/1281774_26476.html

分野等：「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究（例えば、天然資源活用、新素材材料開発、環境浄化修復、農業・食品開発、生産製造システム、住宅・建築、まちづくり・ライフライン、医療・健康・生活などに関して、「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究・技術開発）

公募期間：平成28年5月9日～6月30日

☆公益財団法人サントリー生命科学財団：「平成28年度 SUNBOR GRANT」

<http://www.sunbor.or.jp/topics/index.html>

分野等：生体内有機低分子の時空間局在解析や計測による生命現象の解明

公募締切日：平成28年6月30日

☆一般財団法人キヤノン財団：「研究助成プログラム『産業基盤の創生』」

<http://www.canon-foundation.jp/aid/information.html>

分野等：日本の強い産業を更に強化する、あるいは新たな産業を興すことによって経済発展を促すような科学技術分野にあって、独創的、先駆的、萌芽的な研究を対象とする。

分野は、将来社会において重要になることが想定される ICT・エレクトロニクス・ロボティクス、健康・医療・生命科学、バイオテクノロジー、環境・資源・エネルギー、材料・デバイス・プロセス、サービスサイエンス。社会的に複雑で難しい課題を解決するために、分野間の知的な触発や融合を図る挑戦的な新興・融合テーマなども対象として含める。

公募期間：平成28年6月1日～30日

☆公益財団法人浦上食品・食文化振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.urakamizaidan.or.jp/archives/1000.html>

分野等：

1. 食品加工技術に関する研究
2. 食品と健康に関する研究
3. 香辛料食品に関する研究
4. 食嗜好に関する研究
5. 食品の安全性に関する研究

公募期間：平成28年6月1日～7月10日

☆公益財団法人コスメトロジー研究振興財団：「2016年度コスメトロジー研究」

http://www.cosmetology.or.jp/research_support/researchSupport3.html

分野等：化粧品及びそれに関連する基礎的分野の課題

公募期間：平成28年5月9日～7月11日

☆一般財団法人キヤノン財団：「研究助成プログラム『理想の追求』」

<http://www.canon-foundation.jp/aid/information.html>

分野等：食に関する研究

公募期間：平成28年6月1日～7月15日

☆公益財団法人ロッテ財団：「研究助成事業 研究者育成助成（ロッテ重光学術賞）」

<http://www.lotte-isf.or.jp/promotion1.html>

分野等：(1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術、(2)食品のマーケティング、(3)食文化、(4)嗜好性、(5)栄養、(6)食品安全・衛生、(7)上記(1)から(6)の複合領域

公募期間：平成28年4月1日～7月19日

☆公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団：「研究助成」

<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>

分野等：粉体工学に関する基礎研究

公募期間：平成28年5月2日～7月20日

☆公益財団法人井上科学振興財団：「井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募締切日：平成28年7月29日

☆公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団：「2016年度岸本基金研究助成」

<http://www.senri-life.or.jp/grant/grant-1.html>

分野等：

1. 生命現象の解明
2. 健康の維持増進と疾病の予防・治療
3. 生物およびその諸機能の産業への応用

を基本的な分野とし、独創性・先行性があり、かつライフサイエンス振興への波及効果が期待できるもの。

公募期間：平成28年6月1日～7月29日

☆公益財団法人ダノン健康栄養財団：「平成29年（2017年）度ダノン学術研究助成金」

<http://www.danone-institute.or.jp/research.html>

分野等：「栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究」

特に重点をおく研究テーマ：小児および高齢者の栄養、食習慣についての
疫学、および乳製品・プロバイオティクスの有用性

公募期間：平成28年5月16日～7月31日

.....
☆公益財団法人日本発明振興協会：「平成28年度発明研究奨励金」

<http://www.jsai.org/shoureikin28.html>

分野等：発明考案の試験研究であって、次の事項に該当し、その発明考案の実施化も
しくは展開に必要と認められるもの。

- (1) 特許権又は実用新案権として登録済みのもの。
- (2) 特許又は実用新案を出願し、既に公開され、かつ審査請求済みのもの。
但し、係争中のものは除く。
- (3) 平成6年1月1日以降出願の実用新案は、実用新案技術評価書入手済みの
もの。

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

.....
☆公益財団法人東洋食品研究所：「平成28年度食品研究助成金」

<http://www.shokuken.or.jp/subsidize.html>

分野等：

1. 食品資源に関する分野：農産原料栽培、育種に関する研究等
2. 食品科学に関する分野：安全・衛生、機能・栄養、食品物性に関する研究等
3. 食品加工に関する分野：製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通に
関する研究等

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

.....
☆公益財団法人岩谷直治記念財団：「岩谷科学技術研究助成」

<http://www.iwatani-foundation.or.jp/>

分野等：

1. 新しいエネルギー源
2. 新しい燃料
3. エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料
5. 低温の利用
6. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性

公募期間：平成28年6月1日～7月31日

.....
☆やずや食と健康研究所：「2016年度助成研究」

<http://yazuken.jp/subsidy/outline/>

分野等：さまざまな食品・食物・食生活習慣と健康とのかかわりに焦点を当てた研究

公募期間：平成28年7月4日～8月4日

.....
☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成２８年度助成」

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究
公募締切日：平成２８年８月２４日

.....
☆公益財団法人サントリー生命科学財団：「平成２８年度SUNBOR GRANT」

<http://www.sunbor.or.jp/topics/index.html>

分野等：生体内有機低分子の時空間局在解析や計測による生命現象の解明
公募締切日：平成２８年６月３０日

.....
☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成２８年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野
公募期間：平成２８年１月５日～８月３１日

.....
☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：「平成２８年度助成先公募」

<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。
公募締切日：平成２８年８月３１日

.....
☆一般財団法人油脂工業会館：「平成２９年度研究助成」

<http://www.yushikaikan.or.jp/system.html>

分野等：

1. コロイド・界面科学及び石鹼・界面活性剤工業に関する技術の分野
 2. 油脂・脂質に関する科学及び油脂加工技術の分野
 3. 健康・美・清潔と生活の科学に関する研究・技術の分野
- *上記の三分野とするが周辺の分野も包含する。

公募期間：平成２８年６月１日～８月３１日

.....
☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「２０１６（平成２８）年度研究助成」

http://www.yazaki-found.jp/applications/research_grants.html

分野等：エネルギー、新材料、情報
公募期間：平成２８年６月１日～８月３１日

.....
☆公益財団法人トヨタ財団：「２０１６年度研究助成プログラム」

<http://www.toyotafound.or.jp/program/research.html>

分野等：「社会の新たな価値の創出」に結び付くことが期待される共同研究、または
個人研究のプロジェクトを対象に助成を行う。

公募期間：平成28年5月16日～9月2日

.....

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

.....

『研究開発関連以外の資金』

☆第1回『知』の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム運営等
委託事業（農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター）

<http://sto.affrc.go.jp/shotatsu/koubo/20160526koubo>

分野等：「知」の集積と活用においては、一定の課題の下で共同で研究開発に取り
組むグループ（研究開発プラットフォーム）の形成を推進することとして
いる。研究開発プラットフォームの体制の整備や研究戦略の策定等を推進す
るため、研究開発プラットフォームの活動を支援する。

公募期間：平成28年5月26日～6月24日

.....

☆平成27年度補正予算 地域新成長産業創出促進事業費補助金（農商工連携等によるグ
ローバルバリューチェーン構築事業）（2次公募）（農林水産省）

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k160428005.html>

分野等：農林水産物・食品の海外展開に向けて、鮮度の保持を始め、生産・加工・流
通・海外販売の一連の流れの中で生じる課題を商工業の先端技術やノウハウ
の活用により解決する取組を支援する。

公募期間：平成28年4月28日～6月30日

.....

☆平成28年度ロボット導入実証事業（一般社団法人日本ロボット工業会）

<http://www.jara.jp/hojyo/koubo.html>

分野等：

(A) ロボット導入実証補助事業

ものづくり分野やサービス分野におけるロボット未活用領域へのロボット導
入の実証を行う事業者に対し、当該実証事業に要する費用の一部を補助する。

(B) ロボット導入F S補助事業

ものづくり分野やサービス分野におけるロボット未活用領域へのロボット導入を検討する事業者に対し、当該ロボット導入についての実現可能性調査を行うための費用の一部を補助する。

公募期間：平成28年4月26日～6月30日（2次締切）

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

園芸関係（野菜）：シソサビダニにより発生するオオバのシソモザイク病とサビ症への対策

愛知県のシソ生産量は、全国1位でその約44%（平成22年野菜統計）を占めています。シソに被害を及ぼすシソサビダニは、平成24年に本邦で初めて報告されましたが、平成26年8月に高知県のシソ圃場で発生し、シソモザイク病とともに報告されました。その後、愛知県でも平成27年3月にシソモザイク病、同年12月にシソサビダニの発生が報告されました。シソモザイク病を起こすウイルスは、シソサビダニが媒介してシソに感染します。

シソサビダニは苗の新芽付近でよく増殖するので、苗床を本圃と離れた場所に設置し、ハダニ防除と兼ねて殺ダニ剤で良く防除し、シソサビダニの寄生した苗を本圃に持ち込まないようにすることが基本となります。シソサビダニは、非常に小さく普通の虫眼鏡では見えず、10倍程度のルーペでようやく見えます（紡錘形で淡黄色）。本圃等でシソモザイク病が発生した場合には、速やかに抜き取り、袋に収容して搬出し土中に埋設します。シソサビダニの広がりには人に付着して運ばれるので、処理株からの脱落や、処理した手で別のシソに触れると伝染します。シソサビダニに対する登録農薬としては、殺ダニ剤のコロマイト剤がありますが、使用回数は2回のみです。オオバで使われている生物農薬のスワルスキーカブリダニでは、シソサビダニは防除できません。まだ、研究中で登録されていませんが、コハリダニ類がサビダニ類の天敵として効果的とされていますが、増殖法などが未解明ですので、土着天敵を使う「特定農薬」としての使用も難しいと思われます。総合的防除対策については、上記の内容を踏まえるとともに、平成27年度から農研機構中央農業研究センター、愛知県農業総合試験場等による研究プロジェクトが開始されていますので、研究成果が待たれます。

愛知県：平成27年度病害虫発生予察特殊報第1号「シソサビダニ」

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2015/tokusyuhou/tokusyuhou2404.pdf>

高知県：平成26年度病害虫発生予察特殊報第2号「シソモザイク病（仮称）」

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/download/?t=LD&id=5692&fid=37104>

平成27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 実用技術開発ステージ

http://www.s.affrc.go.jp/docs/gaiyou/pdf/pdf/27001c_gaiyou.pdf

農研機構HP：トマトサビダニのトマトでの増殖・被害と天敵の発見

<https://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/vegetea/2001/vegetea01-23.html>

アリスライフサイエンス株式会社HP：トマトの土着天敵トマトツメナシコハリダニの実用化

<https://www.jataff.jp/project/kassei/gallery06.pdf>

.....

茶：茶の輸出促進

茶は、「農林水産業の輸出力強化戦略」の中の農産物として、花き、青果物、牛肉、コメと並んで有望な輸出実績のある産品となっています。輸出額を更に伸ばしていくためには、品質、ブランド化、海外での嗜好への適合等と並んで、海外の諸規制をクリアする必要があります。その1つに、農薬の残留基準に適合する必要があります。農薬については、国内外で、使用可能農薬の種類が異なること、残留基準が異なることがあり、輸出相手国の実情把握が不可欠であり、それをクリアできる国内での防除体系、生産方法の見直しが必要です。また、茶の輸出先国での放射性物質検査の基準値に適合していることが必要です。

農林水産省HP：第20回病害虫防除フォーラム

茶（煎茶、玉露）の新たな防除体系の確立・導入

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/pdf/04_tya.pdf

農林水産省HP：東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う各国・地域の輸入規制強化への対応

http://www.maff.go.jp/j/export/e_info/pdf/kisei_all_160601.pdf

.....

編集後記

先日、農林水産省主催の「農林水産業の輸出力強化戦略」の説明会に参加しましたが、2020年に農林水産物・食品の輸出金額を1兆円にする目標があり、2015年には7,451億円となっています。このうち、農産物の品目別（加工品以外）では、2012年統計で花き80億円、青果物80億円、牛肉50億円、お茶50億円、コメ（加工品を含む）130億円となっており、農産物の割合は低く、今後、農産物が大幅に伸びていくのかやや疑問の感がありました。ところが、最近（6月6日付け朝日新聞）、野菜等を低温下で空気の成分を変えて冬眠させた青果物を船で香港等に運ぶ方法が開発され、これによると輸送料が従来の航空便と比べて1/10～1/30と安くなり、国内で1パック600～700円で販売されているイチゴが香港で1000円で販売できるようになる（従来法では約2000円）とのこと。九州地域での取組みが先行していますが、茨城、栃木、群馬県でも開発企業と貯蔵・輸送試験を行っており、愛知県豊橋市でも試験を重ねるとのことです。船で、新鮮なまま、安価に、青果物を輸出できるようになると、今後の青果物等の輸出に弾みをつけることが出来るのではないかと思います。東海地域でもこの輸送技術に関心を持ち、取り組んでいくことを期待したいと思います。

ところで、最近読んだ本に、坂村 健著「IoT とは何か」(2016 年発行 角川新書)があります。著者は、1980 年代にリアルタイム組込 OS (オペレーティングシステム)である「トロン」を開発しましたが、「トロン」は、現在では自動販売機、自動車エンジン燃料噴射システム、携帯電話、デジタル家電等多岐にわたって使われています。IoT (アイオーティーと読む) は、「Internet of Things」の略語で、モノをインターネットで繋ぐという意味にとらわれていますが、著者は、それに留まらず、「IoT は、むしろ『インターネットのように』会社や組織やビルや住宅や所有者の枠を超えてモノを繋ぎ、まさにオープンなインフラを目指す言葉と捉えるべきだ」としています。「トロン」は、閉じたモノ (機器)、空間 (家、工場内)、所有者の中で使われていますが、クラウドとオープンなアプリを使って繋ぐことによって、世の中を大きく変えていくであろう」と述べています。そして、これがその発展方向であると述べていますが、一方で、オープンデータ等の情報管理 (ガバナンス) の重要性を述べており、欧米と比べて日本におけるその対応の難しさについて、本書の大きな部分を割いて述べています。2020 年の東京オリンピックを目指し、公共交通機関の保有するデータをオープンにすることによって、さまざまなアプリで旅行者等に便利な情報を提供できるようにする、旅行者等が街角でカードをかざすと様々な情報を得られるようにするなどのアイデアが示され、IoT の将来的な姿を窺うことができます。本書によって、流行の言葉「IoT」が、この道の第 1 人者である著者の解説によって、将来展望も含めて良く理解できます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

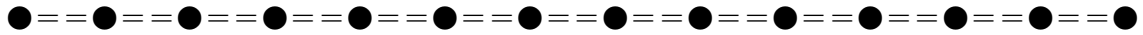
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL & FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

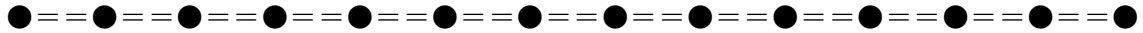
URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

平成28年7月11日発行



B i o T e c h T O K A I —メールマガジン 第139号—

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



*****《もくじ》*****

- 1. 平成28年度地域産学連携支援委託事業
NPO法人東海地域生物系先端技術研究会の催し（セミナー、フェア）予定
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆三重大学・地（知）の拠点大学による地方推進創生推進事業
 - ☆岐阜大学野生動物管理学研究センターシンポジウム2016
 - ☆中部異業種間ネットワーク協議会 7月研究会
 - ☆平成28年度野菜花き課題別研究会
 - 「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
 - ☆平成28年度官民連携新技術研究開発事業 (農林水産省)
 - ☆平成28年度林業技術革新プロジェクトのうち森林作業システム高度化技術
開発事業 (林野庁)
 - ☆研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Aタイプ (JST)
 - ☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム (JST)
 - ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
 - ☆民間の競争的研究資金を35件掲載
- 5. 新技術情報
 - ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介（2件）

◆1◆ 平成28年度地域産学連携支援委託事業

NPO法人東海地域生物系先端技術研究会が、産学連携支援事業の一環として今年度
に実施予定のイベントのうち、日程等が決まっているものは次の通りです。今後、イベント
の内容、参加申込等についての情報は、研究会会員には文書でお知らせするとともに、併
せて、ホームページ、メルマガ、ブログ等でもお知らせ致します。

第2回セミナー予定

【日時】 11月1日（火）13：00～

【場所】 ウインクあいち 10階 1006・1007 会議室

【内容】 作物、食品、畜産、林産、水産の5分野について、それぞれ講演が行われます。
併せて、競争的資金等に関する相談会、情報交流会も実施いたします。

第3回セミナー予定

【日時】 12月13日(火) 13:00～
【場所】 ウィンクあいち 12階 1202会議室
【内容】 「輸出促進」に関する講演会を開催します。
併せて、相談会、情報交流会も実施いたします(1206会議室)

アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海

【日時】 11月28・29日(月・火) 10:00～
【場所】 名古屋大学 ES総合館
展示; ESホール ショートプレゼンテーション; ES会議室
【出展募集】 調整中

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆三重大学・地(知)の拠点大学による地方推進創生推進事業

「地域の魅力を考える～地域にあるもの都会にあるもの～」

【開催日時】 平成28年7月16日(土) 10:00～15:30

【開催場所】 三重大学講堂(三翠ホール) 小ホール

【プログラム】 9:30～10:00 受付

10:00～10:15 開会挨拶

10:15～11:30 基調講演(第1部)

講師: 木村 修 伊賀の里モクモク手作りファーム会長

11:30～12:30 昼休み

12:30～12:45 進行説明

12:45～13:45 グループ討議(第2部)

13:45～14:00 休憩

14:00～15:20 グループ発表

15:20～15:30 閉会挨拶

【申込方法】 入場無料、事前の申込が必要です(定員200人)

※氏名(所属先を含む)、連絡先(電話番号、アドレス)、
参加する番号((1)第1部のみ参加、(2)第2部のみ参加、(3)全てに参加)
を明記のうえ、平成28年7月8日(金)までにお申込みください。ただし、
第2部は参加できるグループ数に限りがありますので、お早めにお申込みく
ださい。

【問い合わせ先】 三重大学地域創発センター 059-231-9969(担当: 矢田)

【申込み先】 jimu@cocpls.mie-u.ac.jp

.....

☆岐阜大学野生動物管理学研究センターシンポジウム 2016

「鳥害研究最前線 ～カラスとカワウ～」

【開催日時】 平成28年7月19日（火） 13:30～17:00

【開催場所】 岐阜大学講堂（岐阜市柳戸1-1）

【対象】 一般市民、行政職員、関係者等

【参加費】 無 料

【内容】

講演

（1）カラスを知れば見える正しい対策

国立大学法人 総合研究大学院大学 学融合推進センター 塚原直樹 氏

（2）本気で取り組むカワウ管理

（株）イーグレット・オフィス 須藤明子 氏

話題提供

岐阜県のカワウ被害対策について

岐阜県 農政部里川振興課水産振興室 中居 裕 氏

パネルディスカッション

鈴木正嗣 塚原直樹 須藤明子 中居裕の各氏

【岐阜大学HP（申込書リンク有り）】 <http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/>

【開催案内】 http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/doc/chougai_annai.pdf

【チラシ】 http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/doc/chougai_chirashi.pdf

【申込方法】 氏名（ふりがな）、住所、所属、連絡先をご記入の上、メールまたはFAXにて、下記へお申込みください。

当日日参加も可能ですが、準備の都合上、事前申込みをお願いいたします。

また、質問等がございましたらお書き添えください。

【申込み・お問い合わせ先】 上記の岐阜大学HPのURLを開き申込書を取得して下さい。

岐阜大学野生動物管理学研究センター（担当：原口）

TEL&FAX 058-293-3416

E-mail rcwm@gifu-u.ac.jp

.....

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 7月研究会

【開催日時】 平成28年7月27日（水） 14:00～17:00

【開催場所】 名古屋市市民活動推進センター 研修室

（名古屋市中区栄三丁目18番1号）

ナディアパーク・国際デザインセンタービル 6階

（電話：052－228－8039）

【講師】

(14:00～15:30)

「バイオリファイナー」 岐阜大学名誉教授 高見澤 一裕 氏

(15:30～17:00)

「循環型社会を目指して」 株式会社アンジェロ 代表取締役 内田 守 氏

【会費】 会員 無料、会員以外 1,000円

【交流会】 講師を囲んでの交流会を予定（自由参加）

会費 3,000円

新栄 うお浜 （会場へはタクシー乗り合わせ）

（電話）052-684-7710）

※交流会のキャンセルは前日の正午まで。

【出欠連絡】 下記宛てにメール連絡してください。

E-mail: gt-keisoku@re.commufa.jp 川崎 修様宛て

中部異業種間リサイクルネットワーク事務局行き

記載例: 7月27日（水）の研究会例会

研究会への出欠、交流会への出欠

所属: 氏名:

【緊急連絡先】 090-7025-0050

.....

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門

一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】 平成28年10月25日（火）12:30～17:40

26日（水）9:00～15:30

【開催場所】 アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介

2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一 氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司 氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦 氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

農研機構果樹茶業研究部門

東出忠桐 氏

○大規模農業生産者（法人）の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課

川島正俊 氏

○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構果樹茶業研究部門

堀江秀樹 氏

○総合討論

2 日目（10月26日）

全体会議

○果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構本部企画調整部 白川 隆 氏

○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
埼玉県農業技術研究センター 塚澤和憲 氏

○ウリ類緑黄化病の発生状況と対策
熊本県農業技術課農業革新支援センター 杉浦直幸 氏

○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
北海道立総合研究機構上川農業試験場 新村昭憲 氏

○スイカ育種の現状と課題 (株)萩原農場生産研究所 嶋本育泰 氏

○カボチャ育種の現状と展望 農研機構北海道農業研究センター 杉山慶太 氏

○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望
農研機構野菜花き研究部門 杉山充啓 氏

○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望
農研機構野菜花き研究部門 川頭洋一 氏

○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域
上級研究員 川頭洋一

電話：050-3533-4610 ファックス：059-268-1339

E-mail：ykawazu@affrc.go.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成 28 年度競争的研究資金等について

☆平成 28 年度官民連携新技術研究開発事業

農林水産省（農村振興局）

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/160627_1.html

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：平成 28 年 6 月 27 日～8 月 12 日

.....

☆平成 28 年度林業技術革新プロジェクトのうち森林作業システム高度化技術開発事業

農林水産省（林野庁）

http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/itaku/160624_1.html

分野等：

1. 燃費等を抑制できる油圧式集材機の開発
2. 傾斜地での再造林作業を省力化する林業機械の開発
3. タワーヤーダ主索張力の感知機構等の開発

公募期間：平成 28 年 6 月 24 日～8 月 8 日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージ 3：NexTEP-A タイプ（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成 28 年 4 月 1 日～7 月 29 日

.....

☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム

（JST）

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：「未来を共創するサービス研究開発」の可能性調査

公募期間：平成 28 年 4 月 28 日～7 月 13 日

.....

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）

（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の 7 つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術

- (2)G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
『民間の競争的研究資金』

☆一般財団法人キャノン財団：「研究助成プログラム『理想の追求』」

<http://www.canon-foundation.jp/aid/information.html>

分野等：食に関する研究

公募期間：平成28年6月1日～7月15日

.....

☆公益財団法人ロッテ財団：「研究助成事業 研究者育成助成（ロッテ重光学術賞）」

<http://www.lotte-isf.or.jp/promotion1.html>

分野等：(1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術、(2)食品のマーケティング、(3)食文化、(4)嗜好性、(5)栄養、(6)食品安全・衛生、(7)上記(1)から(6)の複合領域

公募期間：平成28年4月1日～7月19日

.....

☆公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団：「研究助成」

<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>

分野等：粉体工学に関する基礎研究

公募期間：平成28年5月2日～7月20日

.....

☆公益財団法人稲盛財団：「2017年度稲盛財団研究助成」

http://www.inamori-f.or.jp/inamori_grants/

分野等：自然科学系、人文・社会科学系

公募期間：平成28年6月1日～7月25日

.....

☆公益財団法人井上科学振興財団：「井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的發展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募締切日：平成28年7月29日

☆公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団：「2016年度岸本基金研究助成」

<http://www.senri-life.or.jp/grant/grant-1.html>

分野等：

1. 生命現象の解明
 2. 健康の維持増進と疾病の予防・治療
 3. 生物およびその諸機能の産業への応用
- を基本的な分野とし、独創性・先行性があり、かつライフサイエンス振興への波及効果が期待できるもの。

公募期間：平成28年6月1日～7月29日

☆公益財団法人ダノン健康栄養財団：

「平成29年（2017年）度ダノン学術研究助成金」

<http://www.danone-institute.or.jp/research.html>

分野等：「栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究」

特に重点をおく研究テーマ：小児および高齢者の栄養、食習慣についての疫学、および乳製品・プロバイオティクスの有用性

公募期間：平成28年5月16日～7月31日

☆公益財団法人日本発明振興協会：「平成28年度発明研究奨励金」

<http://www.jsai.org/shoureikin28.html>

分野等：発明考案の試験研究であって、次の事項に該当し、その発明考案の実施化もしくは展開に必要と認められるもの。

- (1) 特許権又は実用新案権として登録済みのもの。
- (2) 特許又は実用新案を出願し、既に公開され、かつ審査請求済みのもの。
但し、係争中のものは除く。
- (3) 平成6年1月1日以降出願の実用新案は、実用新案技術評価書入手済みのもの。

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

☆公益財団法人東洋食品研究所：「平成28年度食品研究助成金」

<http://www.shokuken.or.jp/subsidize.html>

分野等：

1. 食品資源に関する分野：農産原料栽培、育種に関する研究等
2. 食品科学に関する分野：安全・衛生、機能・栄養、食品物性に関する研究等

3. 食品加工に関する分野： 製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通に関する研究等

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

.....

☆公益財団法人岩谷直治記念財団：「岩谷科学技術研究助成」

<http://www.iwatani-foundation.or.jp/>

分野等：

1. 新しいエネルギー源
2. 新しい燃料
3. エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料
5. 低温の利用
6. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性

公募期間：平成28年6月1日～7月31日

.....

☆やずや食と健康研究所：「2016年度助成研究」

<http://yazuken.jp/subsidy/outline/>

分野等：さまざまな食品・食物・食生活習慣と健康とのかかわりに焦点を当てた研究

公募期間：平成28年7月4日～8月4日

.....

☆公益財団法人旭硝子財団：「自然科学系『研究奨励』」

<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：

- 第1分野：化学・生命科学系の研究で、物質・材料、生命・生物に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第2分野：物理・情報系の研究で、材料・デバイス・システム、情報・制御ならびに設計・生産の基礎に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第3分野：建築・都市工学系の研究で、人間生活の歴史と現状、将来を視野に置いた建築・都市空間に関わる研究

公募期間：平成28年7月1日～8月12日

.....

☆公益財団法人旭硝子財団：「環境フィールド研究 近藤記念グラント」

<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：絶滅危惧種の保護や外来種対策を含む生物多様性・生態系の保全・再生や持続的利用などに関する、基礎科学から応用化学までを含めた研究分野に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究

公募期間：平成28年7月1日～8月12日

.....

☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）一般研究助成」

http://www.ifo.or.jp/research/re_02.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。独創的で夢のあるチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....

☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）大型研究助成」

http://www.ifo.or.jp/research/re_03.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。大きな構想で目的が明確な独創的でチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....

☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）若手研究者助成」

http://www.ifo.or.jp/research/re_04.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....

☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日

.....

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日

.....

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：「平成28年度助成先公募」

<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募締切日：平成28年8月31日

☆一般財団法人油脂工業会館：「平成29年度研究助成」

<http://www.yushikaikan.or.jp/system.html>

分野等：

1. コロイド・界面科学及び石鹸・界面活性剤工業に関する技術の分野
 2. 油脂・脂質に関する科学及び油脂加工技術の分野
 3. 健康・美・清潔と生活の科学に関する研究・技術の分野
- *上記の三分野とするが周辺の分野も包含する。

公募期間：平成28年6月1日～8月31日

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016（平成28）年度研究助成」

http://www.yazaki-found.jp/applications/research_grants.html

分野等：エネルギー、新材料、情報

公募期間：平成28年6月1日～8月31日

☆日本石鹸洗剤工業会：「平成29年度グリセリン新規用途開発研究助成」

http://jsda.org/w/01_katud/glycerin.html

分野等：

1. グリセリンの新規用途開発研究（新規化学物質、新規応用研究）
2. グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究
3. その他需要拡大につながる研究

公募期間：平成28年6月1日～8月31日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：

「平成28年度研究助成（特別助成）」

<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する研究

公募期間：平成28年7月1日～8月31日

☆公益財団法人水谷糖質科学振興財団：「第24回糖質科学研究助成（平成29年度助成）」

<http://www.mizutanifdn.or.jp/ja/grant/apply.html>

分野等：糖質科学の基礎および応用研究

公募期間：平成28年7月1日～9月1日

☆公益財団法人トヨタ財団：「2016年度研究助成プログラム」

<http://www.toyotafound.or.jp/program/research.html>

分野等：「社会の新たな価値の創出」に結び付くことが期待される共同研究、または
個人研究のプロジェクトを対象に助成を行う。

公募期間：平成28年5月16日～9月2日

.....
☆公益財団法人総合健康推進財団：「平成28年度第33回一般研究奨励助成」

<http://s-kenko.org/pdf1.php>

分野等：

1. 栄養と健康、2. 老化と健康、3. 保健対策と健康、4. 衣食住と健康、5. 代替医療
と健康、6. 生活環境と健康、7. 福祉と健康、8. 産業衛生と健康

公募期間：平成28年7月1日～9月15日

.....
☆公益財団法人ノバルティス科学振興財団：

「平成28年度（2016年度）第30回ノバルティス研究奨励金」

<http://japanfoundation.novartis.org/ja/programs/index03.html>

分野等：生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域における創造的な研究

公募締切日：平成28年9月16日

.....
☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

.....
☆公益財団法人松籟科学技術振興財団：「研究助成事業」

<http://www.shorai-foundation.or.jp/subsidy/index.html>

分野等：

1. 植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究
2. エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究
3. 持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究

公募期間：平成28年7月21日～9月30日

.....
☆公益財団法人日本ワックスマン財団：「平成28年度助成金」

http://www.waksman.or.jp/wk_offer/p_offering.html

分野等：微生物学および医学に関する学術研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

.....
☆公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団：

「第28回（平成28年度）研究助成」

https://www.katoken.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html

分野等：

1. メディカルサイエンス分野

2. バイオテクノロジー分野

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益社団法人日本アロマ環境協会：「2017年度 AEAJ 研究助成事業」

http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research_grant/

分野等：現在および将来にわたってアロマ環境（自然の香りある豊かな環境）の保全・創造およびアロマセラピー（アロマ環境により得られる植物の香りや香り成分を豊かな生活のために利用すること）の健全な普及・発展に寄与することが明らかと思われる研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ライフサイエンス振興財団：「研究助成（平成28年度）」

<http://www.lifesci-found.com/original5.html>

分野等：ライフサイエンス 等

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：

「平成28年度研究助成（一般助成）」

<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する萌芽的研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人東レ科学振興会：「平成28年度（第57回）東レ科学技術研究助成」

http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf_004.html

分野等：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

公募締切日：平成28年10月7日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

園芸関係（野菜）：伊賀特産新野菜「いがむらさき」

「いがむらさき」は三重県農業研究所が、伊賀市在住の育種家・奥隆善氏、（社）大山田農林業公社と共同で開発した新しい野菜です。「いがむらさき」は、日野菜とハクサイ

の交配によって生まれ、鮮やかな紫色の葉には、アントシアニンが多く含まれています。収穫時期は11月下旬から1月中旬です。主な用途は、白菜と同様に漬物ですが、サラダ、炒め物にも使われ、シャキシャキした食感と鮮やかな紫が食卓に色どりを添えます。今後、「いがむらさき」の機能性を解明し、冬場に不足しがちなアントシアニン・リッチな食品として、健康志向の消費者の必需食品になっていくことが期待されます。

三重県農業研究所ホームページ：伊賀特産新野菜「いがむらさき」の品種特性

<http://www.pref.mie.lg.jp.cache.yimg.jp/common/content/000166278.pdf>

三重県育成品種「いがむらさき」の許諾申請募集について

<http://www.pref.mie.lg.jp.cache.yimg.jp/nougi/hp/80104026878.htm>

・・

水産関係：特定波長光が魚類養殖において成長を促進する

植物工場等では、LEDの特定の波長がレタスなどの作物の成長を促進したり、薬用植物の成分含有量を変化させることが知られています。水産関係でも、特定波長の効果についての研究が冷水性の大型カレイの一種であるマツカワで進められています。マツカワは、重要な栽培漁業の対象種となっていますが、光条件がその成長に影響を及ぼすことが明らかになってきました。マツカワを白背地で屋内飼育すると、黒背地で飼育した場合よりも成長が良くなります。また、フィルター選別光では、明期に緑色光照射した場合、成長に対して促進的に作用し、一方、赤色光照射では抑制的に作用することが知られています。LEDを用いた場合でも、水温が10℃以下と低い時には、緑や青のLED区は赤のLED区よりも摂餌量及び成長率が良くなりますが、水温の上昇とともに差は次第に消失しました。緑色のLEDの照射は、低水温の期間に魚の成長を持続させることのできる重要な知見と考えられます。他の魚種においても、LED照射光の波長と成長との関係を究明していくことは、陸上養殖を進めて行く上での重要な課題であると考えられます。

平成27年度水産学進歩賞論文：高橋明義（2016）魚類の体色調節関連下垂体ホルモンの基礎と応用に関する研究

https://www.jstage.jst.go.jp/article/suisan/82/3/82_WA2286/pdf

・・

編集後記

最近のニュースとしては、G7サミットが無事終わった後、英国の国民投票でEU離脱支持が多数を占めたことです。その後、離脱を訴えてきた責任者が次々と「戦線離脱」する状況等がみられ、英国内の分断・混迷ぶりが露呈しています。外部から見ると、EUからの離脱により英国の経済的なマイナスは大きいのではないかと推察されますが、移民拒否、英国の独立性確保等の訴えに国民の多くが乗ったと思われます。伝統的な民主主義国の現状を心配する一方、イラク戦争への参加について「独立調査委員会」が詳細な調査の結果として、参戦は誤りであったとの報告書を出したこと自体に民主主義の深さを感じるようです。このメールマガジンをお届けする時には、参議院議員選挙の結果が判明していますが、英国での状況も参考に、慎重かつ堅実に社会経済運営を進めてもらいたいもの

です。

ところで、最近読んだ本に、白石拓著『ひと粒五万円！』世界一のイチゴの秘密（2016年発行、祥伝社）と杉山経昌著「農！黄金のスマールビジネス」（2006年発行、築地書館）があります。著者（白石）は、岐阜県羽島の篤農家が、自分でイチゴの育種・栽培するだけでなく、1粒が80gを超し5万円もする大粒でおいしいイチゴ「美人姫」を独自販売する話と、ニュースでも話題となった1房100万円のご祝儀相場が付いた、石川県が戦略作物として育成・普及した赤くて「巨峰」の2倍の大きさのおいしいブドウ品種「ルビーロマン」の技術的な苦労話、ブランド化の話について書いています。技術革新によって、今までに無いような農作物を生み出しブランド化して、それらを求めるお客さんに高く買ってもらおうという、困難だがやりがいのあるビジネスモデルが書かれています。

また、著者（杉山）は、かつて優秀なビジネスマンでしたが、農的な生活を自分の思ったようにやり、人生をトータルに充実させたいということで脱サラし、週3日労働、時給3千円でやる農業を創意工夫により実践しています。もうかる農業の分析結果から、ブラックオリンピア（ブドウ品種）を栽培し観光農園を経営しています。農外からの農業参入者である著者の視点からの農業経営分析が随所にあり、その発想は斬新で合理的です。

大規模経営でないと農業経営は成り立たないといった誤解がありますが、多くの生産者が園芸等の儲かる農業を実践し、様々な創意工夫とチャレンジに満ちた農業を「面白い」と思ってやり、収益をあげることができれば、地域経済と地域社会は自ずと持続していくのだらうと思われます。これらの本は、これからの農業展開にとってのヒントになるのではないかと思います。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

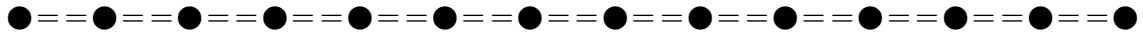
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

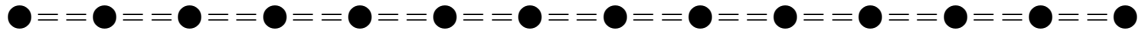
URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

平成28年8月10日発行



B i o T e c h T O K A I ―メールマガジン 第140号―

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



****《もくじ》****

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
● 移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
● ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー
● ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
● ☆アグリビジネス創出フェア2016 in 東海
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
● ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 8月研究会
● ☆三重大学大学院生物資源学研究科「産学官コミュニティシンポ2016」
● ☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー
● ☆平成28年度野菜花き課題別研究会
● 「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
● ☆アグリビジネス創出フェア2016（東京ビッグサイト）（農林水産省）
● ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
● ☆平成28年度官民連携新技術研究開発事業（農林水産省）
● ☆革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）（第2回公募）
● （農研機構・生研支援センター）
● ☆平成28年度 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発（ALCA）
● （JST）
● ☆科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム（JST）
● ☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージ3：NexTEP-A タイプ
● （平成28年度・第2回）（JST）
● ☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業
● シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援（第2回公募）（NEDO）
● ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（総務省）
● ☆民間の競争的研究資金を36件掲載
- 5. 新技術情報
● ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介（3件）



◆1◆ 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術

☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー

農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13：30～17：00

【開催場所】ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 （Tel：052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13：30～14：30

「セルロース・ナノファイバーの先端的材料利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦氏

○水産部会 13：30～14：30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹氏

第2会場（1007）

○食品部会 14：30～15：30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文氏

○畜産部会 14：30～15：30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸氏

○作物部会 15：40～16：50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦荻基行氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主 催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 ／ 農林水産省

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター、農研機構 中央農業研究センター、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】15:50～16:50 (第1会場 1006)

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】17:00～18:30 (第2会場 1007) 会費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメール宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-Mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

.....

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー

「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日(火) 13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 12階 1202会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel: 052-571-6131

【演題・講師】

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合 代表理事 永田晶彦 氏

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【後援】農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター、農研機構 中央農業研究センター、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談(1202会議室): 16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206会議室: 17:00～18:30 参加費 2,500円

【参加申込み】 上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメール宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-Mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

.....

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

ー農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進ー

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携をより一層効果的に推進するため、地域の活性化につなげる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】 平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】 名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市千種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学 2番出口より徒歩2分

【内容】

(1) 開会式

(2) 基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

(3) 成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

(4) 名古屋大学協力会の講演会

(5) 「知」の集積事業説明会

(6) パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

(7) 相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【共催】 名古屋大学協力会

【後援】 名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター、農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター

【出展予定】 研究機関・企業・団体等：60ブース

【出展募集要領】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttenyouryou_tokai.pdf

【出展申し込み】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf

http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf

【参集範囲】 大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験

研機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。
また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。
異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。

会費 4000 円（事前申し込み）

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局（大石、道村）

TEL & FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 8月研究会

【開催日時】平成28年8月25日（木） 14:00～17:00

【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室

（名古屋市中区栄三丁目18番1号）

ナディアパーク・国際デザインセンタービル6階（電話：052-228-8039）

【講演】

（14:00～15:30）

「私の目指す 農業」 有限会社サンフレッシュ海津代表 高木健一氏

（15:30～17:00）

「優良企業への道」 セブン銀行取締役 大橋周治氏

【会費】 会員 無料 会員以外 1,000円

【交流会】講師を囲んでの交流会を予定しています。（自由参加）

会費当日 3,000円

【出欠連絡】下記宛てにメールでご連絡ください。

E-mail : gt-keisoku@re.commufa.jp 川崎 修様宛て

中部異業種間リサイクルネットワーク事務局行き

記載例： 7月27日（水）の研究会例会

研究会への出欠、交流会への出欠

所属： 氏名：

【緊急連絡先】090-7025-0050

.....

☆三重大学大学院生物資源学研究科「産学官コミュニティシンポ2016」

本シンポジウムでは、三重大学大学院生物資源学研究科に所属する大学教員・大学院生の日頃の農林水産・食品・バイオ・環境分野における研究成果が、シンポジウム、ポスターセッション、ポスターブースの3つの形式で紹介されます。それぞれの分野で「先端技術」から「地域との取り組み」など、多種多様な研究が紹介され、産業界との情報交換を目的として開催されます。参加者と教員との間での情報交換により、さまざまなシーズとニ

ーズが理解されることによって、今後、大学と地域のコミュニティづくりに向けた新しい展開が期待されます。

【開催日時】平成28年9月2日（金）13：00～（受付 12：30～）

【開催場所】三重大学生物資源学部（2階 大講義室）、環境情報科学館（1 階）

【開催概要】<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2016/08/2016-2.html>

【主催】三重大学大学院生物資源学研究科 協力 株式会社三重ティーエルオー

【プログラム】

研究科長挨拶（改組・サテライト構想など）

13：15～

シンポジウム

冒頭説明「グリーンイノベーションの全体像」

(1) 「ドライ解析＋ウェット解析＝コーディネート育種

～いい野菜品種を作り出すための新戦略～」 諏訪部圭太 准教授

(2) 「開発途上国でグリーンイノベーションは起こるのか？

～タンザニアにおける水稻栽培の事例から考える～」 関谷 信人 准教授

(3) 「木質バイオマス利用におけるイノベーションとは」 野中 寛 准教授

パネルディスカッション

ディスカッションテーマ『研究科が目指す地域貢献について』

冒頭説明「大学の地域貢献について紹介」

パネリスト（学外）株式会社浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎 氏

三重県漁業協同組合連合会 企画開発部長 小野里 伸 氏

野地木材工業株式会社 専務取締役 野地 伸卓 氏

（教員）資源経済システム学研究分野 松井 隆宏 准教授

産学連携コーディネーター 前川 行幸 名誉教授

16：10～

学生・企業団体による研究紹介 ポスターブース展示

場所：環境情報科学館1F

（専門の教員・学生が来場者へわかりやすく研究内容を紹介）

17：50～

懇親会 生協第1食堂

【参加申込】参加費無料。参加申込と締切 上記「開催概要」のリンク先から「参加申込書」を取り出し、出欠をお知らせ下さい。 締切 8月25日（木）

担 当 生物資源学研究科チーム 総務担当（羽津本）

E-mail renkei@bio.mie-u.ac.jp Fax 059-231-9634

周辺に駐車スペースがありませんので、当日は公共交通機関をご利用下さい。

.....

☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー

～飲食（RTE 向け）HACCP セミナー@名古屋～

飲食（RTE）の提供を含む事業形態である、飲食店、スーパーのバックヤードでの調理、ケータリング、移動店舗、弁当・惣菜業などのすべてを対象といたします。

【開催日時】平成28年10月1日（土）13：15～17：00

参加者受付13：00～13：15

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 1105号室

アクセス：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【開催概要】<http://qpfs.jp/194>

【参加費】3000円

【内容】

13:15-14:00 飲食 HACCP の国際的な潮流

食品品質プロフェッショナルズ 広田鉄磨 氏

14:00-14:45 これからの HACCP；もうかる HACCP を実践しよう、移動販売への応用

食品品質プロフェッショナルズ 高瀬波佐人 氏

15:00-15:45 消費者からみた飲食 HACCP

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー

コンサルタント・相談員協会 戸部依子 氏

15:45-16:30 飲食における一般衛生管理

イカリ消毒株式会社 脇 洋平 氏

16:30-17:00 飲食 HACCP における問題点克服 広田鉄磨 氏

（プログラムは講師の都合等により変更をすることがあります）

【申込み】参加ご希望の方は、9月27日（火）17時までに下記宛てにお申込み下さい。

事務局 水野 t-mizuno@qpfs.jp 宛に「名古屋開催 飲食（RTE）向け HACCP セミナー参加希望」として申込みをお願いします。

申込み時には、(1)氏名 (2)所属 (3)当日連絡可能な携帯電話番号

(4)メールアドレス (5)懇親会参加希望の有無(会費 5000 円を予定)をご記入ください。満席になり次第受付を締め切りますのでお早めにお申し込みください。

.....

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門

一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日（火）12：30～17：40

26日（水）9：00～15：30

【開催場所】アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介

2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一 氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株) 野原秀司 氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株) 山口一彦 氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

農研機構果樹茶業研究部門 東出忠桐 氏

○大規模農業生産者(法人)の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課 川島正俊 氏

○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構果樹茶業研究部門 堀江秀樹 氏

○総合討論

2日目(10月26日)

全体会議

○果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構本部企画調整部 白川 隆 氏

○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
埼玉県農業技術研究センター 塚澤和憲 氏

○ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策

熊本県農業技術課農業革新支援センター 杉浦直幸 氏

○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

北海道立総合研究機構上川農業試験場 新村昭憲 氏

○スイカ育種の現状と課題 (株)萩原農場生産研究所 嶋本育泰 氏

○カボチャ育種の現状と展望 農研機構北海道農業研究センター 杉山慶太 氏

○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門 杉山充啓 氏

○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門 川頭洋一 氏

○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域
上級研究員 川頭洋一

電話: 050-3533-4610 ファックス: 059-268-1339

E-mail: ykawazu@affrc.go.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア 2016（東京ビッグサイト）

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日（水）～12月16日（金）

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール（東京都江東区有明3-11-1）

【アグリビジネス創出フェア 2016 ホームページ】<http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】無料

【主催】農林水産省

【出展者募集】出展料無料（但し、小間装飾に必要な経費（出展者名ボード作成費、電気使用量等の実費は負担））

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】出展申込みの際にご記入下さい。

.....

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆4◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度官民連携新技術研究開発事業

農林水産省（農村振興局）

公募概要：http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/160627_1.html

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：平成28年6月27日～8月12日

☆革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）（第2回公募）

農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター

公募概要：<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/chiiki/koubo/02/index.html>

分野等：生産性向上や差別化など、競争力強化に向けた地域戦略を実現するため、産学官、農林漁業者等が総力を結集して、先進的な技術を組み合わせた革新的な技術体系を確立する実証研究を行う。

公募期間：平成28年7月12日～8月19日

☆平成28年度 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発（ALCA）」（JST）

公募概要：<http://www.jst.go.jp/alca/koubo.html>

分野等：

1. 特別重点技術領域「ホワイトバイオテクノロジーによる次世代化成品創出」
2. 革新技術領域
3. 低炭素社会実現に向けた新発想型

公募期間：平成28年7月11日～8月22日

☆科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム（JST）

公募概要：<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：客観的根拠に基づく科学技術イノベーション政策の形成に寄与するため、重点課題に基づき、新たな指標、手法等の開発や制度設計のための研究開発を公募により推進する。

公募期間：平成28年7月8日～8月25日

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージ3：NexTEP-A タイプ
（平成28年度・第二回）（JST）

公募概要：<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年7月29日～11月30日

☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業/シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援（第2回公募）（NEDO）

公募概要：http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100122.html

分野等：シード期の研究開発型ベンチャーが必要とする研究開発および事業化に必要な資金、並びに活動を、ベンチャーキャピタルおよびシードアクセラレータ等と NEDO が協調して支援する。

公募期間：平成 28 年 7 月 11 日～8 月 26 日

.....
☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!)

(総務省)

公募概要：http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成 28 年 4 月 21 日～ (28 年度中はいつでも応募可能)

.....
民間等研究資金

☆公益財団法人旭硝子財団：「自然科学系『研究奨励』」

公募概要：<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：

- 第 1 分野：化学・生命科学系の研究で、物質・材料、生命・生物に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第 2 分野：物理・情報系の研究で、材料・デバイス・システム、情報・制御ならびに設計・生産の基礎に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究
- 第 3 分野：建築・都市工学系の研究で、人間生活の歴史と現状、将来を視野に置いた建築・都市空間に関わる研究

公募期間：平成 28 年 7 月 1 日～8 月 12 日

.....
☆公益財団法人旭硝子財団：「環境フィールド研究 近藤記念グラント」

公募概要：<http://www.af-info.or.jp/subsidy/about.html>

分野等：絶滅危惧種の保護や外来種対策を含む生物多様性・生態系の保全・再生や持続的利用などに関する、基礎科学から応用化学までを含めた研究分野に関わる研究、およびこれらに関係の深い研究

公募期間：平成28年7月1日～8月12日

.....
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）一般研究助成」

公募概要：http://www.ifo.or.jp/research/re_02.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。独創的で夢のあるチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）大型研究助成」

公募概要：http://www.ifo.or.jp/research/re_03.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究を対象とする。大きな構想で目的が明確な独創的でチャレンジングな研究を期待している。

1. 微生物の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）
2. 微生物の応用に関する研究（発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクスなど）
3. 微生物の環境に関する研究（環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....
☆公益財団法人発酵研究所：「平成29年度（2017年度）若手研究者助成」

公募概要：http://www.ifo.or.jp/research/re_04.html

分野等：微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の分類に関する研究（分離、分類、保存、生態、進化など）

公募期間：平成28年7月1日～8月22日

.....
☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

応募要領：<http://www006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日

.....
☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成２８年度研究助成」

公募概要：<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成２８年１月５日～８月３１日
.....

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：「平成２８年度助成先公募」

公募概要：<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募締切日：平成２８年８月３１日
.....

☆一般財団法人油脂工業会館：「平成２９年度研究助成」

公募概要：<http://www.yushikaikan.or.jp/system.html>

分野等：

1. コロイド・界面科学及び石鹼・界面活性剤工業に関する技術の分野
 2. 油脂・脂質に関する科学及び油脂加工技術の分野
 3. 健康・美・清潔と生活の科学に関する研究・技術の分野
- *上記の三分野とするが周辺の分野も包含する。

公募期間：平成２８年６月１日～８月３１日
.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「２０１６（平成２８）年度研究助成」

公募概要：http://www.yazaki-found.jp/applications/research_grants.html

分野等：エネルギー、新材料、情報

公募期間：平成２８年６月１日～８月３１日
.....

☆日本石鹼洗剤工業会：「平成２９年度グリセリン新規用途開発研究助成」

募集要項：http://jsda.org/w/01_katud/glycerin.html

分野等：

1. グリセリンの新規用途開発研究（新規化学物質、新規応用研究）
2. グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究
3. その他需要拡大につながる研究

公募期間：平成２８年６月１日～８月３１日
.....

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成２８年度研究助成（特別助成）」

公募概要：<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する研究

公募期間：平成２８年７月１日～８月３１日
.....

☆公益財団法人水谷糖質科学振興財団：「第24回糖質科学研究助成(平成29年度助成)」

応募要項：<http://www.mizutanifdn.or.jp/ja/grant/apply.html>

分野等：糖質科学の基礎および応用研究

公募期間：平成28年7月1日～9月1日

.....

☆公益財団法人トヨタ財団：「2016年度研究助成プログラム」

公募概要：<http://www.toyotafound.or.jp/program/research.html>

分野等：「社会の新たな価値の創出」に結び付くことが期待される共同研究、または個人研究のプロジェクトを対象に助成を行う。

公募期間：平成28年5月16日～9月2日

.....

☆公益財団法人総合健康推進財団：「平成28年度第33回一般研究奨励助成」

公募概要：<http://s-kenko.org/pdf1.php>

分野等：

1. 栄養と健康、2. 老化と健康、3. 保健対策と健康、4. 衣食住と健康、5. 代替医療と健康、6. 生活環境と健康、7. 福祉と健康、8. 産業衛生と健康

公募期間：平成28年7月1日～9月15日

.....

☆公益財団法人ノバルティス科学振興財団：

「平成28年度（2016年度）第30回ノバルティス研究奨励金」

公募概要：<http://japanfoundation.novartis.org/ja/programs/index03.html>

分野等：生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域における創造的な研究

公募締切日：平成28年9月16日

.....

☆公益財団法人高橋産業経済研究財団：「平成29年度研究助成」

公募概要：<http://takahashi-f.or.jp/entry/index.shtml>

分野等：1. 災害対策分野、2. 環境問題分野、3. 資源分野、4. 医学・医療分野、5. 地域社会対策分野、6. 国際交流・人材育成分野、7. 科学技術開発分野

公募期間：平成28年7月21日～9月16日

.....

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

募集要項：<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

.....

☆公益財団法人松籟科学技術振興財団：「研究助成事業」

公募概要：<http://www.shorai-foundation.or.jp/subsidy/index.html>

分野等：

1. 植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究
2. エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究

3. 持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究

公募期間：平成28年7月21日～9月30日

☆公益財団法人日本ワックスマン財団：「平成28年度助成金」

公募要項：http://www.waksman.or.jp/wk_offer/p_offering.html

分野等：微生物学および医学に関する学術研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団：「第28回（平成28年度）研究助成」

公募概要：https://www.katokenen.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html

分野等：

1. メディカルサイエンス分野
2. バイオテクノロジー分野

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益社団法人日本アロマ環境協会：「2017年度 AEAJ 研究助成事業」

公募概要：http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research_grant/

分野等：現在および将来にわたってアロマ環境（自然の香りある豊かな環境）の保全・創造およびアロマセラピー（アロマ環境により得られる植物の香りや香成分を豊かな生活のために利用すること）の健全な普及・発展に寄与することが明らかと思われる研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ライフサイエンス振興財団：「研究助成（平成28年度）」

募集要領：<http://www.lifesci-found.com/original5.html>

分野等：ライフサイエンス 等

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成28年度研究助成（一般助成）」

公募概要：<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する萌芽的研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人花王芸術・科学財団：「平成29年度花王科学奨励賞」

公募概要：<http://www.kao-foundation.or.jp/assist/science/research.html>

分野等：

1. 化学・物理学分野

表面分析、表面改質、コロイド、（超）微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

2. 医学・生物学分野

生物個体が外界や自らのもつ内腔（腸管、気管など）に接する部位や、脈管系（血管、リンパ管など）を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

.....

☆一般財団法人ニッポンハム食の未来財団：「平成29年度研究助成」

募集要項：<https://www.miraizaidan.or.jp/information/2016.html#info20160712>

分野等：

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人沖縄協会：「第38回（平成28年）沖縄研究奨励賞」

推薦応募：http://www.okinawakyoukai.jp/jigyousyousei/h28_bosyu.html

分野等：沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016（H28）年度特定研究助成」

応募要項：<http://www.yazaki-found.jp/applications/applications-3.html>

分野等：

領域 a. 生物の機能や構造を情報伝達、自己修復、環境適応、材料創成などの新機能創生に活用して従来にない人工物を実現する研究

領域 b. 扱いにくい熱を変換、輸送、貯蔵して有効に活用する技術

公募期間：平成28年年8月1日～9月30日

.....

☆公益財団法人東レ科学振興会：「平成28年度（第57回）東レ科学技術研究助成」

推薦要領：http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf_004.html

分野等：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

公募締切日：平成28年10月7日

.....

☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」

募集要項：<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究
2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

募集要項：<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。
2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

募集要項：http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php

分野等：

1. 再生可能エネルギー等に関連する技術開発
2. クリーン燃料
3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料、デバイス
5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術
6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

募集要項：<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

応募要項：<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyoukou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

.....

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

公募概要：<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

公募概要：http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

園芸関係（野菜）：革新的接ぎ木によるナス科野菜の複合土壌病害総合防除技術の開発

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進事業の成果です。ナス、トマト、ピーマンの連作により、接ぎ木栽培を行っても青枯病、ナス半身萎凋病、トマト褐色根腐病等が発生し、安定生産上、大きな問題となっています。そこで、異なる抵抗性を持つ台木品種を「台木」及び「中間台木」として組み合わせた多段接ぎ木法、及びトマトで実用化された高接ぎ木法を利用した技術を開発しました。すなわち、多段接ぎ木法では、台木に強度のナス半身萎凋病抵抗性、トマト褐色根腐病抵抗性、および中度の青枯病抵抗性を持つ品種、中間台木に強度の青枯病抵抗性品種を接いだ苗を利用した複合土壌病害防除法を開発しました。多段接ぎ木ナスは、新潟県他3県に、多段接ぎ木トマトは岐阜県他1県に、高接ぎナスは群馬県他3県に、高接ぎピーマンは山口県、岩手県他3県に導入されており、今後、全国的にこれら技術は拡大すると思われます。なお、防除効果、苗の作製法などの革新的接ぎ木マニュアルが作成されています。

農研機構・中央農業研究センター HP：

- ・多段接ぎ木法を用いたナス科果菜類の複合土壌病害の防除

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15_046.html

- ・高接ぎ木ピーマン栽培による青枯病防除

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/narc/2015/15_045.html

.....

茶関係：夏茶の付加価値向上のための新たな生茶保管と製茶技術の確立

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進

事業の成果です。夏茶は一番茶と同程度の生産量ですが、後者と比べて不快な夏茶臭がするなど品質が劣るとされ、低価格で取引されており、収益性が低くなっています。このため、夏茶の品質を改善して付加価値を高め、収益性を高めることが求められています。そこで、摘採後の生茶を低温下で保管することで、製茶された茶の品質を改善することができると分かりました。

鹿児島県農業開発総合センター HP :

<http://www.pref.kagoshima.jp/ag11/pop-tech/zenbu/1101.html>

鹿児島県農業開発総合センター茶業部研究成果 :

http://www.pref.kagoshima.jp/ag11/pop-tech/zenbu/documents/51925_20160516151756-1.pdf

.....

食品関係：凍結含浸法を利用した常温流通可能な形状保持軟化介護食の製造技術の開発

本研究成果は、農林水産省の「研究紹介2016」に掲載されたもので、農食研究推進事業の成果です。高齢化社会においては、食材の外観を残しつつ、咀嚼困難者が喫食可能な柔らかな介護食がますます必要となってきます。凍結含浸法は、凍結処理と減圧によって食材内部に軟化酵素等を急速導入する技術ですが、この食材は極めて柔らかく、流通中に壊れやすいために、主に冷凍食品として販売されています。本研究によって、常温流通可能で流通中に型崩れしない缶詰食品の試作品を開発しました。また、食材に酵素・油脂等を導入した後に、熱風乾燥することで高品質（柔らかさ・外観・色調）な乾燥素材を製造する技術を開発し、湯戻しして食べる新規乾燥介護食品の試作製造を行いました。

（特許第 5751526 号 乾燥食品素材及びその製造方法 出願人：広島県、三島食品(株)）

広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター HP :

凍結含浸法ガイドブック : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/200496.pdf>

凍結含浸法の技術解説 : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/26/ganshin.html>

凍結含浸法を採用・導入している企業・施設 :

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/26/tgmaker.html>

.....

編集後記

8月6日にリオ・オリンピックの開会式が行われ、水泳、柔道をはじめ様々な種目で競技が始まりました。4年に一度しか巡ってこないオリンピックでのメダル獲得に向けて、長く厳しい練習を積み重ねてきた選手達が、全身全霊を傾けて競技をする姿に、見ている方も夢中になって、ついつい寝不足になってしまいます。TV番組で、古代オリンピックについても放映されていました。ギリシャの都市国家間の絶えざる戦争や疫病の蔓延を憂えたオリンポスの王が紀元前8世紀にギリシャの神を祭る競技会（オリンピック）を4年に一回開催することを提唱し、その間は戦争が中止され、徹底して平等、公正な形で競技が行われたということですが、これは現代のスポーツマンシップや不正禁止に繋がっていると思われます。古代オリンピックは、1200年間中断されることなくオリンポスで開

催され、後にはギリシャ以外の小アジアの都市等からも参加するなど、知られざる歴史が語られていました。この伝統を引き継ぐ近代オリンピックを通じて、平和の希求、人間の平等、公正なルールの遵守等が思い起こされ、さらなる発展を期待したいと思います。

ところで、最近読んだ本に、酒井崇男著「トヨタの強さの秘密」(2016 年発刊、講談社現代新書)があります。著者は、大手家電企業等がなぜ経営不振に陥ってしまったのか、一方、トヨタはなぜ世界的に躍進を続けているのかについても述べています。トヨタの「売れる時に売れる数だけ売れる順番に作る」という生産方式は良く知られていますが、本書では、むしろ、トヨタ流製品開発 (TPD) の重要性を強調しています。トヨタ全体の利益のうち、生産現場でのいわゆる「生産方式のカイゼン」で 5 %、製品開発で 95 % が生み出されていると述べています。TPD を特色付けるものとしては、主査 (チーフエンジニア) 制度があり、主査は、車種毎の「製品の社長」であり、担当する製品に関する全ての事項に権限と責任を持ち、市場の求める製品を構想・企画し、各部門の人材を集めて設計情報を創る (= 製品開発) 使命が与えられています。また、トヨタ流 TQM によって、よいプロダクトを生むために 3 つの情報資産 (質の高い設計情報、調査・企画から生産・販売までの全プロセスにおける質の高い管理、管理・改善・改革のできる人材育成) の形成がなされています。そして、世界の企業が必死でまねしようとしているトヨタ方式 (TPD + カイゼン) が、実は、地元の日本では部分的にしか理解されておらず、それが、日本企業の衰退を招いている要因ともなっていると述べています。本書を読んで、トヨタの企業経営について知らなかった部分が多く、目を開かされた思いがしました。企業経営に関係している方、あるいは関心のある方には一読する価値があると思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL & FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13：30～17：00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 （Tel：052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13：30～14：30

「セルロース・ナノファイバーの先端的材料利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦 氏

○水産部会 14：30～15：30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹 氏

第2会場（1007）

○食品部会 13：30～14：30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文 氏

○畜産部会 14：30～15：30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸 氏

○作物部会 15：40～16：50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦荻基行 氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主 催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後 援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 中央農業研究センター、
（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】15：50～16：50 （第1会場 1006）

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】17：00～18：30 （第2会場 1007） 会費2,500円

【参加申込み】 上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】 平成28年12月13日（火） 13:30～17:00

【開催場所】 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）12階 1202会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel: 052-571-6131

【演題・講師】

13:30～14:30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合 代表理事 永田晶彦 氏

14:30～15:30

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

15:40～16:40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】 農研機構 中央農業研究センター、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】 技術相談（1202 会議室）：16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】 1206 会議室：17:00～18:30 参加費 2,500 円

【参加申込み】 上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax 052-789-4586 E-mail bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

ー農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進ー

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携を一層効果的に推進するため、地域の活性化につながる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など、新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市千種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学 2番出口より徒歩2分

【内容】

(1) 開会式

(2) 基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

(3) 成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

(4) 名古屋大学協力会の講演会

(5) 「知」の集積事業説明会

(6) パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

(7) 相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会、農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60ブース

【出展募集要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttenyouryou_tokai.pdf

【出展申し込み】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf

http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。
また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。
異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【名古屋大学協力会の講演会（2日目）の内容】

(1) 未病バイオマーカーの研究開発と生活習慣改善を目的とした郵送検査事業

株式会社ヘルスケアシステムズ 瀧本陽介 氏

(2) 微量血液中からのモノクローナル抗体迅速合成法

名古屋大学大学院生命農学研究科 中野秀雄 氏

(3) 筋タンパク質を維持するための分岐鎖アミノ酸 (BCAA) の機能

名古屋大学大学院生命農学研究科 下村吉治 氏

(4) 農業・食品産業における近赤外分光法の利活用

名古屋大学大学院生命農学研究科 土川 寛 氏

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。

会費 4000 円 (事前申し込み)

【問合せ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局 (大石、道村)

TEL & FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ主催セミナー

～飲食 (RTE 向け) HACCP セミナー@名古屋～

飲食 (RTE) の提供を含む事業形態である、飲食店、スーパーのバックヤードでの調理、ケータリング、移動店舗、弁当・惣菜業などのすべてを対象といたします。

【開催日時】 平成 28 年 10 月 1 日 (土) 13:15～17:00

参加者受付 13:00～13:15

【開催場所】 ウィンクあいち (愛知県産業労働センター) 1105 号室

アクセス : <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【開催概要】 <http://qpfs.jp/194>

【参加費】 3000 円

【内容】

13:15-14:00 飲食 HACCP の国際的な潮流

食品品質プロフェッショナルズ 広田鉄磨 氏

14:00-14:45 これからの HACCP ; もうかる HACCP を実践しよう、移動販売への応用

食品品質プロフェッショナルズ 高瀬波佐人 氏

15:00-15:45 消費者からみた飲食 HACCP

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー

コンサルタント・相談員協会 戸部依子 氏

15:45-16:30 飲食における一般衛生管理

イカリ消毒株式会社 脇 洋平 氏

16:30-17:00 飲食 HACCP における問題点克服 広田鉄磨 氏

(プログラムは講師の都合等により変更をする事があります)

【申込み】 参加ご希望の方は、9 月 27 日 (火) 17 時までに下記宛てにお申込み下さい。

事務局 水野 t-mizuno@gpfs.jp 宛に「名古屋開催 飲食（RTE）向け HACCP
セミナー参加希望」としてお申し込み下さい。

申込み時には、(1)氏名 (2)所属 (3)当日連絡可能な携帯電話番号
(4)メールアドレス (5)懇親会参加希望の有無(会費 5000 円を予定)をご記入く
ださい。満席になり次第受付を締め切りますのでお早めにお申し込みください。

.....

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門

一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日（火）12：30～17：40

26日（水）9：00～15：30

【開催場所】アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介

2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一 氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司 氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦 氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

農研機構果樹茶業研究部門

東出忠桐 氏

○大規模農業生産者（法人）の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課

川島正俊 氏

○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構果樹茶業研究部門

堀江秀樹 氏

○総合討論

2日目（10月26日）

全体会議

○果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構本部企画調整部

白川 隆 氏

○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

埼玉県農業技術研究センター

塚澤和憲 氏

○ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策

熊本県農業技術課農業革新支援センター

杉浦直幸 氏

○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について

北海道立総合研究機構上川農業試験場

新村昭憲 氏

○スイカ育種の現状と課題

(株)萩原農場生産研究所

嶋本育泰 氏

○カボチャ育種の現状と展望

農研機構北海道農業研究センター

杉山慶太 氏

○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門

杉山充啓 氏

○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望

農研機構野菜花き研究部門

川頭洋一 氏

○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担当者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域
上級研究員 川頭洋一

電話：050-3533-4610 ファックス：059-268-1339

E-mail : ykawazu@affrc.go.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア 2016（東京ビッグサイト）

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】 平成28年12月14日（水）～12月16日（金）

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】 東京ビッグサイト 西4ホール （東京都江東区有明3-11-1）

【アグリビジネス創出フェア 2016 ホームページ】 <http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】 無料

【主催】 農林水産省

【出展者募集】 出展料無料（但し、小間装飾に必要な経費（出展者名ボード作成費、電気使用量等の実費は負担）

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】 出展申込みの際にご記入下さい。

.....
○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。
<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージⅢ：
NexTEP-A タイプ（平成28年度・第2回）」（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年7月29日～11月30日

.....

☆「平成28年度セルロースナノファイバー性能評価モデル事業（早期社会実装に向けた導入実証）委託業務」（環境省）

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/28_a37/index.html

分野等：

1. 社会実装に向けた CNF 軽量材料の開発及び評価・検証
2. 自動車分野における CNF 軽量部品の導入実証及び性能評価・検証

公募期間：平成28年8月18日～9月21日

.....

☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（追加公募）」（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000178.html

分野等：若手 ICT 研究者等育成型研究開発

公募期間：平成28年9月12日～10月21日

.....

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術

(6) レジリエント向上ICTサービス技術

(7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
民間等研究資金

☆公益財団法人総合健康推進財団：「平成28年度第33回一般研究奨励助成」

<http://s-kenko.org/pdf1.php>

分野等：

1. 栄養と健康、2. 老化と健康、3. 保健対策と健康、4. 衣食住と健康、5. 代替医療と健康、6. 生活環境と健康、7. 福祉と健康、8. 産業衛生と健康

公募期間：平成28年7月1日～9月15日

.....
☆一般財団法人鷹野学術振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.takano-zaidan.com/>

分野等：電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能性食品等）

公募期間：平成28年8月1日～9月15日

.....
☆公益財団法人ノバルティス科学振興財団：

「平成28年度（2016年度）第30回ノバルティス研究奨励金」

<http://japanfoundation.novartis.org/ja/programs/index03.html>

分野等：生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域における創造的な研究

公募締切日：平成28年9月16日

.....
☆公益財団法人高橋産業経済研究財団：「平成29年度研究助成」

<http://takahashi-f.or.jp/entry/index.shtml>

分野等：1. 災害対策分野、2. 環境問題分野、3. 資源分野、4. 医学・医療分野、5. 地域社会対策分野、6. 国際交流・人材育成分野、7. 科学技術開発分野

公募期間：平成28年7月21日～9月16日

.....
☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

☆公益財団法人松籟科学技術振興財団：「研究助成事業」

<http://www.shorai-foundation.or.jp/subsidy/index.html>

分野等：

1. 植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究
2. エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究
3. 持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究

公募期間：平成28年7月21日～9月30日

☆公益財団法人日本ワックスマン財団：「平成28年度助成金」

http://www.waksman.or.jp/wk_offer/p_offering.html

分野等：微生物学および医学に関する学術研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団：「第28回（平成28年度）研究助成」

https://www.katokenen.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html

分野等：

1. メディカルサイエンス分野
2. バイオテクノロジー分野

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益社団法人日本アロマ環境協会：「2017年度 AEAJ 研究助成事業」

http://www.aromakankyo.or.jp/aeaj/activity/research_grant/

分野等：現在および将来にわたってアロマ環境（自然の香りある豊かな環境）の保全・創造およびアロマセラピー（アロマ環境により得られる植物の香りや香り成分を豊かな生活のために利用すること）の健全な普及・発展に寄与することが明らかと思われる研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ライフサイエンス振興財団：「研究助成（平成28年度）」

<http://www.lifesci-found.com/original5.html>

分野等：ライフサイエンス 等

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団：「平成28年度研究助成（一般助成）」

<http://yakult-bioscience.or.jp/project.html>

分野等：腸内フローラに関連する萌芽的研究

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

☆公益財団法人花王芸術・科学財団：「平成29年度花王科学奨励賞」

<http://www.kao-foundation.or.jp/assist/science/research.html>

分野等：

1. 化学・物理学分野

表面分析、表面改質、コロイド、(超)微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

2. 医学・生物学分野

生物個体が外界や自らのもつ内腔(腸管、気管など)に接する部位や、脈管系(血管、リンパ管など)を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

公募期間：平成28年7月1日～9月30日

.....

☆一般財団法人ニッポンハム食の未来財団：「平成29年度研究助成」

<https://www.miraizaidan.or.jp/information/2016.html#info20160712>

分野等：

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人沖縄協会：「第38回(平成28年)沖縄研究奨励賞」

http://www.okinawakyoukai.jp/jigyousyousei/h28_bosyu.html

分野等：沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究

公募期間：平成28年7月15日～9月30日

.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016(H28)年度特定研究助成」

<http://www.yazaki-found.jp/applications/applications-3.html>

分野等：

領域 a. 生物の機能や構造を情報伝達、自己修復、環境適応、材料創成などの新機能創生に活用して従来にない人工物を実現する研究

領域 b. 扱いにくい熱を変換、輸送、貯蔵して有効に活用する技術

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

.....

☆公益財団法人前川報恩会：「平成28年度学術研究助成」

http://www.mayekawa.org/grant/scientific_research/scientific_youkou_h28.html

分野等：環境配慮型のエネルギー利用・開発又は食料生産・流通の改善に資する研究

公募期間：平成28年8月1日～9月30日

☆公益財団法人東レ科学振興会：「平成28年度（第57回）東レ科学技術研究助成」

http://www.toray.co.jp/tsf/info/inf_004.html

分野等：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

公募締切日：平成28年10月7日

☆公益財団法人日本科学協会：「平成29年度笹川科学研究助成（学術研究部門）」

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

分野等：一般科学研究、海洋・船舶科学研究

公募期間：平成28年10月1日～14日

☆公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団：「平成28年度学術研究助成」

<http://www.ijima-kinenzaidan.or.jp/collection/collection.html>

分野等：米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に関して次の1～3に掲げる分野に係る食品科学等の研究。

1. 生産・加工・流通に関する基礎的研究
2. 製造技術及び品質保持技術の開発に関する研究
3. 安全・衛生、栄養・機能等に関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月20日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第98回（平成28年度第2次）新技術開発助成」

http://www.sgz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech

分野等：基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的とした開発試作

公募期間：平成28年10月1日～10月20日

☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」

<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究
2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。
2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」、「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php

分野等：

1. 再生可能エネルギー等に関連する技術開発
2. クリーン燃料
3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料、デバイス
5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術
6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人本庄国際奨学財団：「2017年度 食と健康プログラム研究助成金」

<http://hisf.or.jp/researcher/index.html>

分野等：

1. 人の健康維持に対する、さまざまな食品および食品成分の有効性を明らかにするための、ヒトを対象とした研究（疫学研究、介入研究など）。
2. 食品成分の新しい機能性および作用機序を明らかにしようとする研究。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人野田産業科学研究所：「野田産研研究助成（2017年度）」

<http://www.nisr.or.jp/jyosei/SANKENjoseiyoukou.htm>

分野等：主として発酵化学を基盤とする産業に寄与することを目的とする応用生命科学研究。

公募期間：平成28年10月1日～31日

.....

☆一般財団法人国土技術研究センター：「平成28年度（第18回）研究開発助成」

<http://www.jice.or.jp/review/assurances>

分野等：

1. 安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの（地誌等に残る地域特有の自然災害の伝承や記録、国土強靱化への多様な手法、総合化へのシステム展開など、防災、減災を向上するための研究を含む）。
2. 人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。
3. 心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人野口研究所：「野口遵研究助成金（2016年度）」

<http://www.noguchi.or.jp/subsidy.php?00001>

分野等：

1. ライフサイエンスの進展に資する物質やデバイスに関する研究
2. エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新プロセスや新材料に関する研究
3. 豊かな生活に寄与する新材料やデバイスに関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyokou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

.....

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

.....

☆公益財団法人長瀬科学技術振興財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.nagase-f.or.jp/grant-2/>

分野等：有機化学及び生化学、並びに関連分野における研究

公募期間：平成28年9月11日～11月14日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

・水稲関係：イネ種子温湯消毒における高温耐性を向上させる技術の確立

本研究は、農食研究推進事業（発展融合ステージ）で国立大学法人東京農工大学が研究代表機関として実施されたものです。イネ種子の温湯消毒法は農薬を使わず、薬剤耐性菌にも防除効果がある消毒法ですが、高温耐性の弱い品種の種子や、ばか苗病には十分な防除効果が得られないことがあります。そこで、温湯処理の前に、種子の水分含量を低下させる事前乾燥処理をしておく、と、種子の高温耐性が高まり、慣行法よりも5℃高い65℃で10分間処理が可能となり、消毒効果が上がり、慣行法と同等の収量が確保できることが分かりました。

農林水産省 HP：<https://www.s.affrc.go.jp/docs/gaiyou/pdf/25048b.pdf>

農林水産省発行の冊子「研究紹介2016」に収録されています。

金勝ら(2013)：日本作物学紀要 82(4)：397-401.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcs/82/4/82_397/pdf

・食品関係：鶏肉に含まれる高機能ジペプチドを用いた中高齢者の心身健康維持機能

本研究は、農食研究推進事業（シーズ創出ステージ）で国立大学法人東京大学を研究代表機関として実施されたものです。鶏肉などの肉類食品に含まれるイミダゾールジペプチド食品について、中高齢者に一定期間、鶏肉より調整したイミダゾールジペプチド食品を摂食してもらい比較するヒト試験を実施した結果、この食品に脳老化予防作用、高齢者の記憶機能を改善する作用、脳組織の老化抑制作用、抗炎症作用があることが分かりました。

農林水産省 HP：http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/pdf/141210_2-11.pdf

農林水産省発行の冊子「研究紹介2016」に収録されています。

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター HP：

http://www.ncnp.go.jp/news/news_141218.html

編集後記

リオデジャネイロ・オリンピックが8月21日に閉会し、パラリンピックが9月7日に始まりました。今回のオリンピックは、日本のメダル獲得数が過去最多となったことだけでなく、陸上400mリレーでの銀メダル獲得、卓球での頑張り、女子レスリングと柔道でのメダルラッシュ、体操男子の団体・個人総合での優勝、水泳、テニスでの頑張り等々に、国民は一喜一憂し、声援を送り、感動をもらいました。スポーツは、アスリートが全身全霊を傾けて競技するところに、心打たれ、美を感じます。そういう意味では、メダルのあるなしには関係ないのかもしれませんが。

ところで、最近読んだ本に、堀切俊雄著「トヨタの原価」かんき出版（2016年8月発行）があります。先月、酒井崇男著「トヨタの強さの秘密」を紹介しましたので、またトヨタかと思われるかもしれませんが、世界中の企業が研究するトヨタの経営を、別の著者の目を通して見ることで、理解が一層増すと思われます。著者は、トヨタ自動車（株）で生産ラインの工程設計、設備計画、TPS（Toyota Production System：トヨタ生産方式）等に従事し、「トヨタの原価」の意味を知り尽くしています。他社の競合車との関係で価格を上げられない状況下で、利益の源泉は原価の低減しかありません。しかも、原価は量産開始以前の「原価企画（会議）」の段階で決まり、量産に入ってから原価低減の余地は僅かしかないということです。このことは、「トヨタの強さの秘密」の著者の酒井氏が述べている内容と一致しています。一方、本書では、「原価」を徹底的に調査・分析した結果に従業員に公開し、従業員が原価を常に意識して働き、その低減について常に考える習慣をつけていること、部品メーカーの原価も正確に把握して、適切な利益を乗せて、共存共栄を図っていること、また、専門部門間の意思疎通を図りやすく、かつ迅速にするために、大部屋方式（各専門分野の企画設計関係者が大部屋に居て日常的にスムーズにコミュニケーションを図る仕組みとする）など、「原価」を意識して無駄を省く仕組み作りがなされていることが分かります。トヨタの強み、利益の源泉については、上記の2冊の本で概略理解できますが、筆者が追加するとすれば、ハイブリッド車や燃料電池車を世界に先駆けて実用化した技術開発力も重要と考えます。本書を読むことにより、トヨタの利益の出し方とその仕組みについて述べられていて一層理解が増すものと思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー

農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 （Tel: 052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図: <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13:30～14:30

「セルロース・ナノファイバーの先端的材料利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦氏

○水産部会 14:30～15:30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹氏

第2会場（1007）

○食品部会 13:30～14:30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文 氏

○畜産部会 14:30～15:30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸氏

○作物部会 15:40～16:50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦荻基行氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主 催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 中央農業研究センター、
(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】15:50～16:50 (第1会場 1006)

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】17:00～18:30 (第2会場 1007) 会費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax: 052-789-4586 E-mail: bio-npo2@y4.dion.ne.jp

【関係情報】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会ブログ

http://blog.livedoor.jp/biotech_tokai_blog/

.....
☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日(火) 13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 12階 1202会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel: 052-571-6131

【演題・講師】

13:30～14:30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合代表理事 永田晶彦 氏

14:30～15:30

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

15:40～16:40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】農研機構 中央農業研究センター、(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談（1202 会議室）：16:40 ～ 17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206 会議室：17:00 ～ 18:30 参加費 2,500 円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax：052-789-4586 E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

.....

☆「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」

ー農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進ー

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携を一層効果的に推進するため、地域の活性化につなげる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など、新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市千種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学下車 2番出口より徒歩2分

【内容】

（1）開会式

（2）基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

（3）成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

（4）名古屋大学協力会の講演会

（5）「知」の集積事業説明会

（6）パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

（7）相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60 ブース

【出展募集要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttennyouryou_tokai.pdf

【出展申し込み】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf

http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。
また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。
異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【名古屋大学協力会の講演会（2日目）の内容】

（１）農業・食品産業における近赤外分光法の利活用

名古屋大学大学院生命農学研究科 土川 覚 氏

（２）未病バイオマーカーの研究開発と生活習慣改善を目的とした郵送検査事業

株式会社ヘルスケアシステムズ 瀧本陽介 氏

（３）微量血液中からのモノクローナル抗体迅速合成法

名古屋大学大学院生命農学研究科 中野秀雄 氏

（４）筋タンパク質を維持するための分岐鎖アミノ酸（BCAA）の機能

名古屋大学大学院生命農学研究科 下村吉治 氏

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。

会費 4000 円（事前申し込み）

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局（大石、道村）

TEL & FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門

一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日（火）12：30～17：40

26日（水）9：00～15：30

【開催場所】アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介

2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

- 農研機構 果樹茶業研究部門 東出忠桐氏
 ○大規模農業生産者（法人）の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課 川島正俊氏
 ○ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構 果樹茶業研究部門 堀江秀樹氏
 ○総合討論

2日目（10月26日）

全体会議

- 果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構 本部企画調整部 白川 隆氏
 ○キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
 埼玉県農業技術研究センター 塚澤和憲氏
 ○ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策
 熊本県農業技術課農業革新支援センター 杉浦直幸氏
 ○カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
 北海道立総合研究機構上川農業試験場 新村昭憲氏
 ○スイカ育種の現状と課題 (株)萩原農場生産研究所 嶋本育泰氏
 ○カボチャ育種の現状と展望 農研機構 北海道農業研究センター 杉山慶太氏
 ○黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望
 農研機構 野菜花き研究部門 杉山充啓氏
 ○ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望
 農研機構 野菜花き研究部門 川頭洋一氏
 ○総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担当者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構 野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構 野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域
 上級研究員 川頭洋一

TEL : 050-3533-4610 FAX : 059-268-1339

E-mail : ykawazu@affrc.go.jp

☆平成28年度田原農業懇話会記念講演会（田原農業懇話会20周年記念事業）

「日本農業大放談会」～田原市農業も考える

【開催日時】 平成28年10月22日(土) 14:00～

【開催場所】 崋山会館 ホール

田原市田原町巴江1番地の1 TEL : 0531-22-1700

【内容】 1. 講演会

農林水産省東海農政局長 田辺義貴氏 他8名（予定）

(詳しくは、下記の開催案内をご覧ください)

2. 写真撮影

3. 祝賀会

【開催案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28TaharaNogyoKonwakai.pdf>

【参加】 講演会の会費無料。

講演会終了後に同ホールにて祝賀会 (会員以外は会費 4,000 円)

【連絡先】 田原市役所農政課 TEL : 0531-23-3517

又は 西山直司様宛て FAX : 0531-27-0169

.....

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 10月研究会

【開催日時】 平成28年 10月27日(木) 午後2時から5時

【開催場所】 名古屋市市民活動推進センター 研修室

ナディアパーク・国際デザインセンタービル6階

(名古屋市中区栄三丁目 18 番 1 号 TEL : 052 - 228 - 8039)

【講演・講師】

14:00～15:30

「地域分散の資源循環を、超小型バイオガス装置で実現しよう」

元パナソニック九州 田川嘉隆氏

15:30～17:00

「成長による崩壊から持続のための縮小へ」

京都大学名誉教授 一般社団法人縮小社会研究会代表理事 松久 寛氏

【会費】 会員 無料、 会員以外 1,000円 (学生 500円)

【交流会】 講師を囲んでの交流会を予定 (自由参加)

会費 3,000円

新栄 うお浜 (会場へはタクシー乗り合わせ) 052 - 684 - 7710

【出欠連絡】 メールで、下記までご連絡下さい。

E-mail : gt-keisoku@re.commufa.jp 川崎 修様 宛て

(CRN事務局行き)

10月27日(木)のCRN [研究会例会]

研究会 : 出席 欠席 交流会 : 出席 欠席

所属 : 氏名 :

.....

☆農研機構 野菜花き研究部門 安濃野菜研究拠点の「一般公開」

【開催日時】 平成28年11月3日(木) 10:00から15:00まで

【開催場所】 安濃野菜研究拠点 (三重県津市安濃町草生 360)

【開催案内】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/09/071357.html>

【内容】 (1) 研究成果紹介、(2) ミニセミナー、(3) その他

.....

☆最新の農業技術を紹介する愛知県農業総合試験場公開デー

【開催日時】平成28年11月5日(土) 10:00から14:00

【開催場所】愛知県農業総合試験場(愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1)

【開催案内】<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/koukai.html>

【内容】

- (1) 50周年記念講演会 研究成果紹介、(2) 50周年記念展示、(3) 研究成果の展示、
(4) 農業・園芸相談、鳥獣害相談、(5) 研究施設見学(事前予約優先)、(6) その他

.....

☆機能性表示食品セミナー・相談会

【開催日時】平成28年11月10日(木) 13:00~15:10

【開催場所】名古屋駅オフィスパーク名駅プレミアムホール 403 ABC

【主催】公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

【開催案内】<http://www.ofsi.or.jp/rokujika/seminar/index.htm> (参加申込書が入っています)

【プログラム】

第1部 講演会

1. 制度の概要：生鮮・加工度合いの低い食品に絞って解説します！

講師：グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛氏

2. テクニック：生鮮食品の機能性実証には近道があります！

講師：健康栄養評価センター 代表取締役 柿野賢一氏

3. 実践：生鮮品分野第1号認定に至るすべてをお話しします。

講師：株式会社サラダコスモ 研究開発部 部長 中田光彦氏

【申込み】参加費無料、参加申込は11月4日まで、定員120名

【問合せ先】公益財団法人 食品流通構造改善促進機構 業務部(担当：杉本・穴見)

TEL：03-5809-2176

FAX：03-5809-2183

◆3◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア2016(東京ビッグサイト)

「アグリビジネス創出フェア2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日(水)~12月16日(金)

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール (東京都江東区有明3-11-1)

【アグリビジネス創出フェア2016 ホームページ】<http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】 無料

【主催】 農林水産省

【出展者募集】 出展料無料（但し、小間装飾に必要な経費（出展者名ボード作成費、電気
使用量等の実費は負担））

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】 出展申込みの際にご記入下さい。

.....

☆農研機構 食品研究部門研究成果展示会 2016

【開催日時】 平成28年11月2日(水) 9:30～16:00

【開催場所】 つくば国際会議場(つくば市竹園 2-20-3)

【開催要領】 <http://www.naro.affrc.go.jp/nfri-neo/seikatenji/index.html>

【内容】

・成果展示会

食品研究部門のポスター展示 多目的ホール（約100枚のポスター展示）

・第34回公開講演会 食品研究部門の成果について 中ホール 200

2題を予定

【主な来場者】 国の機関関係者、食品産業関係者、独立行政法人関係者、地方公共団体等
試験研究機関関係者、製薬業界関係者、化粧品業界関係者、環境系団体関
係者など、約500名

【参加】 参加費無料、参加登録不要

.....

☆平成28年度花き研究シンポジウム「国産花きのシェア奪還と輸出への展開」

【開催日時】 平成28年10月24日(月) 13:00～25日(火) 12:00

【開催場所】 つくば国際会議場「エポカルつくば」3F 中ホール 300

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

【開催案内】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/09/070934.html>（参加申込書を含む）

【主催】 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門

【プログラム】

1日目(10月24日)

開会挨拶

1. 基調講演 国産花きのシェア奪還に何が必要か 磯村信夫氏(大田花き)

2. 切り花輸入の現状と国産花きの課題

・切り花輸入の現状と課題

西尾義彦氏（クラシック）

・専門店の視点からの国産花きの課題

山崎年起氏（ヌボー生花店）

・量販店の視点からの国産花きの課題

松本智広氏（メルシーフラワー）

・総合討議

情報交換会(ホテルグランド東雲)

2 日目(10月25日)

3. 主要品目におけるシェア奪還

- ・キクにおけるシェア奪還方策 住友克彦氏(農研機構)
- ・カーネーションにおけるシェア奪還 真鍋佳亮氏(香花園)

4. 切り花輸出の現状と展開

- ・切り花輸出の現状と課題 樋口博紀氏(東日本板橋花き)
- ・リンドウにおける輸出振興方策 日影孝志氏(八幡平市花き研究開発センター)
- ・総合討議

閉会挨拶

【参加申込】参加希望者は10月17日(月)までに「参加申込書」にご記入のうえ下記申込先へE-mail またはFaxでお送り下さい。但し、定員(250席)に達した時点で締切となります。シンポジウムへの参加は無料ですが、情報交換会は会費制(一人5,000円)となりますので、当日受付にて会費をお支払い下さい。

【申込み先】(国研)農研機構 野菜花き研究部門 企画管理部企画連携室

E-mail : vf-koryu-f2016@ml.affrc.go.jp Fax:029-838-6841

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆4◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージ3 :

NexTEP-A タイプ(平成28年度・第2回)」 (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等: 企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間: 平成28年7月29日~11月30日

☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(追加公募)」 (総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000178.html

分野等: 若手ICT研究者等育成型研究開発

公募期間：平成28年9月12日～10月21日

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!)

(総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept：概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

民間等研究資金

☆公益財団法人日本科学協会：「平成29年度笹川科学研究助成(学術研究部門)」

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

分野等：一般科学研究、海洋・船舶科学研究

公募期間：平成28年10月1日～14日

☆公益財団法人双葉電子記念財団：「平成29年度自然科学研究助成金」

http://futaba-zaidan.org/guide/research_guide.html

分野等：1. 先端医工・バイオ、2. 環境・エネルギー、3. 先端材料・加工技術、
4. 情報通信・ロボット、5. その他

公募期間：平成28年9月1日～10月18日

☆公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団：「平成28年度学術研究助成」

<http://www.ijima-kinenzaidan.or.jp/collection/collection.html>

分野等：米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に関して次の1～3に掲げる分野に係る食品科学等の研究。

1. 生産・加工・流通に関する基礎的研究

2. 製造技術及び品質保持技術の開発に関する研究

3. 安全・衛生、栄養・機能等に関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月20日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第98回（平成28年度第2次）新技術開発助成」

http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech

分野等：基本原理の確認が終了(研究段階終了)した後の実用化を目的にした開発試作

公募期間：平成28年10月1日～10月20日

☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」

<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究

2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。

2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」、「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php

分野等：

1. 再生可能エネルギー源等に関連する技術開発

2. クリーン燃料

3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム

4. エネルギー材料、デバイス

5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術

6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

☆公益財団法人本庄国際奨学財団：「2017年度 食と健康プログラム研究助成金」

<http://hisf.or.jp/researcher/index.html>

分野等：

1. 人の健康維持に対する、さまざまな食品および食品成分の有効性を明らかにするための、ヒトを対象とした研究（疫学研究、介入研究など）。
2. 食品成分の新しい機能性および作用機序を明らかにしようとする研究。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....

☆公益財団法人野田産業科学研究所：「野田産研研究助成（2017年度）」

<http://www.nisr.or.jp/jyosei/SANKENjoseiyoukou.htm>

分野等：主として発酵化学を基盤とする産業に寄与することを目的とする応用生命科学研究。

公募期間：平成28年10月1日～31日

.....

☆一般財団法人国土技術研究センター：「平成28年度（第18回）研究開発助成」

<http://www.jice.or.jp/review/assurances>

分野等：

1. 安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの（地誌等に残る地域特有の自然災害の伝承や記録、国土強靱化への多様な手法、総合化へのシステム展開など、防災、減災を向上するための研究を含む）。
2. 人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。
3. 心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人野口研究所：「野口遵研究助成金（2016年度）」

<http://www.noguchi.or.jp/subsidy.php?00001>

分野等：

1. ライフサイエンスの進展に資する物質やデバイスに関する研究
2. エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新プロセスや新材料に関する研究
3. 豊かな生活に寄与する新材料やデバイスに関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....

☆公益財団法人三菱UFJ技術育成財団：「平成28年度第2回研究開発助成金」

<http://www.mutech.or.jp/whatsnew/index.html>

分野等：技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として2年以内に事業化が可能なもの。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

☆公益財団法人農芸化学研究奨励会：「第44回研究奨励金」

http://www.jsbba.or.jp/acrf/frame_bosyu_syorei.html

分野等：農芸化学諸分野における意欲的な研究。

公募期間：平成28年9月6日～10月31日

☆公益財団法人近藤記念財団：「平成28年度（第3回）『炭素材料』に関する研究助成」

<http://kondo-zaidan.or.jp/research/index.html>

分野等：「炭素材料」に関する基礎研究及び応用研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyoukou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

☆三井物産環境基金：「2016年度研究助成」

http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/environment/fund/application/1220388_7661.html

分野等：地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献する研究で、下記対象分野に関わるもの。

＜対象分野＞

1. 地球環境
2. 資源循環
3. 生態系・共生社会
4. 人間と社会のつながり

公募期間：平成28年9月20日～11月12日

☆公益財団法人長瀬科学技術振興財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.nagase-f.or.jp/grant-2/>

分野等：有機化学及び生化学、並びに関連分野における研究

公募期間：平成28年9月11日～11月14日

☆資生堂：「第10回資生堂女性研究者サイエンスグラント」

<http://www.shiseidogroup.jp/rd/doctor/grants/science/index.html>

分野等：自然科学分野（理工科学分野、生命科学分野）。界面・コロイド化学の応募を積極的に歓迎する。

公募締切日：平成28年11月15日

☆天野エンザイム（株）：「第18回酵素応用シンポジウム研究奨励賞」

<http://www.amano-enzyme.co.jp/jp/company/kouso.html>

分野等：産業界に影響を与える可能性の高い「酵素の応用研究」、産業界での応用の可能性のある「基礎的な酵素研究」を行っている研究者

公募期間：平成28年10月3日～11月30日

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（一般研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist01.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。
研究分野は、以下の4分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（特定研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist02.html>

分野等：人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の基礎、応用あるいは生活への活用に関する領域の研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（若手研究者枠）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist03.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。
研究分野は、以下の4分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

☆公益財団法人国際科学技術財団：「2017年研究助成」

http://www.japanprize.jp/subsidy_yoko.html

分野等：

(1) 2017年（第33回）日本国際賞授賞対象分野

「エレクトロニクス、情報、通信」分野、「生命科学」分野

(2) 「クリーン&サステイナブルエネルギー」分野

公募期間：平成28年9月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人池谷科学技術振興財団：「平成29年度助成金」

https://iketani-zaidan.or.jp/system/?page_id=05

分野等：先端材料及びこれに関連する科学技術

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

.....

☆粉体工学情報センター：「2017年度（第13回）研究助成」

<http://www.icpt.jp/kenkyuu/index.html>

分野等：1. 食品粉体に関わる研究、2. 粉体単位操作に関わる基礎研究

公募期間：平成28年10月3日～12月26日

.....

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

.....

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkokuai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～29年3月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

・施設園芸（トマト）関係：あいち型植物工場

愛知県農業総合試験場では、既存の中規模温室やハウスをそのまま活用し、光・温度・二酸化炭素（CO₂）などの高度な環境制御機能を追加することで飛躍的な生産量向上をめざす経営（あいち型植物工場）を確立するための技術開発を行いました。これらの技術により、30～50aの中規模経営農家が、最適な投資で従来の倍となる年間収量40t/10aを実現できることを実証しました。

（１）2015年 愛知県農業総合試験場の10大成果：

http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyatokubetsu/pdf/8aiti_shokubutukoujyo.pdf

（２）あいち型植物工場マニュアル（トマト編）；農総試 HP「研究の成果（技術情報）」

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/seika/gijutujohou/siryou/shokubutsukoujoumanual-tomato.pdf>

・食品関係：「べにふうき」緑茶を利用した新たな機能性表示食品

農研機構 食品総合研究所は、「べにふうき」緑茶が、これまでアレルギー性鼻炎症状の軽減作用を有する成分メチル化カテキンを含有することや、その作用メカニズムを明らかにし、食品・ヘルスケア商品の開発を企業と行ってきましたが、その機能性を表示することが困難でした。そこで、2015年4月から始まった機能性表示制度への「べにふうき」の機能性の表示に向けて、科学的根拠の取得や最適抽出法の確立を行いました。

農研機構 食品総合研究所の2015年成果情報：

「べにふうき」緑茶を利用した新たな機能性表示食品

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/nfri/2015/15_075.html

.....

編集後記

今年は大型台風の発生が多く、これも地球温暖化の影響で海水温が高くなったためと思われます。一方、地球温暖化防止のためのCOP21で合意されたパリ協定が、批准国が55ヶ国以上、その炭酸ガス排出量に占める割合が全体の55%以上の基準を越えたので、来月11月4日に発効することになりました。日本は批准が遅れ、当初の枠組を決める重要な会議に参加出来ないとのこと。いずれにせよ、最大の炭酸ガス排出国である中国や、米国、インド他、京都議定書に参加していなかった多くの発展途上国も参加し、全地球的レベルで地球温暖化対策が実施できるようになり、歴史的な一歩となります。今後の地球温暖化対策の着実な実施と、温暖化防止対策と被害回避対策のための技術開発もますます重要となってきます。既にシベリアの永久凍土の解凍による大量のメタンの放出が起きており、今後、海水温の一層の上昇により海底のメタンハイドレートの気化が始まれば、温暖化は不可逆的となり急速に進むことが考えられますので、これからが地球温暖化防止の正念場となります。

ところで、最近読んだ本に、村上由美子著「武器としての人口減社会」光文社新書（2016年8月出版）があります。著者は、ゴールドマン・サックス証券など外国企業で長年働き、現在はOECD（経済開発協力機構；本部がパリに在る国際機関）の東京事務所長を務めて

います。国際的視野から見た日本経済について、OECD の豊富な統計調査資料を駆使して分析しています。特に、外国企業では女性の能力活用の仕方がその企業の将来を左右するという認識の基に人材登用と育成、労働環境の整備などが図られているようです。日本の少子高齢化は労働力不足をきたす一方、省力化、ロボット化などを推進する環境がある(他方、外国では労働力が余り、そのような環境が生まれにくい)ことなど、極めて前向きに捉えています。また、熾烈な国際競争の中で、イノベーションを起こして企業を発展させていくためには、時代と合わない古い慣行などを変えていく重要性なども考えさせられるところです。大局的、俯瞰的、国際的感覚で日本を改めて見てみるのに良い本であると思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

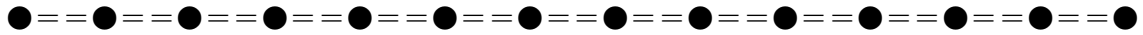
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

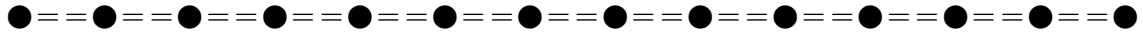
U R L <http://www.biotech-tokai.jp/>

平成28年11月10日発行



B i o T e c h T O K A I —メールマガジン 第143号—

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
● 移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
● ☆アグリビジネス創出フェア2016 in 東海 (11月28～29日)
● ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー
● (12月13日)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
● ☆「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(1期)」成果普及セミナー
● ～残留農薬の「簡単・迅速・安価」な検査技術～ (12月1日)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
● ☆アグリビジネス創出フェア2016(東京ビッグサイト) (12月14～16日)
● ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
● ☆平成28年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業のうち、戦略的技術
● 開発体制形成事業 (農林水産省)
● ☆平成28年度セルロースナノファイバー性能評価モデル事業
● (早期社会実装に向けた導入実証) 委託業務(二次公募) (環境省)
● ☆「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージ3
● NexTEP-A タイプ(平成28年度・第2回)」 (JST)
● ☆産学共同実用化開発事業(NexTEP) 平成28年度一般タイプ(通常募集) (JST)
● ☆産学共同実用化開発事業(NexTEP) 平成28年度未来創造ベンチャータイプ
● (通常募集) (JST)
● ☆平成28年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業
● (平成28年度第2次補正予算) (NEDO)
● ☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業
● (企業間連携スタートアップに対する事業化支援) (NEDO)
● ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
● ☆民間の競争的研究資金を25件掲載
- 5. 新技術情報
● ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介(3件)

◆1◆ 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

ー農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進ー

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携を一層効果的に推進するため、地域の活性化につなげる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など、新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

（名古屋市千種区不老町名古屋大学）

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学下車 2番出口より徒歩2分

地図がチラシの中にあります。⇒ [チラシ](#)

【内容】

（1）開会式

（2）基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏

（3）成果発表：研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果

（4）名古屋大学協力会の講演会

（5）「知」の集積事業説明会

（6）パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）

（7）相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60ブース

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。
また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。
異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【名古屋大学協力会の講演会（2日目）の内容】

(1) 農業・食品産業における近赤外分光法の利活用

名古屋大学大学院生命農学研究科 土川 寛 氏

(2) 未病バイオマーカーの研究開発と生活習慣改善を目的とした郵送検査事業

株式会社ヘルスケアシステムズ 瀧本陽介 氏

(3) 微量血液中からのモノクローナル抗体迅速合成法

名古屋大学大学院生命農学研究科 中野秀雄 氏

(4) 筋タンパク質を維持するための分岐鎖アミノ酸（BCAA）の機能

名古屋大学大学院生命農学研究科 下村吉治 氏

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。

会費 4000 円（事前申し込み）

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局（大石、道村）

TEL & FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp

.....

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー

「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日（火）13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）12階 1202会議室

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel : 052-571-6131

【演題・講師】

13:30～14:30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合代表理事 永田晶彦 氏

14:30～15:30

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

15:40～16:40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】農研機構 中央農業研究センター、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】 技術相談（1202 会議室）：16:40 ～ 17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】 1206 会議室：17:00 ～ 18:30 参加費 2,500 円

【参加申込み】 上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax：052-789-4586

E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆「知の拠点あいち重点研究プロジェクト（1期）」成果普及セミナー
～残留農薬の「簡単・迅速・安価」な検査技術～

【開催日時】 平成28年12月1日（木） 13:30～16:00

【開催場所】 あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター
（名古屋市西区新福寺町2丁目1番1）

【開催案内】 http://www.aichi-inst.jp/shokuhin/news/up_docs/h281201_seminar_GCMS.pdf

【内容】

<講演1>（13:30～14:50）

「イムノクロマト法を用いた残留農薬検出技術」

豊橋技術科学大学大学院 環境・生命工学系 教授 岩佐 精二 氏

<講演2>（15:00～16:00）

「GC-MS用残留農薬微量マルチ定量パッケージ」

株式会社島津製作所 分析計測事業部 プロダクトマネージャー

宮川 治彦 氏

【申込み】 参加費無料、定員50名（先着順）

【問合せ先】 あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター
（担当：市毛、丹羽）

TEL：052-325-8094 FAX：052-532-5791

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア 2016（東京ビッグサイト）

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日（水）～12月16日（金）

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール （東京都江東区有明3-11-1）

【アグリビジネス創出フェア2016 ホームページ】 <http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】無料

【主催】農林水産省

.....
○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆4◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度補正予算 革新的技術開発・緊急展開事業のうち、戦略的技術開発体制形成事業（農林水産省）

<http://www.s.affrc.go.jp/kakushin/H28kakushin.htm>

分野等：研究ネットワーク形成事業

大学、研究機関、企業、農林漁業者等による研究ネットワークの形成に必要なとなる取組を支援する。

公募締切日：平成28年11月25日（第2回）、未定（第3回）

.....
☆平成28年度セルロースナノファイバー性能評価モデル事業

（早期社会実装に向けた導入実証）委託業務（二次公募）（環境省）

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/28_a37-2/index.html

分野等：セルロースナノファイバー活用材料で部品等を試作し、実機に搭載することで製品としての信頼性、CO2削減効果等の性能評価を実施するとともに、早期社会実装に向けた導入実証を行う。

公募期間：平成28年11月1日～25日

.....
☆「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージ3：

NexTEP-A タイプ（平成28年度・第2回）」（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年7月29日～11月30日

.....

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度一般タイプ（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆平成28年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業

（平成28年度第2次補正予算）（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100127.html

分野等：中小企業等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等が保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、中小企業等が技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを支援する。

公募期間：平成28年10月3日～12月1日

.....

☆平成28年度研究開発型ベンチャー支援事業

（企業間連携スタートアップに対する事業化支援）（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100126.html

分野等：事業会社と連携して技術開発を行う研究開発型ベンチャーを支援する。

公募期間：平成28年10月3日～11月24日

.....

☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術

(5) 社会インフラ維持管理サービス技術

(6) レジリエント向上ICTサービス技術

(7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合を図るなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

民間等研究資金

☆三井物産環境基金：「2016年度研究助成」

http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/environment/fund/application/1220388_7661.html

分野等：地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献する研究で、下記対象分野に関わるもの。

<対象分野>

1. 地球環境
2. 資源循環
3. 生態系・共生社会
4. 人間と社会のつながり

公募期間：平成28年9月20日～11月12日

☆公益財団法人長瀬科学技術振興財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.nagase-f.or.jp/grant-2/>

分野等：有機化学及び生化学、並びに関連分野における研究

公募期間：平成28年9月11日～11月14日

☆資生堂：「第10回資生堂女性研究者サイエンスグラント」

<http://www.shiseidogroup.jp/rd/doctor/grants/science/index.html>

分野等：自然科学分野（理工科学分野、生命科学分野）。界面・コロイド化学の応募を積極的に歓迎する。

公募締切日：平成28年11月15日

☆天野エンザイム（株）：「第18回酵素応用シンポジウム研究奨励賞」

<http://www.amano-enzyme.co.jp/jp/company/kousou.html>

分野等：産業界に影響を与える可能性の高い「酵素の応用研究」、産業界での応用の可能性のある「基礎的な酵素研究」を行っている研究者

公募期間：平成28年10月3日～11月30日

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成２９年度研究助成（一般研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist01.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。

研究分野は、以下の４分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成２８年１０月１日～１１月３０日

.....

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成２９年度研究助成（特定研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist02.html>

分野等：人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の基礎、応用あるいは生活への活用に関する領域の研究

公募期間：平成２８年１０月１日～１１月３０日

.....

☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成２９年度研究助成（若手研究者枠）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist03.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。

研究分野は、以下の４分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成２８年１０月１日～１１月３０日

.....

☆公益財団法人国際科学技術財団：「２０１７年研究助成」

http://www.japanprize.jp/subsidy_yoko.html

分野等：

1. ２０１７年（第３３回）日本国際賞授賞対象分野
「エレクトロニクス、情報、通信」分野、「生命科学」分野
2. クリーン&サステイナブルエネルギー分野

公募期間：平成２８年９月１日～１１月３０日

.....

☆公益財団法人池谷科学技術振興財団：「平成２９年度助成金」

https://iketani-zaidan.or.jp/system/?page_id=05

分野等：先端材料及びこれに関連する科学技術

公募期間：平成２８年１０月１日～１１月３０日

.....

☆一般財団法人かき研究所：「平成２９年度研究助成」

<http://www.kakiken.or.jp/html-2/jyosei.html>

分野等：かき（牡蛎）に関する研究

公募締切日：平成28年11月30日

.....

☆公益財団法人河川財団：「平成29年度河川基金助成（研究者・研究機関部門）」

<http://www.kasen.or.jp/kikin/tabid290.html>

分野等：防災・減災や河川・流域の視点から、治水・利水・環境に関する新たな科学的知見を得る取り組みや新技術の開発に向けた調査・研究。

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人新技術開発財団：「第26回（平成29年度）植物研究助成」

http://www.sgkz.or.jp/download/plant/download.html?sscl=ZD_top_now_plant

分野等：

1. 一般課題研究

（ア）「植物研究園（静岡県熱海市）を利活用し、工学的手法を用いた植物の生態研究」

（イ）「植物の生態研究に必要となる新計測技術の開発」

2. 特定課題研究

大規模震災等に触発された減災に向けての植物機能の利用による環境再生、省資源、植物多様性への保全・再生に関する研究

（ア）持続可能なみどりの回復・再生

（イ）植物生態系の改善・回復・保全

（ウ）植物を利用した省エネ・省資源対策

公募期間：平成28年11月10日～11月30日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

.....

☆公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.saltscience.or.jp/research.html>

分野等：

1. 一般公募研究

理工学、医学及び食品科学の3分野で塩に関する研究

2. プロジェクト研究

理工学分野「製塩プロセスで濃縮される未利用資源の高度回収技術の開発」

公募期間：平成28年11月1日～12月10日

.....

☆公益財団法人エリザベス・アーノルド富士財団：「平成29年度学術研究助成」

<http://www.fujizaidan.or.jp/bosyuu.html>

分野等：

1. 米、麦等に関する研究
2. 米、麦等を原料とする食品の生産・加工・流通・生理的機能性等に関する研究
3. 米、麦等を原料とする食品製造における技術の向上発展に関する研究
4. 米、麦等を原料とする食品製造における機械の向上進歩に関する研究

公募期間：平成28年11月1日～12月14日

.....

☆日本中央競馬会：「平成29年度日本中央競馬会畜産振興事業」

<http://company.jra.jp/0000/chikusan/kobo/kobo.html>

分野等：畜産の振興による食料自給率の向上、多様な畜産経営の育成及び安全・安心な畜産物の供給を目的とし、畜産の現場への即時応用を前提とした技術の研究開発、調査研究及びこれらの成果を含む畜産経営に対する適切な情報提供等を行うものとする。具体的には、現状の課題を踏まえた必要性や緊急性、新技術の応用等の新規性、国等が実施している畜産関連施策の補完効果が高く、効果並びに目的と手段が明確な、次の各項目に掲げるものとする。

1. 自給飼料の生産・利用の促進
2. 担い手の確保（特定の地域における担い手の確保を含む）
3. 経営改善の助長・支援
4. 多様な形質の家畜改良と効率的な飼養管理技術の普及
5. 畜産物の生産・流通対策
6. 畜産に係る環境問題の対策
7. 家畜衛生の向上のための対策
8. その他畜産振興に資するもの

公募期間：平成28年10月24日～12月21日

.....

☆粉体工学情報センター：「2017年度（第13回）研究助成」

<http://www.icpt.jp/kenkyuu/index.html>

分野等：1. 食品粉体に関わる研究、2. 粉体単位操作に関わる基礎研究

公募期間：平成28年10月3日～12月26日

.....

☆公益財団法人水産無脊椎動物研究所：「2017年度個別研究助成・育成研究助成」

<http://www.rimi.or.jp/josei/JOSEINEW.html>

分野等：水産（水棲）無脊椎動物（昆虫類を除く）の形態・発生・生理・分類・系統・生態・行動などに関するフィールドでの生物学的な調査研究

公募期間：平成28年9月29日～12月31日

.....

☆一般社団法人Jミルク：「平成29年度『牛乳乳製品健康科学』学術研究」

http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2017/H29_kenko.html

分野等：

1. 特定研究：最近の社会的課題や研究ニーズに対応したテーマに関する研究

(1) スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究

(2) 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究

(3) 牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究

2. 一般研究：当該研究領域に関連する幅広い視点や新規性のある研究

(4) 各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品

公募期間：平成28年10月1日～12月31日

.....

☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「平成29年度研究等助成」

<http://www.ffcr.or.jp/>

分野等：

1. 一般研究助成

(1) 食品添加物の安全性等に関する研究

(2) 食品添加物の有用性、性能および使用技術等に関する研究

(3) 食品添加物の品質、規格および製造方法等に関する研究

(4) その他食品化学領域における調査・研究

2. 課題研究助成

(1) 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

(2) 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

(3) 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

(4) 高齢者・病者・障害者等のため食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

(5) 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査、研究

公募期間：平成28年11月15日～平成29年1月15日

.....

☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第6回新化学技術研究奨励賞」

http://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_06_2017.html

分野等：

特別課題：災害時の安全・安心の確保、被害の軽減と災害からの復旧・復興に貢献する化学技術に関する研究

課題1：グリーン・イノベーションを推進するための資源・プロセス・評価技術に関する環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究（エネルギー資源、食料・水資源を含むものとする）

課題3：バイオマスの構造を活かした高機能材料および化学品に関する研究

課題4：創電・エネルギー貯蔵分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：エレクトロニクスの未来を支える新規材料・技術・プロセスに関する研究

課題6：マイクロナノシステム用途の拡大につながる新規な材料・プロセスおよびデバイス技術に関する研究

課題 7：高効率物質生産に必要な新規バイオプロセスの構築に関する研究

課題 8：生体分子を利用した、またはその構造と機能に着想した新規機能性材料
の実用化を目指した研究

課題 9：材料の設計・製造・解析・評価を先導する計算機を活用した研究

課題 10：日本のものづくり強化と新産業創出に資する「新素材」実現のための基
礎的・基盤的研究

課題 11：革新的触媒技術による次世代グリーンイノベーション創出に関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 4 日～平成 29 年 1 月 1 6 日

．．．．．
☆公益信託伊藤徳三ひまし研究基金：「平成 29 年度研究助成金」

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

分野等：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデシレ
ン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究を
対象とする。

1. ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究
2. ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究
3. ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究
4. 上記 1～3 以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 8 日～平成 29 年 1 月 2 0 日

．．．．．
☆一般財団法人旗影会：「2017 年度研究助成」

<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

<一般助成> 以下の分野に関する研究

1. 畜産（生産および加工）
2. 農産（生産および加工）
3. 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）

<特別助成>一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、
健康機能、衛生、調理科学、食文化など）

公募期間：平成 28 年 1 2 月上旬～平成 29 年 1 月 3 1 日

．．．．．
☆公益財団法人山田科学振興財団：2017 年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成 29 年 2 月 2 4 日

．．．．．
☆一般財団法人杉山報公会：「平成 29 年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

○野菜関係：都市近郊野菜に光害が発生しない夜間照明技術の開発

国立大学法人山口大学を研究代表機関とする研究グループは、農食研究推進事業（実用技術開発ステージ）の成果として、夜間の街灯等の照明が農地を照らすと、農作物の減収や価値の喪失などの悪影響が生じることがあるので、光害を生じないような新たな照明技術を開発しました（農林水産省冊子・研究紹介2016参照）。すなわち、近郊野菜栽培で光害が発生するハウレンソウに光害を及ぼさない照明として青と黄緑色のLEDを組み合わせた擬似白色LEDを開発しました。これを使うと、ハウレンソウの可販株率は、一般的な白色LED照明では40%未満であるのに対し、80%と2倍となりました。また、エダマメでは、擬似白色LEDで15ルクスの照明をしても減収率は10%未満に抑えられたことから、夜間照明による減収等のリスクを軽減できることが分かりました。

夜間に暗い通学路など、これまで街灯を設置するのが難しかった場所にも安全確保のために設置することができそうです。

- ・株式会社アグリライト研究所 HP：http://www.agri-light-lab.co.jp/?page_id=22
- ・研究開発成果実装支援プログラム「農作物の光害を防止できる通学路照明の社会実装」実装支援プロジェクト終了報告書：
http://ristex.jst.go.jp/pdf/implementation/JST_1115131_10102745_yamamoto_ER.pdf
- ・岩崎電気株式会社 HP：<http://www.iwasaki.co.jp/NEWS/release/2014/lumiine.html>

○食品関係：ガスプラズマを用いた農産物の殺菌・消毒法の開発

琉球大学医学部を研究代表機関とする研究グループは、農食研究推進事業（シーズ創出ステージ）の成果として、プラズマ殺菌装置の開発について公表しました（農林水産省冊子・研究紹介2016）。我が国では、農産物の収穫後に有効に殺菌・消毒する方法がないのが実情です。本研究グループは、窒素等の不活性ガス中で発生させたガスプラズマで農産物を処理することによって安全かつ効率的に農産物の殺菌・消毒する方法を開発しました。具体的には、連続的に殺菌可能なプラズマ殺菌装置（ローラーコンベア型装置）、種子用装置も開発しました。細菌、カビ、ウイルスだけでなく、アフラトキシンB₁、志賀毒素も分解されます。本技術により、農薬を使用せずに、長期保存や長期輸送が可能になります。

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 HP：
http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00074520/h26_18gasplasma.pdf

- ・ 2014 国際工業食品展 HP（佐世保高専等公表）：

<http://www.foomajapan.jp/2014/academic/research/15.html>

○環境関係：生分解性プラスチック分解酵素と保湿剤併用による生分解性マルチフィルムの分解促進

農研機構・農業環境変動研究センターの平成27年度の研究成果情報として、畑のマルチに使う生分解性プラスチックの畑での分解促進には、生分解性プラスチック分解酵素と保湿剤を併用すると良いことを公表しました。マルチに使用するビニール等のプラスチック類は、使用済みのものは産廃処理する必要があります。作付け終了後における回収の手間や産廃処理経費を要します。生分解性プラスチックのマルチの場合には、作付け終了後にトラクターなどで畑にすき込むことができます。しかし、分解が不十分ですとすき込みにくいので、プラスチック分解酵素液と保湿剤を事前に処理すると、すき込みやすくなります。なお、分解液等は現在、開発中です。

- ・ 農研機構・農業環境変動研究センター HP：研究成果情報

http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/result/result32/result32_46.pdf

- ・ 生分解性プラスチックを分解する酵素の大量生産に成功（旧農業環境技術研究所 HP）

<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/press/111125/press111125.html>

.....

編集後記

昨日、米国大統領選挙の大勢が判明しましたが、米国内での直前の世論調査の結果に反してトランプ候補が当選し、世界が予想外の結果に戸惑っています。英国の EU 離脱の国民投票において離脱派が勝利するなど、既成概念が通用しない不確実・不透明な世界へと移行しつつあるのではないかと思います。新大統領の下での米国の外交、通商政策、安全保障がどのように変化するのか、日本がどのように対応すべきか、日本の安全と安定を確保するのに緊張を要する時代になりました。TPP 協定の発効がしばらく遠のくと思われませんが、企業経営にとっても、不透明な時代にあって、多面的なリスク評価とリスク管理がますます重要となっていると思われます。

ところで、最近読んだ本に、勝川俊雄著「魚が食べられなくなる日」小学館新書（2016年8月出版）があります。著者は、東京海洋大学の産学・地域連携推進機構准教授として、研究の傍ら、日本の漁業を持続可能な産業に再生するための活動を積極的に行っています。日本は領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせると世界6位の広大な海を有していますが、漁業資源管理がうまくできていないために、漁獲量の減少（ピーク時の約6割）、漁業従事者の減少・新規参入者が少ないなど衰退傾向が続いています。一方、世界的には漁業は成長産業として有望視され、世界銀行の調査による2030年見通しで、殆どの国・地域で漁業生産の増大が見込まれる中で、日本のみがマイナスとなっているショッキングな図が示されています。ノルウェーなど多くの国で、漁業枠を個別生産者（法人）に割り当て、厳しく違反を取り締まるなど厳重な資源管理を行い、資源の回復に成功しているのに対し、

日本では、極く一部の魚種を除き、漁業資源が減少傾向にあります。著者は、日本でも諸外国を見習って、個別生産者（法人）に数量枠を割り当てること、その枠も資源回復が可能な範囲の数量にとどめること（日本では過大な全体枠（魚種毎）が設定され、早い者勝ちで漁獲する方式なので資源再生ができない）、水産庁が専門家の意見をあまり反映させずに全体枠を設定しているので改めるべきことなど、漁業資源再生への考え方が論理的かつ明確に述べられているので、読者はその内容に納得するのではないかと思います。本書を読んで、かつて、乱獲して資源が枯渇してしまったニシンのようにではなく、資源が回復するまで漁を控えて再生させたハタハタでの経験のように、的確な漁業政策によって日本の広大な領海・EEZ の海に豊かな漁業資源を再生させることが可能なのではないかと考えられました。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

U R L <http://www.biotech-tokai.jp/>

◆ 1 ◆ 平成 28 年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成 28 年度第 3 回セミナー
「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成 28 年 12 月 13 日（火）13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）12 階 1202 会議室
名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38 Tel: 052-571-6131

【演題・講師】

13:30～14:30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知豊明花き流通協同組合理事長 永田晶彦 氏

14:30～15:30

2) 「最新の CA コンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社 MTI 取締役・営業グループ長 田村健次 氏

～休憩～

15:40～16:40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志 氏

【開催要領】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】農研機構 中央農業研究センター、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連
企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、
独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談（1202 会議室）：16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206 会議室：17:00～18:30 参加費 2,500 円

【参加申込み】上記の開催要領の URL に添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記の FAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

TEL&FAX: 052-789-4586

E-mail: bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成28年度 Mip 特許塾「三度の飯より特許塾 ～攻守の要は知財なりの巻～」

(三重大学)

【開催日時】平成29年1月27日(金)～2月10日(金)の間に2回開催

【開催場所】三重大学 社会連携研究センター 3階 研修・会議室

【対象者】三重県内の企業の方と教員及び学生、知的財産に関する知識を深めたい方

【参加】参加費無料、定員各回20名(定員になり次第、申し込み締切)

【日程】

◇第3回 平成29年1月27日(金) 18:00～20:10

「広くて強い特許はどのように作られるのか ～ 保護範囲が広く、しかも無効にされないために～」 講師 日本大学大学院知的財産研究科教授 加藤 浩氏

◇第4回 平成29年2月10日(金) 18:00～20:10

「知恵と知財でがんばる企業の考え方 ～ 強い企業は特許・ノウハウ戦略を持っている～」
講師/未定

【案内チラシ】 http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/pdf/20161028~20170210_Mip.pdf

【問い合わせ先】三重大学 社会連携研究センター 知的財産統括室

TEL: 059-231-5495 FAX: 059-231-9743

E-mail: chizai-mip@crc.mie-u.ac.jp

☆起業講座シリーズ ― 21世紀に輝く女性たち一起業・産業・地域・世界の様々な「場」
で活躍する女性たちの「働き方」「生き方」 (名城大学)

【開催日時】平成28年12月14日(水)～1月11日(水)の間に3回開催

【開催場所】名城大学天白キャンパス 共通講義棟北1階 N-101 (名城ホール)

地下鉄鶴舞線 塩釜口下車、1番出口(右)徒歩4分

【開催案内】 <http://www.meijo-u.ac.jp/event/detail.html?id=dYBNcl>

【参加】参加費無料、参加者は直接会場へおいで下さい。定員600名

【問い合わせ先】名城大学経営学部事務室 TEL: 052-838-2051

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア 2016 (東京ビッグサイト)

「アグリビジネス創出フェア 2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日(水)～12月16日(金)

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール (東京都江東区有明3-11-1)

【アグリビジネス創出フェア 2016 ホームページ】 <http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】無料

【主催】農林水産省

.....

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆「知」の集積と活用による研究開発モデル事業 (平成28年度補正予算)

(農研機構・生研支援センター)

<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/knowledge/koubo/h28/index.html>

分野等：

1. AIを活用した果実の自動箱詰めロボット技術の開発
2. AI、ICT等を活用した魚介類の流通支援システムの開発
3. AI等を活用した農業インフラメンテナンス技術の開発

公募期間：平成28年11月21日～12月20日

.....

☆革新的技術開発・緊急展開事業 (うち人工知能未来農業創造プロジェクト)

(農研機構・生研支援センター)

<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/aipro/koubo01/index.html>

分野等：

1. 畜産・酪農

課題 1. AIを活用した家畜疾病の早期発見技術の開発

課題 2. AIやICT技術を活用した周年親子放牧による収益性が高く低コストな子牛生産技術の開発

課題 3. 乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発

課題 4. AIを活用したロボット技術等による牧草生産の省力化・自動化技術の開発

2. 園芸

課題 1. AIを活用した施設野菜収穫ロボット技術の開発

課題 2. AIを活用した露地野菜収穫ロボット技術の開発

課題 3. AIを活用した果実収穫ロボット技術の開発

公募期間：平成28年11月21日～平成29年1月6日

☆革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）

（農研機構 生研支援センター）

<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/h27kakushin/keiei/koubo01/index.html>

分野等：生産性向上や差別化、輸出など、国が定めた技術戦略に沿って、企業、大学、研究機関、農林漁業経営体等が総力を結集して実証研究を行うものであり、「地域の競争力強化の方針（地域戦略）」と「地域戦略の実現に必要な技術体系の開発計画（研究計画）」を一体的に策定した「地域戦略・研究計画」の公募を行う。

公募期間：平成28年11月21日～平成29年1月10日

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度一般タイプ（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ

（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3；NexTEP-A タイプ

（平成28年度第2回）

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）

（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1)いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2)G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合を図るなにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

.....

民間等研究資金

☆公益財団法人エリザベス・アーノルド富士財団：「平成29年度学術研究助成」

<http://www.fujizaidan.or.jp/bosyuu.html>

分野等：

1. 米、麦等に関する研究
2. 米、麦等を原料とする食品の生産・加工・流通・生理的機能性等に関する研究
3. 米、麦等を原料とする食品製造における技術の向上発展に関する研究
4. 米、麦等を原料とする食品製造における機械の向上進歩に関する研究

公募期間：平成28年11月1日～12月14日

.....

☆日本中央競馬会：「平成29年度日本中央競馬会畜産振興事業」

<http://company.jra.jp/0000/chikusan/kobo/kobo.html>

分野等：畜産の振興による食料自給率の向上、多様な畜産経営の育成及び安全・安心な畜産物の供給を目的とし、畜産の現場への即時応用を前提とした技術の研究開発、調査研究及びこれらの成果を含む畜産経営に対する適切な情報提供等を行うものとする。具体的には、現状の課題を踏まえた必要性や緊急性、新技術の応用等の新規性、国等が実施している畜産関連施策の補完効果が高く、効果並びに目的と手段が明確な、次の各項目に掲げるものとする。

1. 自給飼料の生産・利用の促進
2. 担い手の確保 (特定の地域における担い手の確保を含む)
3. 経営改善の助長・支援
4. 多様な形質の家畜改良と効率的な飼養管理技術の普及
5. 畜産物の生産・流通対策
6. 畜産に係る環境問題の対策
7. 家畜衛生の向上のための対策

8. その他畜産振興に資するもの

公募期間：平成28年10月24日～12月21日

.....

☆粉体工学情報センター：「2017年度（第13回）研究助成」

<http://www.icpt.jp/kenkyuu/index.html>

分野等：1. 食品粉体に関わる研究、2. 粉体単位操作に関わる基礎研究

公募期間：平成28年10月3日～12月26日

.....

☆公益財団法人サッポロ生物科学振興財団：「2017年度研究助成」

<http://www.sapporoholdings.jp/foundation/koubo/index.html>

分野等：1. 消費者を知る、

2. 「おいしさ」を探す、

3. 「おいしさ」をつくる、

4. 「おいしさ」を保証する

公募期間：平成28年11月1日～12月26日

.....

☆公益財団法人水産無脊椎動物研究所：「2017年度個別研究助成・育成研究助成」

<http://www.rimi.or.jp/josei/JOSEI-NEW.html>

分野等：水産（水棲）無脊椎動物（昆虫類を除く）の形態・発生・生理・分類・系統
・生態・行動などに関するフィールドでの生物学的な調査研究

公募期間：平成28年9月29日～12月31日

.....

☆カクタス・コミュニケーションズ株式会社：「エディテージ研究費」

<https://www.editage.jp/editage-grants.html>

分野等：40歳以下で過去2年間科研費申請をしており、その採択を受けていない
自然科学、人文科学、社会科学の全分野の研究者

公募期間：平成28年10月5日～12月31日

.....

☆造船学術研究推進機構：「平成29年度研究テーマ募集」

<http://www.sajn.or.jp/redas/>

分野等：

1. 造船・船舶関連テーマ

(1) 船舶の燃費低減に関連する研究

(2) 海洋の環境保全に関連する研究

(3) 船舶の安全航行に関連する研究

(4) 船体構造の合理化および長寿命化に関連する研究

(5) 船舶建造の合理化に関連する研究

2. 海洋技術関連テーマ

(1) 海洋エネルギー資源（メタンハイドレート、洋上風力発電等）の開発に関

連する研究

(2) 海洋環境保全システムの開発に関連する研究

(3) 低炭素型シームレス物流の開発に関連する研究

3. その他関連テーマ

船舶・海洋に関連する先端技術の基礎的研究（造船・海運分野の産業基盤を強化する新規性の高い応用的研究含む）

公募期間：平成28年10月27日～12月31日

☆一般財団法人材料科学技術振興財団：「研究助成」

<http://www.mst.or.jp/corporate/tabid/542/Default.aspx>

分野等：原則として先端的な科学技術分野における新材料に関連する基礎的研究ならびにそれら材料の物性評価測定方法に関するもの、もしくはバイオ関連分野についての基礎的研究及び解析評価に関するもの。

公募期間：平成28年11月21日～12月31日

☆一般社団法人Jミルク：「平成29年度『牛乳乳製品健康科学』学術研究」

http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2017/H29_kenko.html

分野等：

1. 特定研究：最近の社会的課題や研究ニーズに対応したテーマに関する研究

(1) スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究

(2) 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究

(3) 牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究

2. 一般研究：当該研究領域に関連する幅広い視点や新規性のある研究

(4) 各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品

公募期間：平成28年10月1日～12月31日

☆一般社団法人全日本コーヒー協会：「平成29年度助成対象研究募集」

<http://coffee.ajca.or.jp/news/othernews/h29subsidize>

分野等：Human Health に関するコーヒーの効用全般についての研究

公募期間：平成28年12月14日～平成29年1月14日

☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「平成29年度研究等助成」

<http://www.ffcr.or.jp/>

分野等：

1. 一般研究助成

(1) 食品添加物の安全性等に関する研究

(2) 食品添加物の有用性、性能および使用技術等に関する研究

(3) 食品添加物の品質、規格および製造方法等に関する研究

(4) その他食品化学領域における調査・研究

2. 課題研究助成

- (1) 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究
- (2) 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究
- (3) 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究
- (4) 高齢者・病者・障害者等のため食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究
- (5) 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査、研究

公募期間：平成28年11月15日～平成29年1月15日

.....

☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第6回新化学技術研究奨励賞」

http://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_06_2017.html

分野等：

特別課題：災害時の安全・安心の確保、被害の軽減と災害からの復旧・復興に貢献する化学技術に関する研究

課題1：グリーン・イノベーションを推進するための資源・プロセス・評価技術に関する環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究（エネルギー資源、食料・水資源を含むものとする）

課題3：バイオマスの構造を活かした高機能材料および化学品に関する研究

課題4：創電・エネルギー貯蔵分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：エレクトロニクスの未来を支える新規材料・技術・プロセスに関する研究

課題6：マイクロナノシステム用途の拡大につながる新規な材料・プロセスおよびデバイス技術に関する研究

課題7：高効率物質生産に必要な新規バイオプロセスの構築に関する研究

課題8：生体分子を利用した、またはその構造と機能に着想した新規機能性材料の実用化を目指した研究

課題9：材料の設計・製造・解析・評価を先導する計算機を活用した研究

課題10：日本のものづくり強化と新産業創出に資する「新素材」実現のための基礎的・基盤的研究

課題11：革新的触媒技術による次世代グリーンイノベーション創出に関する研究

公募期間：平成28年11月14日～平成29年1月16日

.....

☆公益信託伊藤徳三ひまし研究基金：「平成29年度研究助成金」

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

分野等：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデシレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究を対象とする。

1. ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究
2. ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究
3. ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究

4. 上記 1～3 以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究

公募期間：平成 28 年 1 月 18 日～平成 29 年 1 月 20 日

☆一般財団法人旗影会：「2017 年度研究助成」

<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

＜一般助成＞ 以下の分野に関する研究

1. 畜産（生産および加工）
2. 農産（生産および加工）
3. 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）

＜特別助成＞一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など）

公募期間：平成 28 年 12 月上旬～平成 29 年 1 月 31 日

☆公益財団法人深田地質研究所：「平成 29 年度深田研究助成」

<http://www.fgi.or.jp/?p=3207>

分野等：

1. 地質学に関する研究・調査
2. 応用地質学に関する研究・調査
3. 地球物理学に関する研究・調査
4. 地盤工学に関する研究・調査
5. 環境工学に関する研究・調査
6. 防災工学に関する研究・調査

公募期間：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 2 月 3 日

☆特定非営利活動法人日本分子生物学会：「第 7 回（2017 年）日本分子生物学会
若手研究助成」

<http://www.mbsj.jp/admins/tomizawafund/7th-boshuu.html>

分野等：分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る若手研究者

公募期間：平成 29 年 1 月 13 日～2 月 10 日

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017 年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成 29 年 2 月 24 日

☆一般財団法人糧食研究会：「2017 年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成28年11月18日～平成29年2月28日

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

研究開発関連以外の補助金

☆平成28年度補正・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

(全国中小企業団体中央会)

http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/28mh_koubo_2016nov-.html

分野等：国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

公募期間：平成28年11月14日～平成29年1月17日

◆5◆新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

○米麦・大豆関係：麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアルの改訂

農研機構 九州沖縄農業研究センターは、麦赤かび病菌によるかび毒発生を低減するためのマニュアル改訂を行いました。我が国の麦栽培においては、栽培後期に降雨が多いために赤かび病が発生し易く、赤かび病が発生すると赤かび病菌によるかび毒(デオキシニバレノール；DON、ニバレノール；NIV)の汚染が起こる場合があります。麦類のかび毒汚染を低減するため、2008年12月に農研機構赤かび病研究チームは「麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル」を作成し、公表しています(2008年度普及成果情報)。今回、このマニュアルを、科学的根拠に基づき全面的な改訂、高度化を図りました。

・農研機構ホームページ(2015年成果情報)：

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2015/15_062.html

○食品関係：交流電界技術を用いた加工食品の高品質化

農研機構 食品総合研究所食品工学研究領域(現在は、食品研究部門)は、「野菜ジュースの殺菌や酵素失活のために交流高電界技術を用いると極短時間で高い殺菌効果が得られ、加熱による品質劣化も抑制される。また、開発した交流中電界技術による味噌の連続酵素失活処理が可能となり、高品質の出汁入り味噌が製造できる。」とする研究成果を公

表しました（2015 年度成果情報）。

・ 成果の概要は下記の URL でご覧いただけます。

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/nfri/2015/15_076.html

.....

編集後記

1 2 月も半ば近くとなり、1 年の経つのが早く感じられます。今年もいろいろなことが起こりました。トランプ米国大統領の登場による世界の不透明性の増大、移民対応を契機とする欧州統合の危機、TPP の発効不能、異次元金融緩和やマイナス金利などの未知の経済実験、新都知事誕生によるオリンピック既得権益の見直しなど、世の中はダイナミックに動いています。オリンピック・パラリンピック東京大会が3 年半後に迫る中、「持続可能な発展」がオリンピック憲章に規定されていますが、「持続可能」な食材等の調達基準がまだ検討中であり、その早期確定と生産とサプライチェーンをどうするのが問われています。

ところで、最近読んだ本に「アマゾンと物流大戦争」（NHK 出版新書、2016 年 9 月発刊）があります。著者は、米国のビジネス事情に詳しく、国内ナンバーワンの通販専門物流会社を設立・運営する物流の専門家です。多くのビジネス関係者は、アマゾンと自社のビジネスとは無関係と思っているが認識不足であると指摘しています。「ロジスティクスを制するものはビジネスを制する」と看破しています。アマゾンは米国で小売業界の雄であるウォルマートと覇権を争い、日本でも業界第6 位に躍進しつつあります。書籍のネット通販から始まったアマゾンのビジネスは今や家電やあらゆる商品に広がり、翌日配達、一定額以上で送料無料、土日配達、配送拠点の整備等、着々とロジスティクス強化を図り、追従が困難になりつつあります。将来的に、日本の小売業のみならずモノづくり企業も、ロジスティクスを支配するアマゾンに商品の低価格供給を求められ、苦しい経営を余儀なくされる可能性があります。本書には、「アマゾンが変えていくビジネスの世界、アマゾンの戦略とその正体」等について書かれており、ビジネスマンの誰もがそれらを知って、企業戦略を考えていく上で必読の書と思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

U R L <http://www.biotech-tokai.jp/>

◆ 1 ◆ 平成 28 年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆平成 29 年度農林水産省競争的研究資金制度説明会

東海農政局と NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会は、民間企業、試験研究機関、大学等を対象として、平成 29 年度の農林水産省競争的研究資金制度等の公募説明会を下記の通り開催いたします。

【開催日時】平成 29 年 1 月 16 日（月）14：00～16：00

【開催場所】ウインクあいち 11 階 1104 会議室

（愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4－38）

ウインクあいちへのアクセス <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【内容】

(1) 平成 29 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業の公募について

(2) 平成 29 年度「知」の集積と活用場による研究開発モデル事業の公募について
（説明終了後に、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会による個別相談会を行います（16：00～）。個別相談を希望される方は、その旨を別添の参加申込書に記載して下さい。）

【主催】農林水産省東海農政局、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【参加人員】定員 80 名

【お申込み】別添参加申込書に必要事項を記載し、平成 29 年 1 月 13 日（金）12 時までに、FAX 又は、メールにて NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会へお申し込み下さい。

申込用紙：下記の東海農政局ホームページからリンクされています。

http://www.maff.go.jp/tokai/press/seisan_kankyo/161227.html

お申し込み先：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会（大石、道村）

TEL&FAX：052－789－4586 E-mail: bio-npo2@4.dion.ne.jp

【お問い合わせ先】東海農政局生産部生産技術環境課 担当者：安達、畔柳（くろやなぎ）

代表：052－201－7271（内線 2264）

ダイヤルイン：052－746－1313 FAX：052－218－2793

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆戦略的技術開発体制推進セミナー

～農林水産関連分野のネットワーク強化による農林水産・食品産業の成長産業化にむけて～
(JATAFF)

我が国の農林水産業・食品産業の喫緊の課題である競争力強化に向けて、農林漁業者が

現場で直面する技術課題を戦略的に解決するため、生産者の相談窓口となる拠点機関を中心に、民間企業・大学・研究機関等による研究ネットワーク構築が必要です。本セミナーでは、最新の農政状況や研究ネットワークの先進事例等に関する情報提供を行います。

【開催日時】平成29年1月27日（金）

【開催場所】レセプションハウス名古屋通信会館

【講演内容】プログラム（予定） 13:00～17:00

事業趣旨説明 農林水産省

講演1 研究ネットワークのねらい（仮題）

（公財）未来工学研究所研究参与 太田与洋氏

講演2 オランダの食品産業に勝つために今我々がなすべきこと

TNO Food & Nutrition 日本代表 西出 香氏

講演3 研究ネットワーク国内優良事例紹介

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

講演4 研究成果の実効的な生産現場への展開を目指して（仮題）

農業生産法人等の先端的生産者

パネルディスカッション

導入スピーチ/ファシリテーター

フィールド・フロー（株）代表取締役 渋谷 健氏

【主催】公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【お申込み】下記 URL よりお申し込みください。

<http://www.ifeng.or.jp/news/agnet>

申込み関係事務局：公益財団法人未来工学研究所

担当：小沼、多田、三重野

TEL：03-3586-8644 FAX：03-3586-8277

.....

☆起業講座シリーズ：21 世紀に輝く女性たち～起業・産業・地域・世界の様々な「場」で活躍する女性たちの「働き方」「生き方」～（名城大学）

【開催日時】平成28年12月14日（水）～1月11日（水）の間に3回開催

【開催場所】名城大学天白キャンパス 共通講義棟北1階 N-101（名城ホール）

地下鉄鶴舞線 塩釜口下車、1番出口（右）徒歩4分

【開催案内】<http://www.meijo-u.ac.jp/event/detail.html?id=dYBNcl>

【参加】参加費無料、参加者は直接会場へおいで下さい。定員600名

【問い合わせ先】名城大学経営学部事務室 TEL：052-838-2051

.....

☆第27回 中部バイオテクノロジーシンポジウム（NPO 法人バイオものづくり中部）

【開催日時】平成29年1月17日（火）13：30～16：30

【開催場所】愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階

（名古屋市中村区名駅4-4-38）

名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分

会議室 1202 (12 階) : 基調講演、講演 1～3

会議室 1206 (12 階) : コーヒーブレイク、懇親会

【内容】

ご挨拶 (13:30～13:40)

基調講演 (13:40～14:30)

「名古屋大学における医療機器開発の新しい取組について」

名古屋大学 医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

副センター長・病院教授 水野正明氏

講演 1 (14:50～15:20)

「桑名市総合医療センターの地域食材を使った新しい取組み」

桑名市総合医療センター 理事長顧問・管理栄養士 岩田加壽子氏

講演 2 (15:20～15:50)

「嚥下食とその周辺規格」

ニュートリー株式会社 R&D 部 第 2 商品開発グループ長 谷山洋平氏

講演 3 (15:50～16:20)

「油分解微生物を使った革新的排水処理技術 (仮題)」

名古屋大学 大学院工学研究科 教授 堀 克敏氏

質疑応答 (16:20～16:30)

閉会

【主催】 特定非営利活動法人バイオものづくり中部、名古屋大学協力会

【対 象】 NPO バイオものづくり会員、会員からの招待者、その他

【参加費】 無料 (懇親会は会費制 1,000 円、NPO 会員及び NPO 会員からの招待者は無料)

【懇親会】 (16:45～18:00) 同会場 12 階 1206

【申込先、連絡先】 NPO バイオものづくり中部 事務局 担当：上井

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-5-32 錦 K T ビル 4 階 (藤浪会計事務所内)

電話/FAX: 052-203-2053 E-mail: support@bioface.or.jp

.....

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会新春講演会等

【開催日時】 平成 29 年 1 月 26 日 (木)

【開催場所】 ウィンクあいち・愛知県産業労働センター (名古屋駅前)

13 階 1301 会議室 (TEL: 052-571-6131)

【新春基調講演】 15 時 00 分～17 時 00 分

「林業と工業をつなぐ ～樹木細胞壁の工業規格化～」

三重大学地域イノベーション推進機構特任教授・三重大学名誉教授 船岡正光氏

【新年懇親会】 17 時 30 分～19 時 30 分

場所 キャッスルプラザホテル 地下一階 ビストロ・ドファン・ドール

(愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 3-25)

【お申込み】 参加費 講演会費 会員無料 会員外 1,000 円

新年懇親会費 会員 お一人無料、会員お二人目から 5,000 円
会員外 5,000 円

下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

C R N事務局行き E-mail : gt-keisoku@re.commufa.jp

「1月26日(木)のC R N [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属 : 氏名 :

.....

☆平成28年度 Mip 特許塾「三度の飯より特許塾 ～攻守の要は知財なりの巻～」
(三重大学)

【開催日時】平成29年1月27日(金)、2月10日(金)に2回開催

【開催場所】三重大学 社会連携研究センター 3階 研修・会議室

【対象者】三重県内の企業の方と教員及び学生、知的財産に関する知識を深めたい方

【参加】参加費無料、定員各回20名(定員になり次第、申し込み締切)

【日程】

◇第3回 平成29年1月27日(金) 18:00～20:10

「広くて強い特許はどのように作られるのか ～ 保護範囲が広く、しかも無効にされない
ために～」 講師 日本大学大学院知的財産研究科教授 加藤 浩氏

◇第4回 平成29年2月10日(金) 18:00～20:10

「知恵と知財でがんばる企業の考え方 ～ 強い企業は特許・ノウハウ戦略を持っている～」
講師/未定

【案内チラシ】 http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/pdf/20161028~20170210_Mip.pdf

【問い合わせ先】三重大学 社会連携研究センター 知的財産統括室

TEL : 059-231-5495 FAX : 059-231-9743

E-mail : chizai-mip@crc.mie-u.ac.jp

.....

☆日本分析センター講演会

【開催日時】平成29年2月28日(火) 13:50～

【開催場所】愛知県女性総合センター ウィルあいち 大会議室

【講演内容】

「におい分析について ～異臭分析を中心に～」

日本食品分析センター 小木曾基樹氏

「HACCP をとりまく最近の話題」

日本食品分析センター 植田浩之氏

詳しくは下記の URL にあるご案内をご覧ください。

<http://www.jfri.or.jp/news/files/nagoya20170228.pdf>

【お申込方法】 添付文書の申込書に必要事項をご記入の上、当メールへのご返信または
FAX にてご返信下さい。 ホームページからもお申込みができます。

⇒ <http://www.jfrr.or.jp/news/2016/12/228-1.html>

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催
するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下
記の通りです。 <http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度・29年度競争的研究資金等について

☆平成28年度 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「緊急対応研究課題」

(第4回公募)」 (農林水産省)

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/161228.html>

分野等：堆肥に残留する低濃度クロピラリド(除草剤成分)の定量法の開発及び作物被
害との関係解明のための調査研究

公募期間：平成28年12月28日～平成29年1月19日

.....

☆産学共同実用化開発事業 (NexTEP) 平成28年度一般タイプ (通常募集) (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究
成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆産学共同実用化開発事業 (NexTEP) 平成28年度未来創造ベンチャータイプ

(通常募集) (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向
けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学
等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3；NexTEP-A タイプ
（平成28年度第3回）（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

.....

☆平成29年度新エネルギーベンチャー技術革新事業（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100139.html?from=nedomail

分野等：太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募時期：2月上旬公募開始（予定）

.....

☆平成29年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000192.html

分野等：

1. 重点領域型研究開発（ICT重点研究開発分野推進型）
2. 若手ICT研究者等育成型研究開発（中小企業枠）
3. 地域ICT振興型研究開発

公募期間：平成29年1月6日～2月6日

.....

☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合を図ることにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念

検証)に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

.....
☆平成29年度厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000145094.html>

分野等：食品医薬品等のリスク分析研究事業等

公募期間：平成28年12月22日～平成29年1月27日

.....
民間等研究資金

☆イムラ・ジャパン株式会社：「第1回先進シース研究への研究助成」

<http://www.imra-japan.com/research/award.html>

分野等：微生物の産業利用に関する研究(医療、薬剤は除く)

公募期間：平成28年12月1日～平成29年1月13日

.....
☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「平成29年度研究等助成」

<http://www.ffcr.or.jp/>

分野等：

1. 一般研究助成

(1) 食品添加物の安全性等に関する研究

(2) 食品添加物の有用性、性能および使用技術等に関する研究

(3) 食品添加物の品質、規格および製造方法等に関する研究

(4) その他食品化学領域における調査・研究

2. 課題研究助成

(1) 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

(2) 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

(3) 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

(4) 高齢者・病者・障害者等のため食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

(5) 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査、研究

公募期間：平成28年11月15日～平成29年1月15日

.....
☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第6回新化学技術研究奨励賞」

http://www.jaci.or.jp/reruit/page_02_06_2017.html

分野等：

特別課題：災害時の安全・安心の確保、被害の軽減と災害からの復旧・復興に貢献する化学技術に関する研究

課題1：グリーン・イノベーションを推進するための資源・プロセス・評価技術に関する環境技術の研究

課題 2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究（エネルギー資源、食料・水資源を含むものとする）

課題 3：バイオマスの構造を活かした高機能材料および化学品に関する研究

課題 4：創電・エネルギー貯蔵分野における革新素材・技術に関する研究

課題 5：エレクトロニクスの未来を支える新規材料・技術・プロセスに関する研究

課題 6：マイクロナノシステム用途の拡大につながる新規な材料・プロセスおよびデバイス技術に関する研究

課題 7：高効率物質生産に必要な新規バイオプロセスの構築に関する研究

課題 8：生体分子を利用した、またはその構造と機能に着想した新規機能性材料の実用化を目指した研究

課題 9：材料の設計・製造・解析・評価を先導する計算機を活用した研究

課題 10：日本のものづくり強化と新産業創出に資する「新素材」実現のための基礎的・基盤的研究

課題 11：革新的触媒技術による次世代グリーンイノベーション創出に関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 16 日

.....

☆公益信託伊藤徳三ひまし研究基金：「平成 29 年度研究助成金」

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

分野等：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデシレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究を対象とする。

1. ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究
2. ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究
3. ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究
4. 上記 1～3 以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 20 日

.....

☆公益財団法人日本応用酵素協会：「2017 年度研究助成」

<http://www.jfae.or.jp/assist/index.html>

分野等：酵素の応用研究、および生命科学に関連する酵素の研究

公募期間：平成 28 年 1 月 16 日～平成 29 年 1 月 22 日

.....

☆一般財団法人旗影会：「2017 年度研究助成」

<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

<一般助成> 以下の分野に関する研究

1. 畜産（生産および加工）
2. 農産（生産および加工）
3. 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）

<特別助成>一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、

健康機能、衛生、調理科学、食文化など)

公募期間：平成28年12月上旬～平成29年1月31日

☆公益財団法人深田地質研究所：「平成29年度深田研究助成」

<http://www.fgi.or.jp/?p=3207>

分野等：

1. 地質学に関する研究・調査
2. 応用地質学に関する研究・調査
3. 地球物理学に関する研究・調査
4. 地盤工学に関する研究・調査
5. 環境工学に関する研究・調査
6. 防災工学に関する研究・調査

公募期間：平成28年12月1日～平成29年2月3日

☆公益財団法人三菱財団：「平成29年度自然科学研究助成」

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/index.html>

分野等：自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究

公募期間：平成29年1月10日～2月7日

☆特定非営利活動法人日本分子生物学会：

「第7回（2017年）日本分子生物学会 若手研究助成」

<http://www.mbsj.jp/admins/tomizawafund/7th-boshuu.html>

分野等：分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る若手研究者

公募期間：平成29年1月13日～2月10日

☆公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会：

「平成29年度（2017年度）研究助成金」

<http://vitabio.sakura.ne.jp/jyosei.html>

分野等：ビタミン・バイオフィクターに関する研究

公募期間：平成29年1月10日～2月10日

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

☆一般財団法人糧食研究会：「2017年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成28年11月18日～平成29年2月28日

.....

☆公益財団法人畠山文化財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等

公募期間：平成29年1月10日～3月6日

.....

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：平成29年1月15日～3月10日

.....

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkokuai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

.....

☆一般財団法人東和食品研究振興会：「平成29年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：平成28年12月9日～平成29年3月31日

.....

研究開発関連以外の補助金

☆平成28年度補正・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

(全国中小企業団体中央会)

http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/28mh_koubo_2016nov-.html

分野等：国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

公募期間：平成28年11月14日～平成29年1月17日

.....

農林水産業・食品分野の新技术情報の紹介

○飼料用米に適した水稻新品種「オオナリ」を開発 ～10アール1トンの超多収～

本成果は、昨年12月に公表された2016年農林水産研究成果10大トピックスに掲載されたものです。農研機構は、飼料用米に適した水稻新品種「オオナリ」を開発しました。多収品種「タカナリ」の脱粒性を改善することにより、収穫期の損失が減少し、これまでで最高レベルの収量性を示しています。「オオナリ」の普及により、飼料用米の生産コストの削減が期待されます。

・2016年農林水産研究成果10大トピックス

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/attach/pdf/161220-2.pdf>

○畜産関係：養豚農家で使える受精卵移植技術の実証に成功

～伝染病侵入の危険が少ない種豚導入に期待～

本成果は、昨年12月に公表された2016年農林水産研究成果10大トピックスに掲載されたものです。佐賀県畜産試験場は、農研機構動物衛生研究部門など5研究機関と共同で、一般養豚場に輸送した凍結保存受精卵を、開腹手術をせずに母豚に移植し子豚を生産することに成功しました。この技術の普及によって、受精卵での種豚導入が可能となります。これにより、種豚の移動が不要となるため、伝染病侵入リスクの低減や輸送の際に生じる経費削減や省力化が期待されます。

・2016年農林水産研究成果10大トピックス

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/attach/pdf/161220-2.pdf>

.....

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配にあずかり、誠にありがとうございました。会員皆様方のご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、本年もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

2017年は、米国の新大統領就任、欧州における政治動向などにより、世界的に不透明性が増すとの懸念があり、また、世界的に異常気象の頻度が増える傾向にありますので、経済動向、作柄等に注意を払い、企業活動のリスク管理に万全を期していく必要があります。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催への準備が急ピッチで進められますので、国際情勢や経済が安定した状態で推移することが望まれます。東海地域からの食材や建設資材等の東京オリンピック・パラリンピックとその建設等への提供、大勢の訪日客が東海地域にも足を運んでももらえるような取組も重要となってきます。

ところで、最近読んだ本に武蔵原一人著、「見込みゼロ客をヘビーリピーターに変える『スゴい営業の仕組み』」（幻冬舎・経営者新書、2016年10月発刊）があります。著者は、住宅リフォーム会社の営業畑を長く経験し、トップ営業マンとして営業活動の問題点を知り尽くした後に、1人で建設会社を起業しました。そして、かつての経験を活かして、「全く関係のなかったお客をヘビーリピーター」にすることによって経営を安定させ、営業マンが「ノルマ」に追われることなく楽しく仕事をしてもらえる会社にしています。この会社はリフォームを主として行う従業員数40名の小企業ですが、これまで築いてきた「まごの手宅配便」の更にその先の時代に即した新たな仕組作りも視野に、ヘビーリピーターの拡大を考えています。業種が違って、人口減少社会にあって需要拡大が望めない中で、何とか安定経営を成し遂げたいと考えている経営者や管理職の方にとって、本書はいろいろ参考となり、示唆に富む一冊であろうと思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>

でお知らせ致します。

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 2 月度研究会

【開催日時】平成 29 年 2 月 23 日(木) 午後 2 時から 5 時

【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室

名古屋市中区栄三丁目 18 番 1 号

ナディアパーク・国際デザインセンタービル 6 階 (052 - 228 - 8039)

【講師】

14 時～15 時 30 分

・「IoT の革新性と制御の将来像」

名古屋工業大学大学院社会工学専攻経営システム分野教授 橋本芳宏氏

15 時 30 分～17 時

・『経営再建』 ～生き抜け！生き残れ！生まれ変われ！～

キャタピラーマネジメントオフィス 古川益一氏

【会費】会員 無料 会員以外 1,000 円 (学生 500 円)

【交流会】講師を囲んでの交流会を予定しています。(自由参加)

会費当日 3,000 円

【お申込み】下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

CRN事務局行き E-mail: gt-keisoku@re.commufa.jp

「1 月 26 日(木)の CRN [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属： 氏名：

☆日本分析センター講演会

【開催日時】平成 29 年 2 月 28 日(火) 13:50～

【開催場所】愛知県女性総合センター ウィルあいち 大会議室

【講演内容】

「におい分析について ～異臭分析を中心に～」

日本食品分析センター 小木曾基樹氏

「HACCP をとりまく最近の話題」

日本食品分析センター 植田浩之氏

【開催案内】<http://www.jfri.or.jp/news/files/nagoya20170228.pdf>

【お申込方法】添付文書の申込書に必要事項をご記入の上、当メールへのご返信または FAX にてご返信下さい。ホームページからもお申込みができます。

⇒ <http://www.jfri.or.jp/news/2016/12/228-1.html>

.....
三重大学生物資源学研究科「平成28年度環境農林水産フォーラム」の開催

【開催日時】平成29年3月8日(水) 13:30～ (受付13:00～)

【開催場所】三重県立熊野古道センター(映像ホール・大小ホール)

【主催】三重大学大学院生物資源学研究科 教育研究推進センター

【共催】マリンフードイノベーション創発ユニット構築プロジェクト

【参加対象者】関連の企業・団体、一般の方

【開催案内】<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2017/01/28in.html>

【プログラム】

13:30 挨拶 三重大学長／駒田美弘氏

13:35 シンポジウム開始 司会 産学連携コーディネータ／前川行幸氏
・サテライト構想、新学科設置、鯨類研究センターの紹介

生物資源学研究科長／梅川 逸人氏

・東紀州サテライト構想に向けた生物資源学研究科の活動実績の概略

生物資源学研究科教育研究推進センタープロジェクト戦略室長／亀岡 孝治氏

14:10 尾鷲におけるアオリイカのブランド化の取り組み

生物資源学研究科 生物物性学研究室准教授／大井 淳史氏

14:25 自発摂餌式給餌法を活用したウマヅラハギ養殖

(三重県尾鷲水産研究室との共同研究)

生物資源学研究科 水族生理学研究室教授／神原 淳氏

14:40 東紀州サテライト構想に望むこと

三重県尾鷲農林水産事務所 所長／太田憲明氏

15:00 ワークショップ 「次のサテライトに向けて、地元が求めるものとは？」

場所：大・小ホールに移動 テーマごとに、テーブルに分かれて座談会

ファシリテータ

三重大学生物資源学研究科 資源経済システム学研究室准教授／松井隆宏氏

16:30 終了の挨拶 三重大学理事(副学長)・東紀州サテライト長／加納 哲氏

【参加申し込み】お申込は、2月24日(金)までにお願いいたします。

FAX: 059-231-9634

メールでのお申込の場合は、件名に「フォーラムの申込」と記入下さい。

E-Mail: renkei@bio.mie-u.ac.jp <<mailto:renkei@bio.mie-u.ac.jp>>

◆3◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度・29年度競争的研究資金等について

☆平成29年度委託プロジェクト研究

(農林水産省)

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/170206.html>

分野等：5つの研究事項についての公募が行われています。

- 1.人工知能未来農業創造プロジェクト
- 2.蚕業革命による新産業創出プロジェクト
- 3.薬剤耐性問題に対応した家畜疾病防除技術の開発
- 4.農業分野における気候変動緩和技術の開発
- 5.農業における昆虫等の積極的利活用技術の開発

公募期間：平成29年2月6日（月曜日）～3月28日（火）17時必着

公募説明会：平成29年2月15日（水）

農林水産省 本館6階 農林水産技術会議委員室（ドア番号本678）

申し込み締め切り 2月14日（火）下記のURL参照

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/170206.html>

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度一般タイプ（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ

(通常募集) (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3；NexTEP-Aタイプ

(平成28年度第3回) (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

☆平成29年度 大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト支援型 (JST)

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/h29/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざした研究開発プロジェクトを JST が支援する。

公募期間：平成29年1月17日～3月15日

(第1次申請 (平成29年度第1サイクル))

☆平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業

(旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業)

(NEDO)

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100139.html

分野等：再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等(ベンチャーを含む)が保有している潜在的ギジュツシーズを基にした技術開発を公募により実施する。技術分野は、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術(燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等)。

公募期間：平成29年2月6日～3月14日

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!)

(総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリー ICT サービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広く ICT そのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野と ICT との融合を図ることにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

〈民間の競争的研究資金〉

☆公益財団法人山田科学振興財団：「2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

.....

☆公益財団法人三島海雲記念財団：「平成29年度学術研究奨励金」

<http://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/post.html>

分野等：食の科学に関する学術研究等

公募期間：平成29年1月10日～2月25日

.....

☆一般財団法人糧食研究会：「2017年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成28年11月18日～平成29年2月28日

.....

☆公益財団法人畠山文化財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス等

公募期間：平成29年1月10日～3月6日

.....

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：平成29年1月15日～3月10日

.....

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkokuai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

.....

☆一般財団法人東和食品研究振興会：「平成29年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：平成28年12月9日～平成29年3月31日

.....

☆特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 平成29年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/h29jigami-fund.html>

分野等：酵母、糖鎖に関する研究

公募締切日：平成29年3月31日

.....

☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度生命科学研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

.....

☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度ライフサイエンス研究奨励」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

.....

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：平成29年度研究助成

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：平成29年1月5日～8月31日

.....

編集後記

2月に入り寒い日が続き、インフルエンザも流行っていますので、体調に気を付けて下さい。1月20日の大寒、2月4日の立春、2月18日の雨水と二十四節気は、季節の移り変わりをかなり良く反映しているようです。この二十四節気ですが、昨年10月31日に、中国の「二十四節気」のユネスコ無形文化遺産への登録勧告が決定したようです。日本でも二十四節気にいろいろな催しが風習化されています。伝統文化が世界遺産に登録さ

れ、世界から注目されていますが、日本の「田舎」は無形文化の宝庫であり、これを発掘し、これと結び付けて地域のいろいろの良さをアピールできれば、今は、インターネット社会ですので世界中から「日本の文化、景観、食」等を求めて訪問客がやって来てくれる時代となっています。地域住民、行政、NPO 法人等が単品ではなく総合的なプロジェクトとして取り組むことが重要となっているのではないかと、改めて思いました。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

U R L <http://www.biotech-tokai.jp/>

平成29年3月10日発行

東海生研 — メールマガジン 第147号 —

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

****《もくじ》****

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー（6月22日）
- ☆平成29年度の東海生研・行事予定
- ☆東海生研ホームページのリニューアルについて
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会3月研究会（3月23日）
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆平成29年度委託プロジェクト研究（農林水産省）
- ☆平成29年度水産防疫対策委託事業（農林水産省：水産庁）
- ☆平成29年度官民連携新技術研究開発事業（農林水産省：農村振興局）
- ☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度一般タイプ（通常募集）（JST）
- ☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ（通常募集）（JST）
- ☆平成29年度マッチングプランナープログラム（名称等変更されます）（JST）
- ☆非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発（研究開発テーマの追加）（NEDO）
- ☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3：NexTEP-Aタイプ（平成28年度第3回）（JST）
- ☆平成29年度大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型（JST）
- ☆平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業（NEDO）
- ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（総務省）
- ☆民間の競争的研究資金を16件掲載
- 5. 新技術情報 3件掲載

◆1◆ 「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆平成29年度NPO法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー(予定)

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会通常総会と第1回セミナーを下記の通り予定しております。詳しくは、会員の方には、個別にご連絡・案内するとともに、次号メールマガジン等でもお知らせ致します。

【開催日時】平成29年6月22日(木) 14:30～15:30 総会
15:45～16:45 第1回セミナー

【開催場所】ウインクあいち 13階 1302号室

【第1回セミナー】

講演: 「地域農業の将来を考える視点」

愛知県農業振興基金理事長(NPO法人東海生研副理事長) 可知祐一郎氏

【情報交流会】ウインクあいち13階 1306号室 会費制:

.....

☆平成29年度の東海生研・行事予定

○第2回セミナー: 10月上旬

○アグリビジネス創出フェア2017 in 東海: 11月7日(火)、8日(水)
名古屋大学野依記念学術交流館

○第3回セミナー: 11月20～24日(予定)

○競争的資金説明会: 1月中旬

○情報誌「バイオテック東海」: 12月発行予定

.....

☆東海生研ホームページのリニューアルについて

東海生研の旧ホームページが暫く見られない状態でしたが、3月からデザイン等を一新してオープンしましたので、お知らせ致します。主な変更点は、①トップページの下部に、掲載項目のリストを設けるとともに、サイトマップから記事の詳細リストをご覧いただけます。②新たに、東海生研主催のセミナー内容に関する「セミナー等の資料」の掲載、農林水産・食品・地域に関する「読み物」の掲載、会員企業の「製品紹介」等を設けました。③会員コーナーには、情報誌「バイオテック東海」の第80号の目次を掲載しましたので、ご覧ください。

なお、ブラウザによっては、プルダウンができないことがございます(例えば、「お知らせ」から下部の項目に移れない)。この場合は、Firefox、Microsoft Edgeをお使い下さい。また、会員が「お問い合わせ」⇒「会員ログイン」⇒「会員情報誌」として、「会員情報誌」を開く場合には、「会員ログイン」場面で、ID とパスワード(分からない会員は、東海生研(末尾の E-mail 宛て)にお問い合わせ下さい)を入力し、改めて「お問い合わせ」から「会員ログイン」、「会員情報誌」としますと閲覧できます。新ホームページは、新システムを採用し全面リニューアルしましたので、まだ、不具合が見つかる場合がございますので、ご連絡いただければ幸いです。なお、スマートフォンでは表示が不規則となる場合がございますので、できるだけパソコンでの閲覧をお願い致します。

新ホームページの URL : <http://www.biotech-tokai.jp>

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 3月研究会

【開催日時】平成29年3月23日(木) 午後2時から5時

【開催場所】名古屋市市民活動推進センター 研修室

名古屋市中区栄三丁目18番1号

ナディアパーク・国際デザインセンタービル 6階 (052-228-8039)

【講師】

14時～15時20分

・「いよいよ始まるネガワット取引への期待と課題」

株式会社日本環境取引機構 代表取締役 向井征二氏

(注) 電力買い取り制度におけるネガワットとは (エコメガネの解説引用)

<http://blog.eco-megane.jp/negawatt/>

15時30分～17時

・「見えない人材育成の壁と戦う」

株式会社ナゴヤキャスル 総務部人材育成課長 杉浦敏代氏

【開催案内】チラシ

<http://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-content/uploads/2017/03/290323CRN.pdf>

【会費】会員 無料 会員以外 1,000円 (学生 500円)

【交流会】講師を囲んでの交流会を予定しています。(自由参加)

会費当日 3,000円 場所:新栄 うお浜 (会場へはタクシー乗合せ)

【お申込み】下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

CRN事務局行き E-mail: gt-keisoku@re.commufa.jp

「3月23日(木)のCRN [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属: 氏名:

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下

記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成 28 年度・29 年度競争的研究資金等について

☆平成 29 年度委託プロジェクト研究

(農林水産省)

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/170206.html>

分野等：5つの研究事項についての公募が行われています。

- 1.人工知能未来農業創造プロジェクト
- 2.蚕業革命による新産業創出プロジェクト
- 3.薬剤耐性問題に対応した家畜疾病防除技術の開発
- 4.農業分野における気候変動緩和技術の開発
- 5.農業における昆虫等の積極的利活用技術の開発

公募期間：平成 29 年 2 月 6 日（月曜日）～3 月 28 日（火）17 時必着

.....

☆平成 29 年度水産防疫対策委託事業

(農林水産省：水産庁)

(水産動物疾病の診断・予防・まん延防止に係る技術開発等)

http://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/170220_1.html

分野等：

1. 水産動物疾病等緊急対策
2. 水産防疫資材の開発促進のための基礎的な知見の収集
3. 水産動物疾病検査法開発
4. 養殖衛生管理に関する調査・研究

公募期間：平成 29 年 2 月 20 日～3 月 23 日

.....

☆「平成 29 年度官民連携新技術研究開発事業」

(農林水産省：農村振興局)

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/170207_1.html

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：平成 29 年 2 月 7 日～3 月 30 日

.....

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成 28 年度一般タイプ（通常募集）

(JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴

う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆産学共同実用化開発事業（NexTEP）平成28年度未来創造ベンチャータイプ

（通常募集）（JST）

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3；NexTEP-Aタイプ

（平成28年度第3回）（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

☆平成29年度 大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型（JST）

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/h29/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざした研究開発プロジェクトをJSTが支援する。

公募期間：平成29年1月17日～3月15日

（第1次申請（平成29年度第1サイクル））

☆平成29年度マッチングプランナープログラム（名称等が変更されます）

（JST）

マッチングプランナープログラムは、平成29年度から「地域産学バリュープログラム」と名称を変更し、3月下旬以降、新規課題の募集が開始される予定です。詳細につきましては、公募開始後、JSTのホームページに掲載される予定の公募要領等をご覧ください。

【公募名称】地域産学バリュープログラム

【公募開始時期】2017年3月下旬以降（予定）

【研究開発費】基準額300万円（予定）

金額についての詳細は現在検討中とのことです。

【概要説明】<http://www.jst.go.jp/mp/>

☆平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業

（旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業）

（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100139.html

分野等：再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等（ベンチャーを含む）が保有している潜在的技術シーズを基にした技術開発を公募により実施する技術分野は、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募期間：平成29年2月6日～3月14日

.....
☆非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発（研究開発テーマの追加）（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100120.html

分野等：

1. CNF（セルロースナノファイバー）安全性評価手法の開発
2. 木質系バイオマスの効果的利用に向けた特性評価

公募期間：平成29年2月24日～3月27日

.....
☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1)いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2)G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3)以心伝心ICTサービス基盤
- (4)フレンドリーICTサービス技術
- (5)社会インフラ維持管理サービス技術
- (6)レジリエント向上ICTサービス技術
- (7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合を図ることにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
（（民間の競争的研究資金））

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

☆一般財団法人東和食品研究振興会：「平成29年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：平成28年12月9日～平成29年3月31日

☆特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 平成29年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/h29jigami-fund.html>

分野等：酵母、糖鎖に関する研究

公募締切日：平成29年3月31日

☆公益財団法人日本生命財団：「平成29年度ニッセイ財団 環境問題研究助成」

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02_gaiyo.html

分野等：人間活動と環境保全との調和に関する研究

公募期間：平成29年2月1日～4月3日

☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度生命科学研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

☆公益財団法人武田科学振興財団：「2017年度ライフサイエンス研究奨励」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：健康増進に寄与する生命科学分野の進歩、発展に貢献すると考えられる研究

公募期間：平成29年1月6日～4月4日

☆一般財団法人水源地環境センター：「平成29年度 WEC 応用生態研究助成」

<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

分野等：

1. ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究
2. ダム貯水池や下流河川の生態系に係わる土砂動態に関する研究

公募期間：平成29年2月9日～4月5日

☆公益財団法人戸部真紀財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.tobe-maki.or.jp/grant/>

分野等：化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学

公募期間：平成29年4月19日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第99回（平成29年度第1次）新技術開発助成」

http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech

分野等：基本原理の確認が終了（研究段階終了）した後の実用化を目的にした開発試作

公募期間：平成29年4月1日～4月20日

☆公益財団法人ひと・健康・未来研究財団：「2017年度研究助成」

<http://www.jnhf.or.jp/jose/g-01/>

分野等：当財団の目的である「ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康をめざした研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する」ことをめざす研究（分野は食品、環境、医学、福祉）

公募期間：平成29年4月1日～4月30日

☆公益信託富士ファイルム・グリーンファンド：「2017年度 FGF 助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/1.htm>

分野等：身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究 等

公募締切日：平成29年5月8日

☆公益信託ミキモト海洋生態研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/2.htm>

分野等：

1. 潮間帯から浅海にわたる海域に生息する生物に関する調査研究
2. 潮間帯から浅海にわたる海域に生息する生物の生息環境に関する調査研究
3. 潮間帯から浅海にわたる海域における生態の保全のあり方に関する調査研究

公募締切日：平成29年5月8日

☆公益信託乾太助記念動物科学研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/5.htm>

分野等：

1. 哺乳類の保護・増殖に関する研究
2. 鳥類の保護・増殖に関する研究

公募締切日：平成29年5月8日

.....

☆公益信託四方（しかた）記念地球環境保全研究助成基金：「平成29年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/3.htm>

分野等：下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査をともなう
独立した研究

1. 熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究
2. 絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究
3. 人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究

公募締切日：平成29年5月8日

.....

☆公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団：「国内研究助成2017年度募集」

http://www.kwef.or.jp/josei/josei_koku.html

分野等：

1. 自然科学・技術（1）：水処理に関する理論、技術、分析などの研究
2. 自然科学・技術（2）：水域生態系保全に関する研究
3. 人文・社会科学：水に関する文化、教育、歴史、政策、制度などの研究
4. 特別テーマ：「水を究める」研究
5. 萌芽的研究：自然科学・技術の分野、人文・社会科学の分野で特に新しい切り口や手法に基づく水に関する研究

公募期間：平成29年4月1日～5月11日

.....

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：平成29年度研究助成

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：平成29年1月5日～8月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

○花き関係：無病球根の効率的増殖を核とした有望球根切り花の生産流通技術開発

宮崎県総合農業試験場を代表機関とし、他の7機関が研究グループとなって実施した農食研究推進事業（実用技術開発ステージ）で、標記課題の研究成果が農林水産省発行の「研究成果2016」に掲載されました。本研究では、「海外でも高品質で評価され、生産が急増しているラナンキュラスとダリアは、球根の増殖率が低いために急速な種苗増殖が困難であり、ウイルス等の病害の発生、切り花の日持ちが比較的短いという共通の課題があります。本研究課題では、球根の急速な増殖技術、培養ビン内での球根化による保存技術、無病球根の安定供給、低コスト化、切り花を出荷する段階での日持ち処理（前処理）剤と生け花店等で行う日持ち処理（後処理）剤を組み合わせ、それぞれの品目で7日以上の上の観賞期間を確保する品質保持技術が開発されました。

・農食研究推進事業における研究概要は下記の URL でご覧いただけます。

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/gaiyou/pdf/25075c.pdf>

○果樹関係：モモ、スモモ、サクラ等を加害する外来種クビアカツヤカミキリの分布拡大

3月7日のテレビ番組で、各地の桜の名所でクビアカツヤカミキリが発生し、桜の木を何本も伐採したり、徳島県のモモ栽培農家では多くの樹園のモモの木が被害を受ける事態となっているとの報道がありました。この害虫は、2012年に愛知県で初めて発生が確認された外来種で、原産地は中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部となっています。成虫は胸部が赤く他の部分はツヤのある黒色、体長は2.5～4cmで識別が容易です。幼虫が幹の内部を食害し穴を空けるので樹木が弱り枯死します。中国では、モモ、スモモの重要害虫とされています。モモ等における在来カミキリムシに対しては、薬剤防除も含めて防除法が確立されていますので、従来のカミキリムシ防除剤等を用いた総合防除法を実施し、蔓延を防止する必要があります。なお、本害虫は産卵数が非常に多く、今後、難防除害虫となることが予想されます。

・平成25年度病害虫発生予察特殊報（愛知県：平成25年6月18日付け）

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2013/tokusyuhou/tokusyuhou2402.pdf>

・滋賀県野洲市 HP（クビアカツヤカミキリ（*Aromia bumgii*）に関する注意喚起及び情報提供）：<http://www.city.yasu.lg.jp/kurashi/gomi/oshirase/1461200784066.html>

○食品関係：酵素工学を活用した糖質資源高度利用プラットフォーム構築

農研機構食品総合研究所（現在は食品研究部門）を代表機関とし、他の4機関が研究グループとなって実施した農食研究推進事業（シーズ創出ステージ）で、標記課題の研究成果が農林水産省発行の「研究成果2016」に掲載されました。本研究では、「機能性が知られているオリゴ糖の大部分は実用的な製造法がなく、このため、天然資源から得られる安価な糖質などの化合物を原料とした酵素反応により機能性オリゴ糖を高効率で調整する汎用的な技術の開発が行われました。このことにより、新たな機能性食品素材の提供や、機能性オリゴ糖が医薬品などの原料として活用されることにより新たな医薬品が提供が可能となりました。

・農食研究推進事業における研究概要は下記の URL でご覧いただけます。

編集後記

3月の年度末となり、会員等の皆様におかれましては何かとお忙しいことと存じます。平成28年度には、様々な技術革新のニュースがありましたが、筆者は、AIによる自動車の自動運転や、人工知能による囲碁ソフトが世界トップクラスの棋士を圧倒したことなど、人工知能の目覚ましい発達に驚きを禁じ得ません。チェス、将棋では既に人工知能ソフトが名人に勝利していましたが、囲碁は19×19の譜面に自由に石を打て、自由度が高いので、まだまだプロ棋士には勝てないと思っていましたが、予想がはずれました。今回の勝利が示したAIによるディープラーニングの強みは、この技術が極めて汎用的に使えるという点が特徴であり、農林水産業にも近い将来必ず導入され、栽培の最適化等に応用されるものと考えられます。このためには、様々なセンサーによる環境、生育、収量、作業等のビッグデータの収集、研究成果の集積も必要であろうと思います。

ところで、最近読んだ本に吉川洋著、「人口と日本経済」（中公新書、2016年8月発刊）があります。著者は、東京大学名誉教授でマクロ経済学の権威です。本書を読むと、人口と経済との関係について、「人口論」等を著したマルサス、「雇用・利子および貨幣の一般理論」等を著したケインズ、人口が少ないスウェーデンの経済学者であるヴィクセル、ミュルダールなどの主張が簡潔に述べられていて、名だたる経済学者達の人口増減に対する見解の歴史的変遷について分かりやすく述べられており勉強になります。本書の主張は、戦後の日本経済を概観しただけでも、経済成長と人口増加との関係性は必ずしも平行ではなく、今後継続する人口減少がそのまま経済縮小に繋がるのではなく、これが圧迫要因になるとしても、新たな製品やサービス分野でのイノベーションが継続的に起こっていけば、新たな需要を創出できるので、人口減少ペシズムに陥る必要はないと述べています。例えば、世界に先駆ける我が国における少子高齢化に対応する技術、製品、サービス分野でイノベーションを起こすことによって、需要を喚起するとともに、大きな世界的市場にも繋げていけるのではないのでしょうか（筆者）。著者は、最後に、企業は内部保留を積み上げるだけでなく、新たなチャレンジ・投資をしていくことで、ニュープロダクトとサービスのイノベーターとなって、人口減社会において豊かさを作り上げていく必要があると述べています。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>